弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等
内部改修工事(機能強化支援第2期)

表紙共54枚

建　築			電　気			機　械		
図面番号	図　面　名　称	縮　尺	図面番号	図　面　名　称	縮　尺	図面番号	図　面　名　称	縮　尺
特A-01	改修特記仕様書 (1)	NS	特E-01	特記仕様書(電気設備)(1)	NS	特M-01	特記仕様書(機械設備)(1)	NS
特A-02	改修特記仕様書 (2)	NS	特E-02	特記仕様書(電気設備)(2)	NS	特M-02	特記仕様書(機械設備)(2)	NS
特A-03	改修特記仕様書 (3)	NS	E-01	1階　受変電設備改修図(商船学科棟電気室)	NS	特M-03	特記仕様書(機械設備)(3)	NS
特A-04	改修特記仕様書 (4)	NS	E-02	3階　分電盤・分電盤改修図(一般科目棟)	1/50	M-01	【空調・換気】機器リスト(改修前・改修後)	NS
特A-05	改修特記仕様書 (5)	NS	E-03	校舎地区ピット内幹線設備平面図(一般科目棟・商船学科棟)	1/200	M-02	【空調配管設備】1階平面図(改修前)(一般科目棟)	1/100
特A-06	改修特記仕様書 (6)	NS	E-04	3階　幹線設備平面図(一般科目棟)	1/100	M-03	【空調配管設備】3階平面図(改修前)(一般科目棟)	1/100
特A-07	改修特記仕様書 (7)	NS	E-05	3階コンセント設備平面図 303教室(改修後)(一般科目棟)	1/50	M-04	【換気ダクト設備】3階平面図(改修前)(一般科目棟)	1/100
特A-08	改修特記仕様書 (8)	NS	E-06	3階コンセント設備平面図 304教室・2学科共用教室(改修後)(一般科目棟)	1/50	M-05	【空調・換気制御設備】1階平面図(改修前)(管理棟)	1/100
特A-09	改修特記仕様書 (9)	NS	E-07	3階　電灯設備改修平面図(改修前・改修後)(一般科目棟)	1/100	M-06	【空調・換気制御設備】1階平面図(改修前)(一般科目棟)	1/100
A-01	案内図、配置図	1/1000	E-08	3階映像設備改修平面図(改修前・改修後)(一般科目棟)	1/100	M-07	【空調・換気制御設備】3階平面図(改修後)(一般科目棟)	1/100
A-02	仕上表(改修前・改修後)(一般科目棟)	NS	E-09	空調電源設備平面図(一般科目棟)	1/100	M-08	【空調配管設備】1階平面図(改修後)(一般科目棟)	1/100
A-03	3階平面図(改修前・改修後)(一般科目棟)	1/150	E-10	3階　空調・換気電源設備改修平面図(一般科目棟)	1/100	M-09	【空調配管設備】3階平面図(改修後)(一般科目棟)	1/100
A-04	3階平面詳細図No.1(改修前)(一般科目棟)	1/50				M-10	【換気ダクト設備】3階平面図(改修後)(一般科目棟)	1/100
A-05	3階平面詳細図No.1(改修後)(一般科目棟)	1/50				M-11	【空調・換気制御設備】1階平面図(改修後)(管理棟)	1/100
A-06	3階平面詳細図No.2(改修前)(一般科目棟)	1/50				M-12	【空調・換気制御設備】1階平面図(改修後)(一般科目棟)	1/100
A-07	3階平面詳細図No.2(改修後)(一般科目棟)	1/50				M-13	【空調・換気制御設備】3階平面図(改修後)(一般科目棟)	1/100
A-08	3階展開図No.1(改修前)(一般科目棟)	1/50						
A-09	3階展開図No.1(改修後)(一般科目棟)	1/50						
A-10	3階展開図No.2(改修前)(一般科目棟)	1/50						
A-11	3階展開図No.2(改修後)(一般科目棟)	1/50						
A-12	3階展開図No.3(改修前)(一般科目棟)	1/50						
A-13	3階展開図No.3(改修後)(一般科目棟)	1/50						
A-14	3階天井伏図(改修前)(一般科目棟)	1/50						
A-15	3階天井伏図(改修後)(一般科目棟)	1/50,1/10						
A-16	フリーアクセスフロア詳細図(参考)	1/10,1/5,1/3						

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係　長	担　当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	図面リスト	N.S	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治						L－01

弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)

Ⅰ 工 事 概 要

1.工事場所 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削　1000番地（下弓削団地構内）

2.完成期限 令和　9年　2月26日（金曜日）

3.指定部分　⊙無　・有　対象部分（　　）
指定部分工期　令和　年　月　日（　曜日）

4.概成工期　⊙無　・有　令和　年　月　日（　曜日）　(1.2.1)[1.2.1]

5.建物概要

建　物　名　称		一般科目棟			
工　　種		模　様　替			
構　　造		R　C　造			
階　　数		4　　階			
建築基準法による	建築面積(㎡)	(1,485.32)㎡			
	延べ面積(㎡)	(3,920.03)㎡			
消防法施行令別表第一の区分		(7)　項			
改 修 面 積 （ ㎡ ）		288.48㎡			
備　　考					

6.工事種目

⊙ 印の付いたものが対象工事種目

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別			
	一般科目棟			
・ 2 仮設工事				
・ 3 防水改修工事				
・ 4 外壁改修工事				
・ 5 建具改修工事				
⊙ 6 内装改修工事	一　式			
・ 7 塗装改修工事				
・ 8 耐震改修工事				
・ 9 環境配慮改修工事				
・ 10 とりこわし工事				
・ プール改修工事				
⊙ 電気設備工事	一　式			
⊙ 機械設備工事	一　式			

Ⅱ 工 事 仕 様

1.共通仕様

（1）この工事の受注者は、独立行政法人国立高等専門学校機構が定める工事請負契約基準、現場説明書、図面 53 枚及び本特記仕様書 9 枚によるほか、下記特記仕様書のうち、○印の付いたものを適用する。
- ・ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。)
- ・ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
- ・ 文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(令和7年版)(以下「文科仕様書」という。)
- ・ 文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(令和7年版)(以下「文科改修仕様書」という。)
- ・ 工事写真撮影要領(令和5年9月)
- ・ 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)
- ・ 建築工事標準詳細図(令和4年版)
- ・

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。
なお、電気設備工事の特記仕様書は（ 特E-01、特E-02 ）、
機械設備工事の特記仕様書は（ 特M-01、特M-02、特M-03 ）による。

2.特記仕様

（1）本特記仕様書の表記
1）項目は、・ 印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、・ 印の付いたものを適用する。
・ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。
・ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の　（　　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の　[　　]　内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の（(　　)）内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の［[　　]］内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4）　G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和7年1月28日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章	項　目	特　記　事　項

1 各章共通事項

⊙ 適用区分

⊙建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
⊙風圧力
風速（Vo= 34 m/s）
地表面粗度区分 （・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ）
⊙積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域　別表（ 35 ）

⊙ 電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者

(1.3.3～4)[1.3.3～4]

この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。

	項　目　名	電気保安技術者
1	第３種電気主任技術者以上の資格を有する者	⊙
2	１級電気工事施工管理技士の資格を有する者	⊙
3	高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第７条第１項各号の科目を修めて卒業した者	⊙
4	旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	⊙
5	公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	⊙
6	第１種電気工事士の資格を有する者	⊙
7	２級電気工事施工管理技士の資格を有する者	⊙
8	第２種電気工事士以上の資格を有する者	⊙
9	短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	⊙

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

⊙ 施工条件

この工事現場では、次の施工条件による。　(1.3.5)[1.3.5]
⊙騒音、振動等授業や教育研究活動に影響を及ぼす恐れのある作業は、事前に監督職員と協議の上実施する事。
⊙通行止め、停電、断水を伴う作業は、事前に作業計画書を提出し、監督職員の承諾を得た上で実施すること。なお、停電を伴う作業は原則休日(土･日・祝日)とし、日程は監督職員との協議により決定する。
⊙本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して週休2日について取り組む内容を協議したうえで工事を実施する週休2日促進工事(完全週休2日Ⅱ型)である。
⊙下記の期間は学校行事等があるため、騒音・振動等や教育研究活動に影響を及ぼす恐れのある作業は、休止する事。
令和8年9月18日（金）卒業式（商船学科）
令和8年11月6日（金）商船祭準備
令和8年11月17日（火）～24日（火）後期中間試験
令和8年1月25日（月）～29日（金）後期期末試験
令和9年2月1日（月）、2日（金）学習成果確認及び追試験
令和9年2月16日（火）、17日（水）再試験
令和9年2月18日（木）単位認定試験
令和9年2月25日（木）、26日（金）単位認定試験

⊙ 発生材の処理等

（1）引渡しを要するもの　(1.3.11)[1.3.12]
1）品名
引渡し先
集積場所
（2）特別管理産業廃棄物
1）品名
処理方法
（3）現場において再利用を図るもの
1）品名
使用箇所
（4）再資源化を図るもの
1）品名
受入場所
2）品名
（5）その他発生材については、標準仕様書に従い、適切に処理する。
（4）、（5）について、
1）搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提出する。
2）日々の搬出量等をとりまとめた土砂等搬出調書を作成し、監督職員に提出する。
3）工事発注後に明らかになった事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議する。

⊙ 環境への配慮

(1.4.1)[1.4.1]
1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、 パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

⊙ 材料の品質等

(1.4.2)[1.4.2]
1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする
4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③ 安定的な供給が可能であること。
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料

⊙ 材料の検査等

(1.4.4)[1.4.4]

材料名	備考
	監督職員の指示による

⊙ 石綿含有建材の調査

[1.5.1]
調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
事前調査及び分析調査は、それぞれ厚生労働大臣が定めるものが行う。
貸与資料（　　）
・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材料名	定性分析方法	定量分析方法
	(JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2)	(JIS A 1481-3)、(JIS A 1481-4) または (JIS A 1481-5)
	・　(箇所)	・　(箇所)
	・　(箇所)	・　(箇所)
	・　(箇所)	・　(箇所)

サンプル数　1箇所あたり3サンプル
採取箇所
・図示による

・ 技能士

(1.5.2)[1.7.2]

適用工事種別	技能検定の種別
仮設工事	・ とび（とび作業）
鉄筋工事	・ 鉄筋施工（鉄筋組立て作業）
コンクリート工事	・ 左官（左官作業） ・ 型枠作業（型枠工事作業） ・ コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）
鉄骨工事	・ とび（とび作業） ・ 鉄工（構造物鉄工作業）
ブロック・ＡＬＣパネル工事	・ ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・ ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業）
防水工事	・ 防水施工（アスファルト防水工事作業） ・ 防水施工（ウレタンゴム系塗膜防水工事作業） ・ 防水施工（アクリルゴム系塗膜防水工事作業） ・ 防水施工（合成ゴム系シート防水工事作業） ・ 防水施工（塩化ビニル系シート防水工作業） ・ 防水施工（セメント系防水工事作業） ・ 防水施工（シーリング防水工事作業） ・ 防水施工（改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業） ・ 防水施工（改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業） ・ 防水施工（ＦＲＰ防水工事作業）
石工事	・ 石材施工（石張り作業）
タイル工事	・ タイル張り（タイル張り作業）
木工事 屋根、とい工事	・ 建築大工（大工工事作業） ・ 建築板金（内外装板金作業）
左官工事	・ 左官（左官作業）
建具工事	・ サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ ガラス施工（ガラス工事作業）
ＰＣカーテンウォール工事	・ カーテンウォール施工（金属製カーテンウォール工事作業）
塗装工事	・ 塗装（建築塗装作業）
内装工事	・ 内装仕上げ施工（プラスチック系床仕上げ工事作業） ・ 内装仕上げ施工（カーペット系床仕上げ工事作業） ・ 内装仕上げ施工（木質系床仕上げ工事作業） ・ 内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業） ・ 内装仕上げ施工（ボード仕上げ工事作業） ・ 表装（壁装作業）
植栽工事	・ 造園（造園工事作業）

⊙ 施工の検査等

(1.5.5)[1.7.5]
標準仕様書等に定めがあるもの以外で、次に示す施工については、監督職員の検査を受ける。

検査等を行う施工	備考
	監督職員の指示による

⊙ 施工の立会い

(1.5.7)[1.7.7]
標準仕様書等に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。

施工の立会いを行う工程	備考
	監督職員の指示による

⊙ 化学物質の濃度測定

(1.5.10)[1.7.10]
（1）施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等の濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。

測定対象化学物質	指針値（両単位の換算は、25℃の場合による。）
ホルムアルデヒド	100 μg/m³ (0.08ppm) 以下
トルエン	260 μg/m³ (0.07ppm) 以下
キシレン	200 μg/m³ (0.05ppm) 以下
エチルベンゼン	370 μg/m³ (0.085ppm) 以下
スチレン	220 μg/m³ (0.05ppm) 以下

（2）測定対象室及び測定箇所数は以下表による。

棟名称	階	室名	採取本数
一般科目棟	3	教室303(情報工学科2年生教室)	1
		教室304(創造工学科2年生教室)	1
		2学科共用教室	1

（3）測定方法は、（・吸引方式（アクティブ法）⊙拡散方式（パッシブ法））により行う。
（4）文部科学省の「学校環境衛生基準」に基づき、採取は室内の温度が高い時期に行い、吸引方式では30分間で２回以上、拡散方式では８時間以上行う。
（5）測定結果が指針値を超えていた場合は、発生源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定し、基準値以下であることを確認してから引渡しを行う。

・ 技術検査

(1.6.2)[1.8.2]
本工事期間中に中間技術検査を、　　に行う。ただし、工事内容により、これによりがたい場合は、監督職員と協議するものとする。

⊙ 完成時の提出図書

(1.7.1～3)[1.9.1～3]
次の図書を監督職員に提出する。また、それらを本工事目的物に関し使用するための権利については、発注者に委譲する。
⊙ 完成図（施工図、施工計画書を除く。）
・CADデータ（電子納品）及び電子データ（PDF形式）
・A3版原図　部
⊙A1版原図　2部
⊙A3複写図（製本）　2部
⊙A1複写図（製本）　2部
・朱書き訂正図　部
⊙ 施工計画書
⊙A4ファイル綴じ　1部
⊙ 保全に関する資料
⊙電子データ（PDF形式）
⊙A4ファイル綴じ　1部
⊙ 施工図（次に示すものを標準都市、その他必要な図、提出部数等は監督職員と協議による。）
・鉄筋配筋図（納まり図含む）　一式
・コンクリート躯体図　一式
・鉄骨製作図　一式
・カーテンウォール製作図　一式
・機器製作図　一式
・制御システム図　一式
・試験成績書　一式
⊙機器・配管固定の施工図　一式
⊙ 工事写真（「工事写真撮影要領」による。）
⊙原本（電子媒体）
⊙アルバム（紙又は電子媒体）　1部
⊙ 完成写真
工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者
外観正面（適宜）箇所	・電子データ（JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度）	1	4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
	・カラー印画紙キャビネ判			
	・カラー印画紙キャビネ判 A4アルバム綴じ（注）			
	・カラー木製パネル半切（324×400mm）			
上記と異なる外部：適宜箇所 内部：適宜箇所	・電子データ（JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度）	1		
	・カラー印画紙キャビネ判			
	・カラー印画紙キャビネ判 A4アルバム綴じ（注）			
外部：適宜箇所 内部：適宜箇所 程度	・電子データ（JPEGフルカラー）	1	1280× 960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意
	・カラー印画紙キャビネ判 A4アルバム綴じ			

（注）のアルバムは併せて作成する。
電子納品は次の規定に従うものとする。
1）貸与する設計図のCADデータは以下による。
著作者名：弓削商船工業高等専門学校
ファイル形式：ＪＷＷ
貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用しないこと。
2）完成写真の撮影に関する著作者の権利等については次のi）及びii）によることとし、受注者は撮影者等との契約に当たってもそれらの承諾を条件とする。
i）提出された写真は、独立行政法人国立高等専門学校機構が行う事務及び認めた用途に関して、無償で利用することができるものとする。この際、著作者名を表示しないこと及びその利用に必要な範囲で改変を行うことができるものとする。
ii）受注者及び撮影者等は、撮影時に取得した全ての写真（提出していないものを含む。）及びその改変物、複製物を公表、閲覧、譲渡その他一切の方法により第三者に使用させてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を受けた場合は、この限りではない。
3）電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。
4）電子成果品は、提出前にウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。
5）提出方法及びファイル形式は以下による。
電子媒体：CD-RXはDVD-R
CADデータ：JWW、DXF及びPDF
上記の他、監督職員が認めた形式

・ 他工事又は他工種との取合い

工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。

・ 埋設配管・配線および鉄筋調査

あと施工アンカー工事
6章および8章による
コア抜き、はつり工事等
※既存資料調査
・探査機（電磁波レーダー法又は電磁波誘導法）による探査
配管　・配線等の位置の墨出を行う
範囲
※図示による
・ 放射線透過試験
労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。
1）作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。
2）放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。
3）露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
4）付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。
5）躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。
撮影枚数　枚
フィルムサイズ
コンクリート厚さ　cm
・ 既存躯体に穿孔する場合に、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いる。

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係　長	担　当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	改修特記仕様書(1)	N，S	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治						特A-01

2 仮設工事

・騒音・粉じん等の対策 [2.1.3]

・防音パネル
・防音シート
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
・図示による

⊙足場等 [2.2.1][表 2.2.1]

「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場
・設置する
（設置範囲　・工事に必要な範囲　・図示による　・　　）
・設置しない
防護シート
・設置する
（設置範囲　・工事に必要な範囲　・図示による　・　　）
内部足場
⊙設置する
（※脚立、足場板等　・　　）
・設置しない
⊙材料、撤去材等の運搬方法
種別（・A種　・B種　⊙C種　・D種　・E種 ）
C種：利用可能なエレベーター　（・図示による　・　　）
D種：利用可能な階段　（・図示による　・　　）

⊙既存部分の養生 [2.3.1]

養生方法等
⊙既存部分
養生方法（※ビニルシート、合板　・　　）
・既存家具、既存設備等
養生方法（※ビニルシート等　・　　）
・既存ブラインド、カーテン等
養生方法（・ビニルシート等　・　　）
保管場所（・図示による　・　　）
・固定された備品、机、ロッカー等の移動
・図示による
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

・仮設間仕切り [2.3.2][表 2.3.1]

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所
・図示による
仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填
・A種	・せっこうボード 種類（・　　） 厚さ（・　mm　※9.5mm ） ・合板 材種（・　　） 厚さ（・　mm　※9mm ） ・	・なし ・片面 ・	グラスウール 厚さ　mm
・B種			
※C種	防炎シート		

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
※木製	※合板張り程度	・無し	・　か所
・	・	・片面	・図示による

9 防水改修工事

・施工数量調査 [1.6.2、3]

調査範囲
・図示による
調査方法
・図示による
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示による
調査報告書（提出部数　・2部　・　　）

・降雨等に対する養生方法（とい共） [3.1.3]

※改修標準仕様書3.1.3(5)(ｱ)～(ｳ)による
・

・既存防水の処理 [3.1.4] [3.2.3、4、6]

既存保護層の撤去
・行う（範囲　・図示による　・　　）
・行わない
既存防水層の撤去
・行う（範囲　・図示による　・　　）
・行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・行う（・M4AS　・M4ASI　・M4C　・M4DI　・L4X）
・行わない

・既存下地の処理 [3.2.6]

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等
・図示による
PO5工法及びPO5I工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
※改修標準仕様書3.2.6(4)(ｳ)(ｸ)①～③による
・
設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※監督職員と協議する
・図示による

・アスファルト防水 [3.3.2～5]

新設防水層（屋根保護絶縁工法）の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート
・P2A	・A-1			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラットヤーンクロス 70g/m²程度 ・
	・A-2			
	・A-3			
・P1B	・B-1			
	・B-2			
・P2AⅠ	・AⅠ-1		（種類） ※JIS A 9521に基づく押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA（ｽｷﾝ層付き） （厚さ）(mm) ・	※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ 70g/m²程度 ・
	・AⅠ-2			
	・AⅠ-3			
・P1BⅠ	・BⅠ-1			
	・BⅠ-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.3.5及び表3.3.6　による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ　（　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.3.3及び表3.3.4による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ　（　　）mm以上
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　※水下　80mm以上

床タイル張り　※水下　60mm以上

立上り部の保護方法
・乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）
窯業系パネルⅠ類（厚さ　(mm)　幅　(mm) ）
・れんが押え（※JIS R 1250　・　　）
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内）
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
屋上排水溝
※図示による　・

新設防水層（屋根露出工法）の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水 G	備考
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する	
・M3D ・P0D	・D-1 ・D-2					・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
・P0DI ・M3DI ・M4DI	・DI-1 ・DI-2		改修標準仕様書3.3.2(9) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・			・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.3.7による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ　（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.3.8及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ　（　　）mm以上
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・（　　）個
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
屋上排水溝
※図示による　・

屋内防水
防水層の種別

改修工法	種別	施工箇所
・P1E	・E-1	
・P2E	・E-2	

保護層
・設ける（※図示による　・　　）
・設けない
・E-1の工程3を行う部位
※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度
・
・屋上排水溝（・図示による　・　　）

・改質アスファルトシート防水 [3.4.2]～[3.4.3]

新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水 G	備考
・M4AS	・AS-T1			・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様 ・	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様 ・	・適用する	
	・AS-T2						
	・AS-J2						
・M3AS	・AS-T3					・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
	・AS-T4						
	・AS-J1						
・P0AS	・AS-T3					・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
	・AS-T4						
	・AS-J1						
	・AS-J3						
・M3ASI ・M4ASI ・P0ASI	・ASI-T1		改修標準仕様書3.4.2(3)(ｳ) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・			・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない
	・ASI-J1						

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分　※R種
厚さ　　）mm以上
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分　※R種
厚さ　（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.4.2及び表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分　※R種
厚さ　（　　）mm以上
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度
・
屋上排水溝
※図示による　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・（　　）個
絶縁断熱工法の防湿用シート
・設置する
・設置しない

・合成高分子系ルーフィングシート防水

・屋根保護防水 [3.5.2～4] [表3.5.1～3]

新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水 G	備考
・P0S ・S4S	・S-F1			・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
	・S-F2					・適用する	
	・S-M1			・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・適用する	
	・S-M2					・適用する	
・S3S	・S-F1	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・		・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・S-F2	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・				・適用する	
・M4S	・S-M1			・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・S-M2					・適用する	
・P0SI ・S3SI ・S4SI ・M4SI	・SI-F1	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・	改修標準仕様書3.5.2(3)(ｴ)(b) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・　・25　・50	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
	・SI-F2					・適用する	
	・SI-M1		改修標準仕様書3.5.2(3)(ｴ)(a) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・　・25　・50	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・適用する	
	・SI-M2					・適用する	

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※非歩行仕様
・軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム
・設置する　・設置しない

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類　・
厚さ　・　mm以上
絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質
※発泡ポリエチレンシート
・
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※ルーフィングシートの製造所の仕様
・
設置数量　※ルーフィングシートの製造所の仕様
・　（個）
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（・図示による　・　　）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）
・行う（・図示による　・　　）
・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
屋上排水溝
※図示による　・

・屋内防水
防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	保護層 平場の保護モルタル塗厚	保護層 立上り部の保護モルタル塗厚
・P1S	・S-C1		・	※7mm以下 ・

平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類
目地割
※目地割2m²程度、最大目地間隔3m程度
・
目地の種類
※押し目地
・
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種 類
厚さ　・　mm以上
絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質
※発泡ポリエチレンシート
・
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・
設置数量
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・（　　）個
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（・図示による　・　　）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）
・行う（・図示による　・　　）
・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
排水溝
※図示による　・

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校	図面番号
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	改修特記仕様書(2)	N，S	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治	事務部長 / 総務課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当	特A-02

・塗膜防水　[3.6.2、3]

新設防水層（ウレタンゴム系塗膜防水）の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水	備考
・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
・L4X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない

ウレタンゴム系塗膜防水工法X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※主材料の製造所の仕様
・
設置数量
※主材料の製造所の仕様
・（　　）個

新設防水層（ゴムアスファルト系塗膜防水）の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・保護モルタル ・保護コンクリート 厚さ（　mm）
・P2Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・保護モルタル ・保護コンクリート 厚さ（　mm）

・シーリング　[3.1.4] [3.7.2、3、7、8]

シーリング改修工法の種類
・シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り
・適用する　・適用しない
エッジング材張り
・適用する　・適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

仕上げを行わない施工箇所
・図示による
シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書3.7.3(1)による
・図示による
・
接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験

・とい　[3.8.2、3]

といその他の材種
・配管用鋼管
・硬質ポリ塩化ビニル管
・ルーフドレン
・表面処理鋼板
・
とい受金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・
形状
※市販品（とい径100以下）
※25×4.5以上（とい径100を超えるもの）
・
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
・
足金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・
形状
※市販品
・
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
・
多雪地域
・適用する　・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
・図示による
鋼管製といの防露巻き
※改修標準仕様書表3.8.4による
・

・アルミニウム製笠木　[3.9.2、3]

ルーフドレンの種類及び呼び

種別		呼び	施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　・100　・125　・150	
・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　・100　・125　・150	
・バルコニー中継用	・ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	
・バルコニー用	・ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	

たてどい受金物の取付け
※図示による
ルーフドレンの取付け
※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する
・

種類
・押出形材形　（・押出250形　・押出300形　・押出350形）
・板材折曲げ形（・オーブン形式　・シール形式）
本体幅（　　）mm　板厚（※2.0mm　・　　mm）
表面処理
種別（　　）種
色合等　・標準色（　　）　・特注色（　　）
既存笠木等の撤去
・行う（範囲　・図示による　・　　）
・行わない
下地補修の工法
※図示による
板材折曲げ形の笠木の取付方法
※図示による
笠木の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

・施工数量調査　[1.6.2、3]

調査範囲
・外壁改修範囲
・図示による
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無も調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部も壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示による
調査報告書（提出部数　・2部　・　　）

・ひび割れ部改修工法　[4.1.4] [4.2.4、5、6、7]

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量（mL/m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 未満	※200～300 ・	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・50～100 ・	・40 ・
	0.3以上～0.5 未満	・100～200 ・	・70 ・
	0.5以上～1.0 未満	・150～250 ・	・130 ・

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
※図示による
・Uカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
・
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタル（性能、試験方法は別表による）の充填
・行う　・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書3章　防水改修工事による。
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

・欠損部改修工法　[4.1.4] [4.2.4] [4.2.8]

・充填工法
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル（性能、試験方法は別表による）
・

・ひび割れ部改修工法　[4.1.4] [4.3.5、6、7、8]

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量（mL/m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 未満	※200～300 ・	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・50～100 ・	・40 ・
	0.3以上～0.5 未満	・100～200 ・	・70 ・
	0.5以上～1.0 未満	・150～250 ・	・130 ・

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
※図示による
・Uカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
・
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタル（性能、試験方法は別表による）の充填
・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

・欠損部改修工法　[4.1.4] [4.3.9、10]

・充填工法
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル（性能、試験方法は別表による）
・モルタル塗替え工法
・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書8-2　コンクリート工事による）
・既調合材料（　　）
既製目地材
・使用する（形状　・図示による　・　　）
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による

・浮き部改修工法　[4.1.4][4.3.11～16]

工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量(mL/箇所)
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	－	－	※25 ・
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	－	－	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・充填工法	－	－	－	－	－
・モルタル塗替え工法	－	－	－	－	－

アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度
・
注入工法用材料
・ポリマーセメントスラリー

広がり速度(cm/s)	長さ変化率(収縮)(%)	引張接着性(材齢28日)(N/?)	曲げ性能(材齢28日)(N/?)	吸水性(72時間)(%)	耐久性(劣化曲げ強さ)(N/?)
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00
充填工法用材料
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル（性能、試験方法は別表による）
モルタル塗替え工法用材料
・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書8-2　コンクリート工事による）
・既調合材料（　　）
既製目地材
・使用する（形状　・図示による　・　　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による

・タイルの形状、寸法等　[4.4.5、8]

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用区	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	わぐすり 施ゆ	無ゆ	有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐消り性	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
見本焼き
・行う（施工箇所：　　）　・行わない
試験張り
・行う（範囲、仕様等は図示による）　・行わない

・ひび割れ部改修工法　[4.1.4][4.4.5、6]

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量（mL/m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 未満	※200～300 ・	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・50～100 ・	・40 ・
	0.3以上～0.5 未満	・100～200 ・	・70 ・
	0.5以上～1.0 未満	・150～250 ・	・130 ・

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
・図示による

・欠損部改修工法　[4.1.4][4.4.5、7、8]

・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル（性能、試験方法は別表による）
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル　（・現場調合材料　・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書表4.4.2による
・図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う　・行わない

・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
タイル張りの工法
・外装タイル
・密着張り　・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り　・モザイクタイル張り
シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系シーリング材
・
伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコーン系シーリング材
・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。
目地詰め（※行う　・行わない）

・浮き部改修工法　[4.4.4][4.4.5][4.4.9]～[4.4.15]

工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量(mL/箇所)
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	－	－	※25 ・
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	－	－	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	－	－	※25 ・
・タイル部分張り替え工法	－	－	－	－	－
・タイル張り替え工法	－	－	－	－	－

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校	図面番号
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	改修特記仕様書(3)	N，S	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治	事務部長 / 総務課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当	特A-03

アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの
・

注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度
・

・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル　（・現場調合材料　・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書表4.4.2による
・図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う　・行わない

・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
タイル張りの工法
・外装タイル
・密着張り　・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り　・モザイクタイル張り
シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系シーリング材
・
伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコーン系シーリング材
・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。
目地詰め（※行う　・行わない）

・ 目地改修工法　[4.4.4][4.4.5、16]

・目地ひび割れ部改修工法
・伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法
・図示による
シーリングは、改修特記仕様書第3章　防水改修工事による。

4-4 外壁改修工事　塗り仕上げ外壁

・ 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整　[4.5.4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
・水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面 ・図示による	

・ 下地調整塗材　[4.5.2]

※下地調整塗材
・ポリマーセメントモルタル（品質・ 性能、試験方法は別表による）

・ 仕上塗材仕上げ　新規仕上塗材の種類　[4.1.5][4.5.2][表4.5.1]

・薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	調湿形	防火材料
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・	・吹付け ・ﾛｰﾗｰ塗り	・適用する	・
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・	・吹付け ・	・適用する	・
・防水形外装薄塗材E	・凹凸状 ・	・吹付け ・ﾛｰﾗｰ塗り	・適用する	・
・内装薄塗材	・砂壁状じゅらく ・	・吹付け ・	・適用する	・
・	・	・	・適用する	・

・厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	調湿形	上塗材	防火材料
・			・適用する	・適用する	・
・			・適用する	・適用する	・

・複層仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・複層塗材E	・凸部処理	吹付け	樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
	・凹凸状	吹付け	・	・	・
	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り	・	・	・
・複層塗材RE	・凸部処理	吹付け	・	・	・
	・凹凸状	吹付け	・	・	・
	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り	・	・	・
・複層塗材Si	・凸部処理	吹付け	・	・	・
	・凹凸状	吹付け	・	・	・
	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り	・	・	・
・防水形複層塗材E	・凸部処理	吹付け	・	・	・
	・凹凸状	吹付け	・	・	・
	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り	・	・	・
・			・	・	・

・可とう形改修用仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・			樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
・	・	・	・	・	・

・ マスチック塗材塗り　[4.1.5] [4.6.2] [表4.6.1]

改修標準仕様書4.6.2 による

・ 外壁用塗膜防水材塗り　[4.1.5][4.7.2.3][表4.7.1]

仕上げの形状
・
工法
・
仕上塗料の耐候性
・
下地挙動緩衝材の適用
・適用する
・適用しない
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による。
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による。
吹付け工法の模様材の種類
・　（・所要量　(kg/㎡)）
外壁用仕上塗料の種類
・　（・所要量　(kg/㎡)）
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による。

5 建具改修工事

・ 改修工法　[5.1.3][5.1.6]

既存建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・アルミニウム製建具				・建具表による
・樹脂製建具				・建具表による
・鋼製建具	・外部			・建具表による
	・内部			・建具表による
・鋼製軽量建具				・建具表による
・ステンレス製建具				・建具表による
・木製建具				・建具表による

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方
※図示による
新規建具周囲の補修工法及び範囲
※図示による
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。
・再使用（・ブラインドボックス　・　）
形状及び仕上げ
表面色
・標準色　・特注色
工法
水切り板、ぜん板
※図示による

・ 防火戸　[5.1.4]

・指定する　適用箇所（・建具表による　・　）
・指定しない
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・連動させる　適用箇所（・建具表による　・　）
・連動させない

・ 見本の製作等　[5.1.5]

建具見本の製作　・行う（建具符号：　）
・行わない
建具見本製作の目的等：（　）
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　）
・行わない

・ 防犯建物部品　[5.1.7]

・適用する（・建具表による　・　）
・適用しない

・ アルミニウム製建具　[5.2.2～5][表 5.2.1][表 5.2.2]

性能値等
耐風圧性の等級（・　）
（建具符号　・建具表による　・　）
気密性の等級　（・　）
（建具符号　・建具表による　・　）
水密性の等級　（・　）
（建具符号　・建具表による　・　）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号　・建具表による　・　）
・B種（建具符号　・建具表による　・　）
・C種（建具符号　・建具表による　・　）
枠の見込み寸法
（・建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシ ☒
既熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・
ステンレス製くつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別
・BB-1　・BB-2　（改修標準仕様書表5.2.2）
着色
・標準色　・特注色
屋内の建具
種別
・BC-1　・BC-2　（改修標準仕様書表5.2.2）
着色
・標準色　・特注色
結露水の処理方法
・水貯め式　・排水式
工法
水切り板、ぜん板
※図示による

・ 網戸等　[5.2.3、5.3.3]

種類	材質	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

・ 樹脂製建具　[5.2.2][5.3.2～5]

性能値等
耐風圧性の等級（　）
気密性の等級　（　）
水密性の等級　（　）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号　・建具表による　・　）
・B種（建具符号　・建具表による　・　）
・C種（建具符号　・建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・T-1　・T-2 ）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシ ☒
断熱性の等級（・H-4　・H-5　・H-6　・H-7　・H-8 ）
（建具符号：・建具表による　・　）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
・
枠の見込み寸法
・建具表による
材料
ガラス
※複層ガラス
・
ステンレス製くつずりの仕上げ
※HL
・

・ 鋼製建具　[5.2.2][5.4.2～4][表5.4.2]

性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号：・建具表による　・　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシ ☒
断熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（　）
（建具符号　・建具表による　・　）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・
ステンレス製くつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※改修標準仕様書表5.4.2による
・　mm　使用箇所（　）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による
・

・ 鋼製軽量建具　[5.2.2][5.5.2～4]

性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号：・建具表による　・　）
・適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシ ☒
断熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（　）
（建具符号　・建具表による　・　）
材料
鋼板
・亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・
召合わせ、縦小口包み板の性質
※鋼板
・
ステンレス製くつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※改修標準仕様書表5.5.1による
・　mm　使用箇所（　）
・防音性能を求める戸（建具表による）
防音充填材（グラスウール又はロックウール）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
※建具表による
・

・ ステンレス製建具　[5.2.2] [5.4.2] [5.6.2～5]

性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号：・建具表による　・　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシ ☒
断熱性の等級（・　）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（　）
（建具符号　・建具表による　・　）

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	改修特記仕様書(4)	N，S	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治	事務部長	総務課長	課長補佐	係　長	担　当	特A-04

材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製くつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面仕上げ
※HL
・鏡面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※普通曲げ
・角出し曲げ

・ 木製建具 [5.7.2～4]

建具材の加工、組立時の含水率
※A種
・
建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)による
・
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板 K	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等　・　　） 接着の程度（・1類　・2類）	
・天然木化粧合板 K	樹種名（　　） 接着の程度（・1類　・2類）	
・特殊加工化粧合板 K	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1類　・2類）	
・MDF F	表裏面の状態による区分（　　） 曲げ強さによる区分（　　） 耐水性による区分（　　） 難燃性による区分（　　）	

表面板の厚さ
※改修標準仕様書表5.7.6による
・
引戸の召合せかまちのいろう付きの適用
・適用しない　・適用する
・かまち戸
かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
見込み寸法
※36mm　・建具表による
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）
・鳥の子　・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・塗り縁　・生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法
※19.5mm　・建具表による
・戸ぶすま
表面板の仕上　・建具表による
見込み寸法
※30mm　・建具表による
・紙張り障子
見込み寸法
※30mm　・建具表による
枠、くつずりの材料
・建具表による

・ 建具用金物 [5.8.1～3]

金物の種類及び見え掛り部の材質等
※改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.2による
・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書5.8.3による
・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.4による
・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※改修標準仕様書表5.8.5による
・建具表による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
・建具表による
・
シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠（品質・性能、試験方法は別表による）
クローザ類（品質・性能、試験方法は別表による）

・ 鍵 [5.8.4]

マスターキー
・製作する
・製作しない
・既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数
※各室3本1組（室名札付き）
・
鍵箱
・なし　・あり

・ 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3]

戸の開閉方式
・建具表による
・引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.1による（防錆　・適用する　・適用しない）
・以下による
種類・開閉方式（　　）
耐電圧（　　）
温度上昇（　　）
耐久性（サイクル）（　　）
防錆（　　）
電源（　　）
・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.2による（防錆　・適用する　・適用しない）
・以下による
耐電圧（　　）
温度上昇（　　）
耐久性（サイクル）（　　）
防錆（　　）
電源（　　）
・引き戸用検出装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.3による（防錆　・適用する　・適用しない）
・以下による
耐電圧（　　）
防錆（　　）
防滴（　　）
電源（　　）
引き戸検出装置の種類　改修標準仕様書表5.9.4
・建具表による
・
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ
・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便所用操作スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ
・非接触スイッチ
凍結防止措置
・行う　・行わない

・ 自閉式上吊り引戸装置 [5.10.3]

性能値等
※改修標準仕様書表5.10.1
・以下による
手動開き力（　　）
手動閉じ力（　　）
閉じ速度の調整（　　）
制動区間（　　）
開閉繰返し（　　）
耐衝撃性（　　）

・ 重量シャッター [5.11.2、3]

シャッターの種類
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（　　）Pa
開閉方式の種類
※電動式（手動併用）
・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）
電動式シャッターの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）
管理用シャッターのシャッターケース
・設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量
※Z12又はF12
・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・

・ 軽量シャッター [5.12.2～4]

開閉方式の種類
※手動式
・電動式（手動併用）
耐風圧強度（　　）Pa
安全装置（電動シャッター）
・急降下停止装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）
※ 障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）
スラットの材質の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※Z06又はF06　・　　）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※AZ90　・　　）
スラットの形状
・インターロッキング形
・オーバーラッピング形

・ オーバーヘッドドア [5.13.2、3]

セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）

・ ガラス [3.7] [5.14.2～4]

フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
・建具表による
・
・型板ガラスの厚さによる種類
・建具表による
・
・網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・建具表による
・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類
・建具表による
・
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類
・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類及び特性による種類
・建具表による
・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅲ類
・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・建具表による
・
性能による種類
・1種　・2種
・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・建具表による
・
断熱性による区分
・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G　・S
封入気体の種類
・空気　・アルゴン
・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類、厚さによる種類
・建具表による
・
日射熱遮蔽性による区分
・1種　・2種　・3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性が2種の場合）
・A類　・B類
・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの呼びによる種類
・建具表による
・

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングガスケット ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
樹脂製	・グレイジングガスケット ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・

・ガラス端部の小口加工（対象箇所：・建具表による　・図示による）
仕上げの程度（・　　）

・ ガラスブロック [5.14.5]

耐震性能
構造体の層間変形に対する追従性
以下の構造体の層間変形角に対して、破損、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。
構造体の層間変形角　・1/100
・1/200
・

呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	目地幅（mm）	伸縮調整目地位置（mm）	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材
※図示による
力骨
材質
※ステンレス鋼(SUS304)
・
寸法
※径5.5mm
形状
※はしご形状複筋及び単筋
・
化粧目地モルタルの色（・白　・グレー）
シーリングの種類　（・SR-1　・PS-1）
金属製化粧カバー
材質
・ステンレス製
・アルミニウム製
寸法
※図示による
形状
※図示による
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による
・
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

・ ガラス用フィルム

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	その他性能等
・日射調整フィルム K	・SC-1	・SC-2	
・低放射フィルム	・LE		
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1	・GI-2	
・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-1	
・ガラス貫通防止フィルム	・SF		

品質は、JIS A 5759による。

6 内装改修工事

⊙ 改修範囲 [6.1.3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
・図示による

・ 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]

ビニル床シート等の除去
※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示による　・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法
・機械的除去工法
・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲
※図示による

⊙ 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り
（全塗厚が25mmを超える場合の処置　※図示による）
・

・ 木下地等の表面仕上げ [6.5.1]

見え掛り面の表面仕上げの程度
※ブレーナー加工仕上げ
適用部材（部位）（　　）
・超自動機械かんな掛け仕上げ
適用部材（部位）（　　）
・サンダー掛け仕上げ
適用部材（部位）（　　）

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	改修特記仕様書(5)	N，S	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第182598号 山口 英治						特A-05

・ 木材の施工一般

[6.5.2]

材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆改修標準仕様書6.5.2(1)(ｳ)による
・

・ 製材

[6.5.1] [6.5.6] [6.5.7] [6.5.8] [6.5.9]

・JAS 1083-5に基づく下地用製材 ☑

施工箇所	樹種名	等級（材面の品質）	寸法(mm)	含水率	保存処理
		・ ※2級		※A種 ・B種	・

・JAS 1083-2に基づく造作用製材 ☑

施工箇所	樹種名	等級（材面の品質）	寸法(mm)	含水率	保存処理
見え掛り面		※上小節 ・		※A種 ・B種	
見え掛り面以外		※小節以上 ・		※A種 ・B種	

・JAS 1083-6に基づく広葉樹製材 ☑

施工箇所	樹種名	等級（材面の品質）	寸法(mm)	含水率	保存処理
		※1等 ・2等		※10%以下 ・A種 ・B種	

・JAS 1083（製材）以外の製材 ☑

施工箇所	寸法（mm）	材面の品質	防虫処理	含水率
		（　　） 造作材の場合 （※A種　・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・

・ 造作用集成材

[6.5.2]

・JAS 1152に基づく造作用集成材 ☑

施工箇所	品名	樹種名	見付け材面（面数）	寸法(mm)	見付け材面の品質
					※1等 ・2等

・JAS 1152に基づく化粧ばり造作用集成材 ☑

施工箇所	品名	樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面（面数）	寸法(mm)	見付け材面の品質
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等

・JAS 1152以外の造作用集成材 ☑

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下 ・

・JAS 1152以外の化粧ばり造作用集成材 ☑

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
	・化粧薄板： ・芯材：				※15%以下 ・

・ 造作用単板積層材

[6.5.2]

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 ☑

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用
			・無（・1等　・2等　・3等） ・有（・天然木化粧加工　・塗装加工）	・適用する （　　） ・適用しない

・JAS 0701以外の造作用単板積層材 ☑

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用
		・無（　　） ・有（・天然木化粧加工　・塗装加工）	※14%以下 ・	・適用する （　　） ・適用しない

・ 合板等

・JAS 3079に基づく直交集成板 ☑

施工箇所	品名	樹種名	強度等級（曲げ性能）	種別	接着性能（使用環境）	寸法(mm)
	・異等級構成直交集成板 ・同一等級構成直交集成板			・A種構成 ・B種構成	・A ・B ・C	

・JAS 0233に基づく普通合板 ☑

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	防虫処理の適用
	※5.5 ・	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等 針葉樹 ※C-D以上		・適用する （　　） ・適用しない

・JAS 0233に基づく構造用合板 ☑

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能（強度等級）	保存処理	防虫処理の適用	単板の樹種名
	※12 ・	※1類以上 ・特類	・1級 ※2級以上	※C-D以上 ・				

※屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。

・JAS 0233に基づく化粧ばり構造用合板 ☑

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用
			・特類 ・1類	・適用する （　　） ・適用しない

※屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。

・JAS 0233に基づく天然木化粧合板 ☑

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理の適用
		・1類 ・2類		・適用する （　　） ・適用しない

・JAS 0233に基づく特殊加工化粧合板 ☑

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類 ・2類	・F ・FW ・W ・SW		・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・	・適用する （　　） ・適用しない

・JIS A 5908に基づくパーティクルボード ☑

施工箇所	種類	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ(mm)
			※13タイプ ・	※Pタイプ又はMタイプ ・	※15 ・

・JAS 0360に基づく構造用パネル ☑

施工箇所	寸法(mm)	曲げ性能（等級）（・常態曲げ試験　・湿潤曲げ試験）
		・1級　・2級　・3級　・4級

・JIS A 5905に基づくＭＤＦ ☑

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)

・ 接合具等

[6.5.3]

造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し

諸金物の形状、寸法及び材質
かすがい
※改修標準仕様書表6.5.3に示す程度の市販品
・
座金
※改修標準仕様書表6.5.4に示す程度の市販品
・
箱金物及び短冊金物
改修標準仕様書表6.5.5に示す程度の市販品
・

・ 接着剤

[6.5.3、4]

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・

・ 防腐・防蟻・防虫処理等

[6.5.5]

・工場における薬剤の加圧注入等
・改修標準仕様書 6.5.5(1)(a)①による加圧注入

適用部材（部位）	保存処理性能区分
・	・K2　・K3　・K4

・改修標準仕様書 6.5.5(1)(a)②による加圧式保存処理
保存処理の性能　（　　）
インサイジング
・適用する　・適用しない
・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理
薬剤の種類
※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)①による
・附属書A（規定）に基づく表面処理用木材保存剤による
・
適用部材（部位）
・図示による
処理方法
※改修標準仕様書 6.5.5(1)(b)②による
・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理
適用部材（部位）
・図示による
・合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入等によるK3防腐・防蟻処理
適用部材（部位）
・図示による
・不燃処理木材等
不燃材料
適用部材（部位）
・図示による
準不燃材料
適用部材（部位）
・図示による
難燃材料
適用部材（部位）
・図示による

・ 内部間仕切軸組及び床組み

[6.5.6]

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松
・
・床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松
・
・土間スラブの類の場合の土台、転ばし大引き及び転ばし根太
※ひのき又は保存処理木材
・

・ 窓、出入口その他

[6.5.7]

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
・

・ 床板張り

[6.5.8]

・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※ひのき
・

・ 壁及び天井下地

[6.5.9]

・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松
・

⊙ 軽量鉄骨天井下地

[6.6.2～4]

野縁等の種類
屋外
※25形　・19形
屋内
※19形　・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びインサートの間隔
・図示による
周辺部の端からの間隔
・図示による
野縁の間隔
・図示による

既存の埋込みインサート
・使用する　・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数
※屋内の場合、当該階において3箇所
・（　　）箇所
引張試験にて確認する強度
※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面構成部材等の単位面積当たりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
・（　　）N
・行わない

・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
（補強方法　※図示による　・　　）

・天井のふところが3.0mを超える場合
（補強方法　※図示による　・　　）

・天井下地材における耐震性を考慮した補強
（補強箇所　※図示による　・　　）
（補強方法　※図示による　・　　）

・屋外の天井における耐風圧性を考慮した補強
（補強箇所　※図示による　・　　）
（補強方法　※図示による　・　　）
耐震性能
・軽量鉄骨天井下地（特定天井）
範囲
・図示による　・
特定天井の設計用震度及びクリアランスは以下による。
特定天井告示（平成25年国土交通省告示771号）による
特定天井の設計用震度　検証ルート（　）

室名	階	設計用水平震度(Kh)	設計用鉛直震度(Kv)	クリアランス(mm)
		・	・	・
		・	・	・
		・	・	・

・ 軽量鉄骨壁下地

[6.7.3、4] [表6.7.1]

スタッド、ランナの種類
※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※改修標準仕様書6.7.4(5)による
・

・ ビニル床シート ☑

[6.8.2、3]

種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ・	・無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0 ・	

接合部の処理
※熱溶接工法

⊙ 接着剤

[6.8.2]

ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示による

⊙ ビニル床タイル ☑

[6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※KT（ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	※2.0 ・3.0	
・TT（単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・	
・FT（複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・2.5 ・3.0	
⊙FOA（置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ⊙柄物	⊙500×500 ・	・4.0 ⊙5.0	
・FOB（薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・	・	

・ 特殊機能床材

[6.8.2]

・帯電防止床シート
種類　（　　）
性能　（　　）
厚さ(mm)（　　）
・帯電防止床タイル
種類　（　　）
性能　（　　）
寸法(mm)（　　×　　）
厚さ(mm)（　　）
・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類　（　　）
形状　（　　）

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	改修特記仕様書(6)	N，S	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第182598号 山口 英治						特A-06

・耐動荷重性床シート
種類　（　　）
厚さ(mm)（　　）
・防滑性床シート
種類　（　　）
厚さ(mm)（　　）
・防滑性床タイル
種類　（　　）
寸法(mm)（　　×　　）
厚さ(mm)（　　）

・ ビニル幅木　[6.8.2]

材質の種類
・軟質　・硬質
高さ(mm)
※60　・75　・100
厚さ(mm)
※1.5以上

・ ゴム床タイル　[6.8.2]

種類
・単層品　・積層品
色柄（　　）
厚さ(mm)
・
寸法(mm)（　　×　　）

・ 下地の工法　[6.8.3]

改修標準仕様書6.8.3(1)(ｱ)～(ｳ) 以外の下地の工法
・図示による

・ カーペット敷き　[6.9.2、3] [表6.9.1]

・織じゅうたん

織り方	パイル形状	備考
・ウィルトンカーペット ・フェイストゥフェイスカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループパイル	・Ⓚ

色柄
※模様のない無地
・
パイル糸の繊維種等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種　・B種　・C種）
・
帯電性
・適用する　・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm
・

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ（mm）	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5～7　・	・全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・適用する ・適用しない	
・ループパイル	・4～6　・			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm
・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

・タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
タイルカーペットの敷き方
平場
※市松敷き
・模様流し
・
階段部分
※模様流し
・市松敷き
・
見切り、押え金物
材質（　　）
種類（　　）
形状等
※図示による

・ 合成樹脂塗床　[6.10.2、3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗床材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

・ フローリング張り Ⓚ　[6.11.2～6]

フローリングのホルムアルデヒド放散量等
※改修標準仕様書6.11.2(2)による
・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

・単層フローリング　（フローリングボード1等）
工法
・釘留め工法（・根太張り　・直張り　）
・接着工法
樹種
※なら
間伐材等の適用
・適用する　・適用しない

・単層フローリング　（フローリングブロック1等）
樹種
・
厚さ（mm）
・
大きさ
・
間伐材等の適用
・適用する　・適用しない

・複合フローリング
工法
・釘留め工法（・根太張り　・直張り　）
・接着工法
樹種
※なら
種別
・A種　・B種　・C種
間伐材等の適用
・適用する　・適用しない

・接着工法の場合の不陸緩和材
※合成樹脂発泡シート
・

・現場塗装仕上げ
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

・ 畳敷き　[6.12.2]

種別
・A種（畳表：・JS（特等麻糸）・J1（1等麻糸））
・B種
・C種（畳床：・PS-C20　・PS-C25　・PS-C30）
・D種（畳床：・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N）
下地の種類
・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン Ⓚ ）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

衝撃緩和型畳　（畳表：・C1　・C2）

⊙ せっこうボード、その他のボード及び合板張り　[6.13.2、3]

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)の(a)～(d)のいずれか
・
合板の防虫処理の適用
・行う
・行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
表面への化粧張り等の加工
※図示による　・

種類等	厚さ(mm)、規格等
木質系セメント板 Ⓚ	
・木毛セメント板 ・硬質(HW)　・中質(MW)　・普通(NW)	※図示による　・15　・20　・25
・木片セメント板 ・硬質(HF)　・普通(NF)	※図示による　・12　・15　・18　・21　・30
繊維強化セメント板	
・けい酸カルシウム板(タイプ2) 普通ボード 0.8FK	※図示による　・6　・8
火山性ガラス質複層板	
・火山性ガラス質複層板 種類　※図示による　・	※図示による　・
繊維板 Ⓚ	
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF)	※図示による　・3　・7　・9　・12　・
・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（無処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DI） ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DE）	※図示による　・2.5　・3.5　・5　・7　・
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ ・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ（A-IB） ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材	※図示による　・9　・12　・15　・18
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ Ⓚ	
・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・無研磨板（VN） ・研磨板（VS）	※図示による　・10　・12　・15　・18　・
・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DV） ・ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DO） ・塗装（DC）	※図示による　・10（難燃）　・12（難燃）　・
吸音材料	
⊙ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板（DR） ・ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ ・凹凸ﾀｲﾌﾟ	※図示による ⊙9（不燃）　・12（不燃） ・12（不燃）　・15（不燃）
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（・1号　・　）	※図示による　・25　・
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（・32K　・　）	※図示による ・25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み）　・
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	
⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-R）	※図示による　⊙9.5（準不燃） ・12.5（不燃）　・15（不燃）　・
・ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-S）	※図示による ・12.5（・不燃　・準不燃）
・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-F）	※図示による ・12.5（不燃）　・15（不燃）
⊙化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-D）	※図示による ・木目　12.5（不燃）幅 440mm 程度 模様（・柾目　・板目）　専用下地材有り ⊙トラバーチン模様　9.5（準不燃）
・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ（GB-L）	※図示による　・9.5　・
・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-NC） ・化粧無し（下地張り用） ・化粧有り（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様）	※図示による ・9.5（不燃）
合板類	
・普通合板 Ⓚ 表板の樹種名： 板面品質： 防虫処理 ・行う　・行わない	※図示による ・
・天然木化粧合板 Ⓚ 化粧板の樹種名： 防虫処理 ・行う　・行わない	※図示による ・
・特殊加工化粧合板 Ⓚ 化粧加工の方法 ・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装　・ 表面性能 ・ 防虫処理 ・行う　・行わない	※図示による ・

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
※図示による
合板類の張付け
・A種　・B種
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※改修仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
・ベベルエッジ　・スクェアエッジ
化粧加工の方法
・オーバーレイ　・プリント　・塗装

・ 壁紙張り　[6.14.2、3] [表6.14.1～表6.14.3]

ホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

施工箇所	壁紙の種類							防火性能	備考
	紙	繊維	塩化ビニル	プラスチック	無機質	その他			
	・	・	・	・	・	・		・不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	・		・不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	・		・不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	・		・不燃　・準不燃　・難燃	

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種
せっこうボード面及びけい酸カルシウム板面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種

・ モルタル塗り　[6.15.3、5、6]

モルタル
・現場調合材料
・既調合材料
既製目地材
・設ける
施工箇所（　　）　形状（※図示による　・　　）
・設けない
床の目地
・設ける
目地割り
※2m²程度（最大目地間隔3m程度）
・
目地の種類
※押し目地
・
・設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理
・図示による

・ タイル張り　[6.16.2～4]

伸縮目地の位置
床タイル
※縦、横とも4m以内ごと
・図示による
・
床タイル以外
・図示による
・
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による

見本焼き
・行う（施工箇所：　　）　・行わない
試験張り
・行う（範囲、仕様等は図示による）　・行わない

・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 Ⓚ	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		耐凍害性		耐滑り性	備考
				Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注	有	無		
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

既調合モルタル（品質・性能、試験方法は別表による）
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

既調合目地材（品質・性能、試験方法は別表による）

壁タイル張りの工法
内装タイル
・密着張り
・改良圧着張り

内装タイル以外のユニットタイル
・マスク張り
・モザイクタイル張り

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 Ⓚ	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		耐凍害性		耐滑り性	備考
				Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注	有	無		
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理
・

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	改修特記仕様書(7)	N，S	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治	事務部長	総務課長	課長補佐	係　長	担　当	特A-07

・セルフレベリング材塗り

[6.17.2、3]

塗厚（mm）
・

7 塗装改修工事

⊙材料

[7.1.3]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　　）

⊙下地調整

[7.2.1～7]

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す
・図示による
・
既存錆止め塗料の鉛含有量調査
・行う（　　箇所）
・行わない
下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種 ・	—
鉄鋼面	※RB種	—
亜鉛めっき鋼面	※RB種	—
亜鉛めっき鋼面 （鋼製建具等）	※RB種	—
モルタル面及び せっこうプラスター面	※RB種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP以外）、 ALCパネル面	※RB種	・行う ⊙行わない
押出成形セメント板面	・RA種　・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP）	・RB種　・RC種	・行う ・行わない
せっこうボード面及び その他ボード面	※RB種	—

⊙素地ごしらえ

(7.3.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種　・A種
鉄鋼面（DP以外）		※C種　・A種　・B種
鉄鋼面（DP）		※B種　・A種　・C種
亜鉛めっき鋼面	（鋼製建具等以外）	・A種　・B種
	（鋼製建具等）	※B種
モルタル面及びプラスター面		※B種　・A種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※B種　・A種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）		・A種　・B種
コンクリート面（DPのみ）		※B種　・A種
せっこうボード面及びその他ボード面		※B種　・A種

・錆止め塗料塗り

[7.4.2、3]

錆止め塗料塗りの種別

素地面	塗装の種類		塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP 錆止め塗装のまま （工程の種別は表7.4.3）	塗替え	As種	※C種
		新規見え掛り	As種	※A種
		新規見え隠れ	As種	※B種
	EP-G （工程の種別は表7.4.3）	塗替え	※Bs種　・As種	※C種
		新規見え掛り	※Bs種　・As種	※A種
		新規見え隠れ	※Bs種　・As種	※B種
	DP （工程の種別は表7.4.4）	塗替え	7.4.2(1)(ｲ)(b) による。	・B種(下地調整RB種) ・C種(下地調整RC種)
		新規	7.4.2(1)(ｲ)(a) による。	・A種
亜鉛めっき鋼面	SOP （工程の種別は表7.4.5）	塗替え	※Az種　・Bz種	※C種
		新規 鋼製建具等	※Az種　・Bz種	※A種
		新規 その他	※Bz種	※B種
	EP-G （工程の種別は表7.4.5）	塗替え	Cz種	※C種
		新規 鋼製建具等	Cz種	※A種
		新規 その他	Cz種	※B種
	DP （工程の種別は表7.4.6）	塗替え	Bz種	—
		新規	Bz種	—

⊙塗装

[7.5.2～7.13.2]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗装の種類 ※1種 ・2種	木部屋外	※B種	※A種
	木部屋内	※B種	※B種
	鉄鋼面	※B種	※B種　・A種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※A種	※B種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※B種	※B種
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種 ・A種 （着色塗料の種類：　　）	※B種 ・A種 （着色塗料の種類：　　）
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種　・A種	※B種　・A種
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級（　　）級	・	—
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（　　）級	・	—
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種	※B種　・A種
	屋内の木部	※B種	※A種　・
	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種　・A種
	屋内の亜鉛めっき面	※A種	※A種　・B種
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種	※B種　・A種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※B種	・A種　・B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種	※B種　・A種
・ピグメントステイン塗り			
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種　・A種	※B種　・A種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面）の塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする
・
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする
・
・高日射反射率塗料塗り ⊠
下地調整（改修標準仕様書　・表7.2.2　・表7.2.3）
※RB種　・RA種　・RC種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量 (kg/㎡)
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
・適用しない
・適用する(着色剤：・溶剤系着色剤　・油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない
オイルステン塗りの工程等
・

8 環境配慮改修工事

・石綿含有建材の除去工事

[9.1.1、3～6]

・石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 （各施工箇所ごと）
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・計　　点
・	測定 2		調査対象室外部の付近	・計　　点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	・計　　点
・	測定 4		セキュリティーゾーン入口	・計　　点
・	測定 5		集じん・排気装置の排出口 （処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/s以下の位置 ・計　　点
・	測定 6		処理作業室内 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計　　点
・	測定 7	処理作業後 （シート養生中）	処理作業室内	・計　　点
・	測定 8	処理作業後 （シート撤去後1週間以降）	処理作業室内	・計　　点
・	測定 9		調査対象室外部の付近	・計　　点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定 4 ・測定 5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・測定 4　・ ・測定 5	25	5	30
・測定 ・	47	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

・外断熱改修工事 ⊠

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材（石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む）の除去
除去対象範囲
・図示による
除去工法
※改修標準仕様書9.1.3（2）(ｱ)による
・
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・石綿含有保温材等（石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む）の除去
除去対象範囲
・図示による
除去工法
※手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・石綿含有けい酸カルシウム板第1種の切断、破砕等による除去
除去対象範囲
・図示による
隔離養生（負圧不要）方法
・図示による
足場
・図示による
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分
・埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・
・石綿含有成形板の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第1種の手ばらしによる除去を含む。）
除去対象範囲
・図示による　・
養生
・行う（養生方法：　　）
・行わない
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分(管理型最終処分場)
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
・埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
除去対象範囲
・図示による
除去工法
・
養生方法
・
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・埋立処分(安定型最終処分場)
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

石綿含有建材除去後の仕上げ工事
・図示による

[9.2.2～4]

断熱材
断熱材の種類
・
断熱材の厚さ(mm)
・
施工箇所
・図示による
ホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
外装材

種類	防火性能	備考
・		

鋼材
改修特記仕様書第8章　8-3　鉄骨工事　・鋼材による。
笠木
改修特記仕様書第3章　・アルミニウム製笠木による。
既存外壁の処置
既存外壁仕上材の撤去
・行う　・行わない
下地面の清掃
・行う　・行わない
欠損部の改修工法
・改修特記仕様書第4章　外壁改修工事による
・
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
不陸等の下地調整
・
断熱材の施工
・断熱材製造所の仕様による
・
外装材の施工
・外装材製造所の仕様による
・
通気層の有無
・有（　　mm）　・無
外装材の外壁への取付け
・図示による
笠木の施工
・改修特記仕様書第3章　アルミニウム製笠木による

・断熱・防露改修工事 ⊠

[9.3.2～4]

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
工法
・断熱材打込み工法
断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
種 類
厚 さ(mm)
施 工 場 所
・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類
・A種1　・A種1H
吹付け厚さ（mm）
・25　・30
施工箇所
・図示による
・断熱材後張り工法
断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
種 類
厚 さ(mm)
・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル
材 質
厚さ　・　　(mm)
・張り付け工法
断熱材の張り付け工法
断熱材へのボードの張付け工法

・屋上緑化改修工事 ⊠

[9.4.2～4]

植栽基盤及び材料
・簡上緑化軽量システム
土及び地被類の種類等
※図示による
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等
※図示による
（品質・性能、試験方法は別表による）
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力対応した工法
かん水装置
・設置する（種類　・　　）
既存保護層の撤去
・行う　・行わない
新植した芝及び地被類の枯補償の期間
※引渡しの日から1年
・

・透水性アスファルト舗装改修工事

[9.5.2～5、9]

適用範囲：歩道
既存舗装の撤去及び再利用
※図示による
路床
路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ⊠	・図示による ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン ⊠ ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂 ・	・図示による ・
・フィルター層	・砂 ・	・図示による ・

(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)
・行う　・行わない
・路床安定処理
・適用する　・適用しない
安定処理の方法
・置き換え工法
・安定処理工法
路床安定処理用添加材料
種類
・普通ポルトランドセメント
・高炉セメントB種 ⊠
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号　・1号）
・消石灰（・特号　・1号）
添加量
・　　kg/㎥　（目標CBR　・3以上　・　　）
・ジオテキスタイル
単位面積質量
・60g/㎡以上
厚さ(mm)
・0.5～1.0　・
引張強さ
・98N/5cm（10kgf/5cm）以上
透水係数
・$1.5\times10^{-}$ cm/sec以上
試験
路床土の支持力比（CBR）試験
・行う　・行わない
路床締固め度の試験
・行う　・行わない
現場CBR試験
・行う　・行わない

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校	図面番号
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	改修特記仕様書(8)	N，S	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第182598号 山口 英治	事務部長 / 総務課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当	特A-08

路盤
路盤の厚さ
・図示による　・
路盤材料（改修標準仕様書表9.7.3による種別）
・クラッシャラン
・粒度調整砕石
・再生クラッシャラン C
・再生粒度調整砕石 C
・クラッシャラン鉄鋼スラグ C
・粒度調整鉄鋼スラグ C
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ C
舗装の構成
・図示による
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
・行う　・行わない
舗装の平たん性
※著しい不陸がないもの
・

9 とっこわし工事

・騒音・粉じん等の対策

[2.1.3]
・防音パネル
・防音シート
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
・工事に必要な範囲　・

・既存部分の養生

[2.3.1]
1）養生方法等
・既存部分　養生方法　（・　※ビニルシート、合板）
・既存家具、既存設備等　養生方法　（・　※ビニルシート等）
・既存ブラインド、カーテン等　養生方法　（・ビニルシート等　・　）
保管場所　（・図示　・　）
・固定された備品、机、ロッカー等の移動　（・図示　・　）
2）既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

・仮設間仕切り

[2.3.2][表 2.3.1]
1）仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　・図示　・
2）仮設間仕切りの種別と材質等

種　別	仕上げ（厚さmm）	塗　装	充填
・A 種	・せっこうボード 種類(・　　) 厚さ(・　mm　※ 9.5mm)	・なし ・片面 ・	グラスウール 厚さ　(mm)
・B 種	・合板 材種(・　　) 厚さ(・　mm　※ 9mm) ・		
※ C 種	防炎シート		

3）仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材　質	仕上げ	塗　装	設置箇所
・	・	・なし ・片面	・　か所 ・図示
※ 木製	※合板張り程度		

・施工条件

解体に関しては「騒音規制法」、「振動規制法」、「大気汚染防止法」の法令等に従うほか、公害防止に適切な工法及び養生方法により作業を行う。
また、作業中に発生する粉じんについては、散水その他適切な養生を行い、粉じん防止に努める。

・解体方法

主として用いる工法
・　圧砕工法
・　大型ブレーカー工法
・　ハンドブレーカー工法

使用してはならない解体工法
・　爆薬工法
・　スチールボール工法

プール改修工事

・ひび割れ及び欠陥等の補修

下地処理　[[1.2.3]]
・

・ライニング工法

下地調整　[[1.3.2～4]]
※RA種　・

材料
ライニング用材料
・
ライニング用材料の材質
・ガラスクロス　・ガラスマット
防滑性材料
※鋭利な角部のない微細硅砂　・

施工
・ガラスクロスライニング工法
種別
・

・プール塗装塗り替え工法

下地調整　[[1.4.2～4]]
※RA種　・

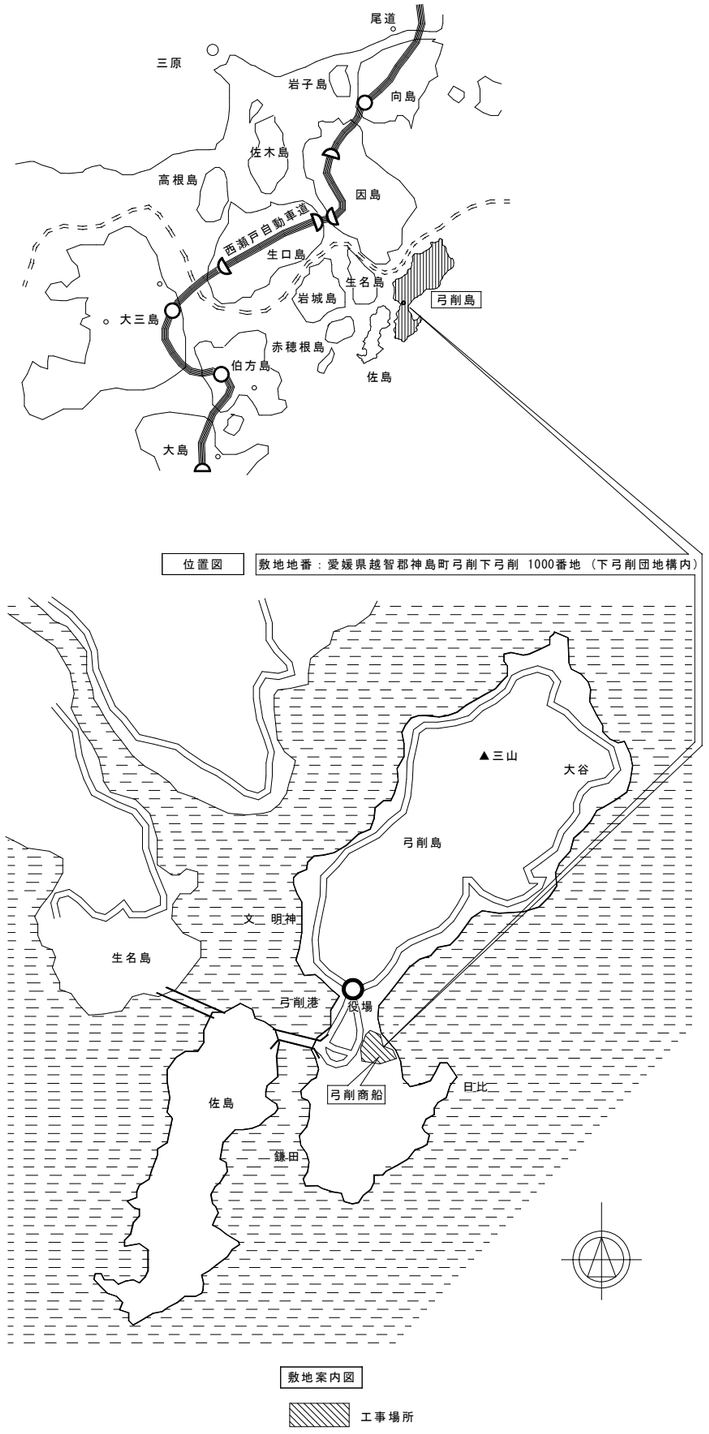
材料
塗り替え用材料
・
防滑性材料
※鋭利な角部のない微細硅砂　・

施工
種別
・

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	改修特記仕様書(9)	N，S	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治	事務部長	総務課長	課長補佐	係　長	担　当	特A-09

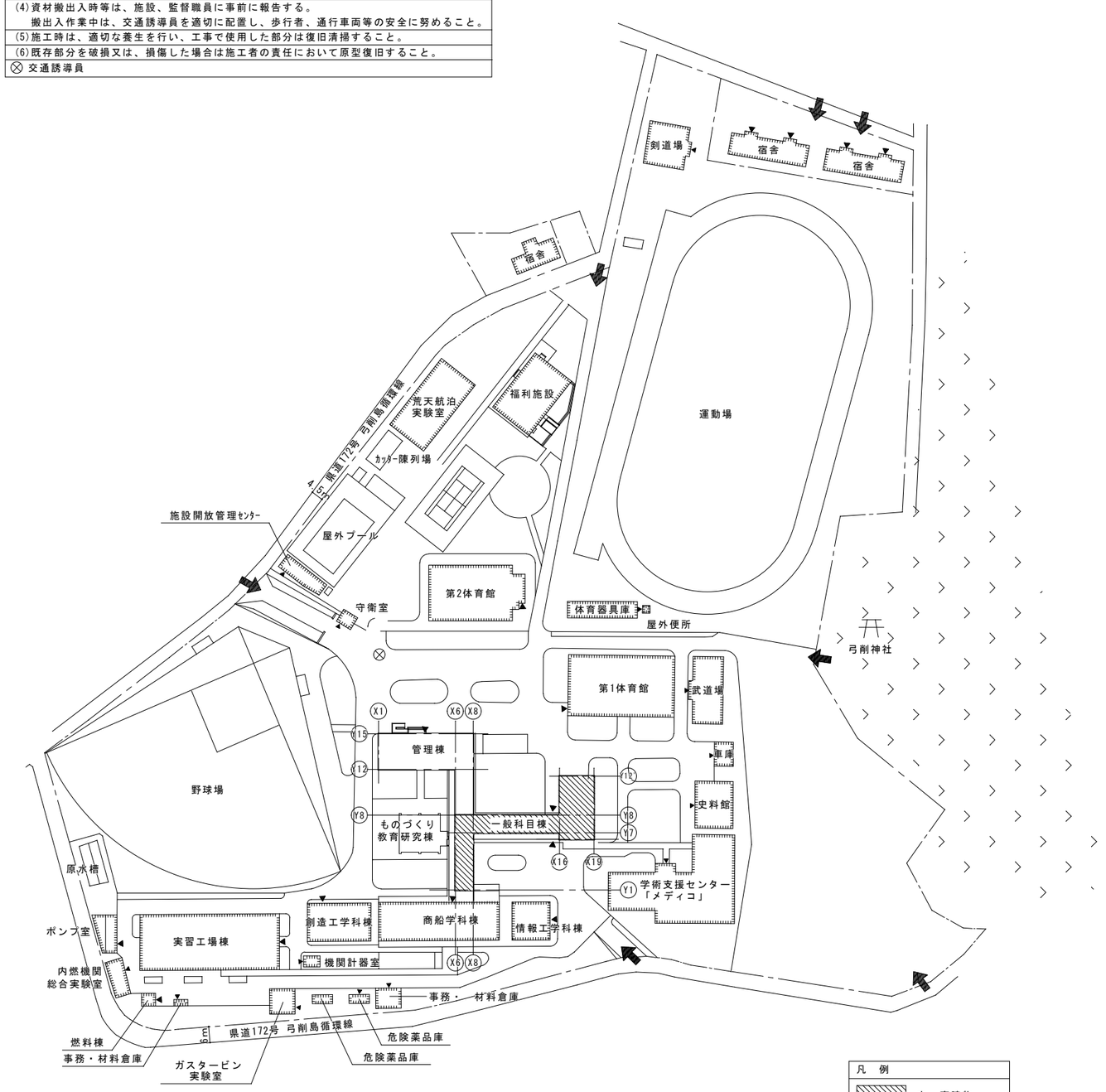
■仮設計画概要

(1)本工事では、施設運営を行いながらの工事となる.
(2)本図記載の仮設計画は参考とし、事前に調査・検討を行い、安全な仮設計画とする。
(3)作業時間帯は8:30～17:00を原則とする。
(4)資材搬出入時等は、施設、監督職員に事前に報告する。 搬出入作業中は、交通誘導員を適切に配置し、歩行者、通行車両等の安全に努めること。
(5)施工時は、適切な養生を行い、工事で使用した部分は復旧清掃すること。
(6)既存部分を破損又は、損傷した場合は施工者の責任において原型復旧すること。
⊗ 交通誘導員



敷地案内図

工事場所



年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	案内図、配置図	A1=1/1000 A3=1/2000	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治						A－01

[一般凡例]
C コンクリート
S 鉄骨、鋼製
MO モルタル
RC 鉄筋コンクリート
ALC 軽量気泡コンクリート板t100
ECP 押出成形セメント板t60
LGS 軽量鉄骨(壁・天井)下地
SUS ステンレス304
AL アルミニウム
CB コンクリートブロック
W 木
GW グラスウール 24kg/m3
SL セルフレベリング
OAF フリーアクセスフロア(29)

[一般凡例]
UB ユニットバス
US ユニットシャワー
CR カーテンレール(W)、カーテン別途
BR ブラインド

[塗装仕上凡例]
SOP 合成樹脂調合ペイント塗り
CL クリヤラッカー塗り
NAD ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り
DP 耐候性塗料塗り(ﾌｯ素)
EP-G つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り
EP 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り
1-UC 1液形 ウレタン樹脂ワニス塗り
2-UC 2液形 ウレタン樹脂ワニス塗り
OS オイルステイン塗り
WP 木材保護塗料塗り
USP 厚膜型ポリウレタン塗料塗り
L.P 合成ゴム系エマルジョン塗料塗り
W.P 酢酸ビニル系塗料塗り
F.P フタル酸系樹脂塗料塗り
EP-W 水性反応硬化形ｱｸﾘﾙ樹脂塗料塗り

[内装仕上凡例]
TT 単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t2.0
FOA 置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t5.0
FT 複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t2.0
FS 複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0
FS(ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ) 複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0
FS(抗菌) 抗菌性複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0
FS(防滑) 防滑性複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.5
Ca ﾀｸﾗｯﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄ t6.0
TCa ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ t6.5
VB ﾋﾞﾆﾙ巾木
VC ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ
TB ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ
UF 硬質ウレタンフォーム断熱材

[NM:不燃材料 QM:準不燃材料 RM:難燃材料]
GB 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 NM-8619
GB 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 QM-9828
GB(不燃) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 NM-2049
GB(H) 硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 NM-1908
GB(F) 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 NM-8615
GB(S) 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 QM-9826
GB(T) 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ) t9.5 QM-0524
GB(P) 化粧石膏吸音ﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 NM-0879
FK(化粧) 無石綿化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板 NM-8577
FK 無石綿けい酸ｶﾙｼｳﾑ板 NM-8578
DR ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板 NM-8599
VC ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ NM-1102

[新設間仕切壁等凡例]
LP-(防) 耐火壁[1h]【FP060NP-0199】
LGS(65形)、GB(F)t12.5+GB(H)t9.5、両面張り
※ｽﾀﾞ又は梁下までとする
LP-1 LGS(65形)、GBt12.5+GBt9.5
LP-2 LGS(65形)、GBt12.5
(GL) GBt12.5 + GLﾎﾞﾝﾄﾞ厚t17.5 → 総厚み30mm
(GW) ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50(24KG)敷込み

特記事項
※ ［　］内文字は改修部分を示す(特記外、改修前は撤去･改修後は新設を示す)
※ 内装材、接着剤、家具、建具材は全てＦ☆☆☆☆材以上を使用する（シックハウス対策）
※ 工事建材は全てノンアスベスト品とする
※ 指定建築材料はJIS,JAS,大臣認定品を使用する
※ 改修工事に伴って撤去及び破損した箇所は、現況仕上げと同等以上に補修すること
※ 改修対象範囲は改修がなくとも全て美装を行うこと
※ 既存天井内の壁面･天井面･梁型面の釘･アンカー等の突出物は除去し、防錆処理を行うこと
※ 仕上材質の異なる面はシーリング処理を行うこと
※ 既存仕上の上に改修を行う場合は、特記外、下地調整(RB種)を行うこと

内 部 仕 上 表

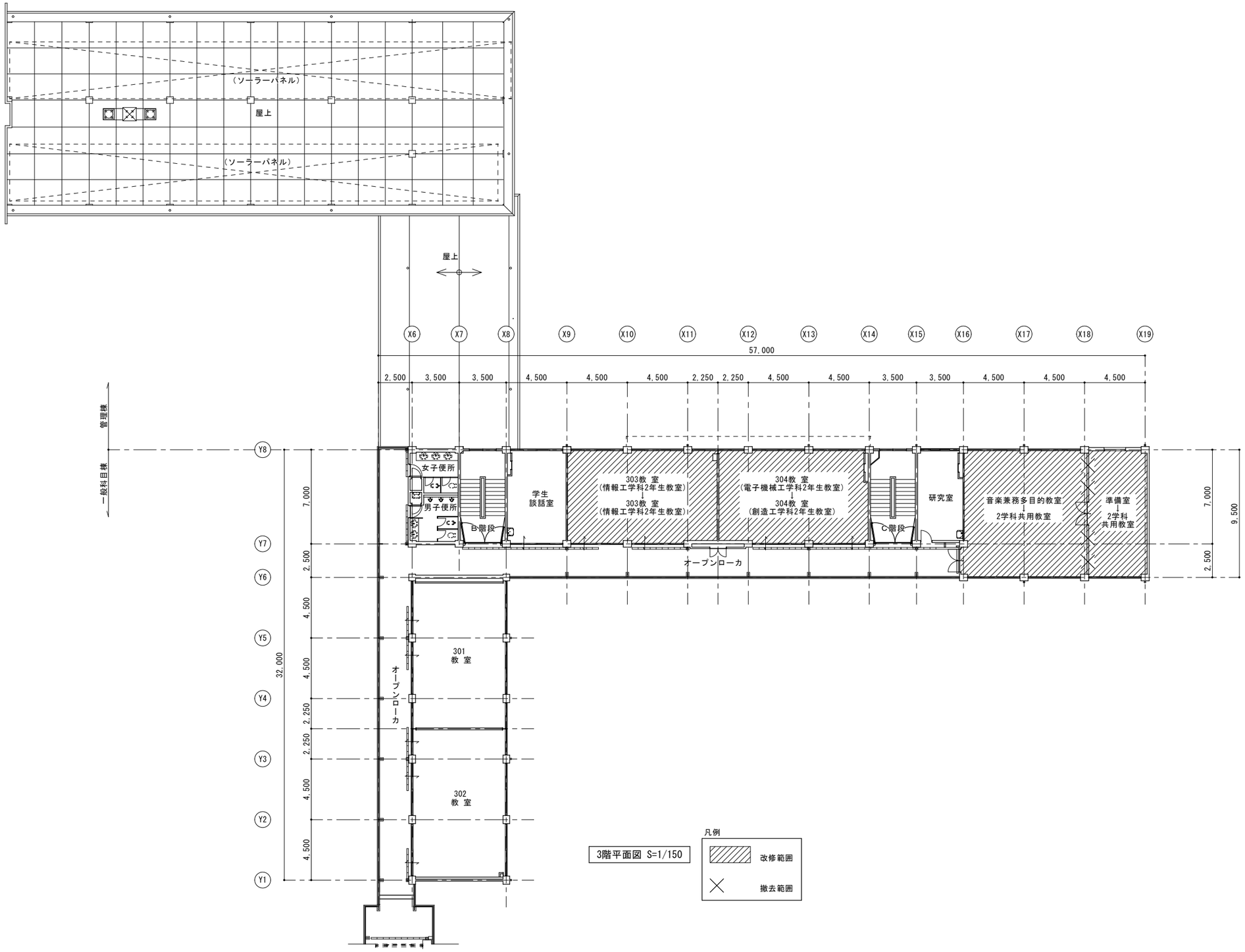
改 修 前

室名	床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 H	壁 下地	壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	CH	廻縁	備考
3階											
303教室 (情報工学科2年生教室) FL±0	MO	FS	VB	75	MO MO LGS LGS	柱型:EP UF(20) GB(12.5+9.5)GL工法張 EP GB(12.5+9.5) EP GB t=(12.5)+EP一部撤去	LGS 一部撤去 MO	GB(9.5)+DR(9) 一部撤去 梁型:EP	3,100 2,500	塩ビ	白板ﾁｮｰｸ置き撤去
304教室 (電子機械工学科2年生教室) FL±0	MO	FS	VB	75	MO MO LGS LGS	柱型:EP UF(20) GB(12.5+9.5)GL工法張 EP GB(12.5+9.5) EP GB t=(12.5)+EP一部撤去	LGS 一部撤去 MO	GB(9.5)+DR(9) 一部撤去 梁型:EP	3,100 2,500	塩ビ	白板ﾁｮｰｸ置き撤去
音楽兼務多目的室 FL±0	MO	FS	VB	75	MO MO LGS	柱型:EP UF(20) GB(12.5+9.5)GL工法張 EP GB(12.5+9.5) 化粧断熱材張り t=25	LGS MO	GB(T) 一部撤去 梁型:EP	3,100 2,500	塩ビ	
準備室 FL±0	MO	FS	VB	75	MO MO LGS	柱型:EP UF(20) GB(12.5+9.5)GL工法張 EP GB(12.5+9.5) EP	LGS MO	GB(T) 一部撤去 梁型:EP	2,700 2,500	塩ビ	間仕切壁撤去

改 修 後

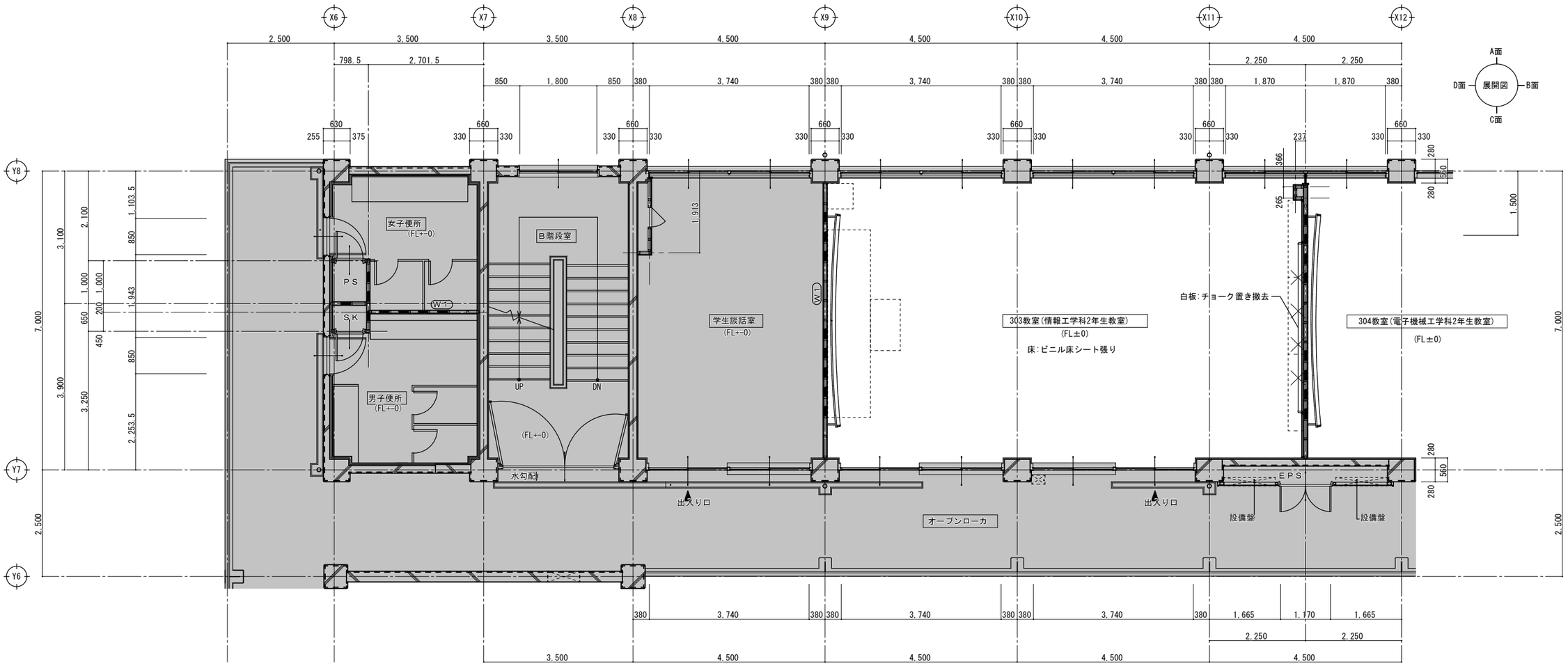
室名	床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 H	壁 下地	壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	CH	廻縁	備考
3階											
303教室 (情報工学科2年生教室) FL+34	MO	FS OAF FOA	VB	41	MO MO LGS LGS	柱型:EP UF(20) GB(12.5+9.5)GL工法張 EP GB(12.5+9.5) EP GB t=(12.5)+EP一部復旧	LGS 一部復旧 MO	GB(9.5)+DR(9) 一部復旧 梁型:EP	3,066 2,466	塩ビ	
304教室 (創造工学科2年生教室) FL+34	MO	FS OAF FOA	VB	41	MO MO LGS LGS	UF(20) GB(12.5+9.5)GL工法張 EP GB(12.5+9.5) EP GB t=(12.5)+EP一部復旧	LGS 一部復旧 MO	GB(9.5)+DR(9) 一部復旧 梁型:EP	3,066 2,466	塩ビ	
2学科共用教室 FL+34	MO	FS OAF FOA	VB	41	MO MO LGS 一部新設	柱型:EP 柱型:EP補修(壁撤去部) UF(20) GB(12.5+9.5)GL工法張 EP GB t=(12.5)+EP一部新設	LGS 一部復旧 MO	GB(T) 一部復旧 梁型:EP	3,066 2,466	塩ビ	プロジェクターハンガー 新設
2学科共用教室 FL+34	MO	FS OAF FOA	VB	41	MO MO LGS 一部新設	柱型:EP 柱型:EP補修(壁撤去部) UF(20) GB(12.5+9.5)GL工法張 EP GB t=(12.5)+EP一部新設	LGS 一部復旧 MO	GB(T) 一部復旧 梁型:EP	2,666 2,466	塩ビ	

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校	図面番号
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	仕上げ表(改修前・改修後)(一般科目棟)	N.S	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第182598号 山口 英治	事務部長 / 総務課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当	A-02



3階平面図 S=1/150

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係　長	担　当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事（機能強化支援第2期）	3階平面図（改修前・改修後） （一般科目棟）	A1=1/150 A3=1/300	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治						A-03

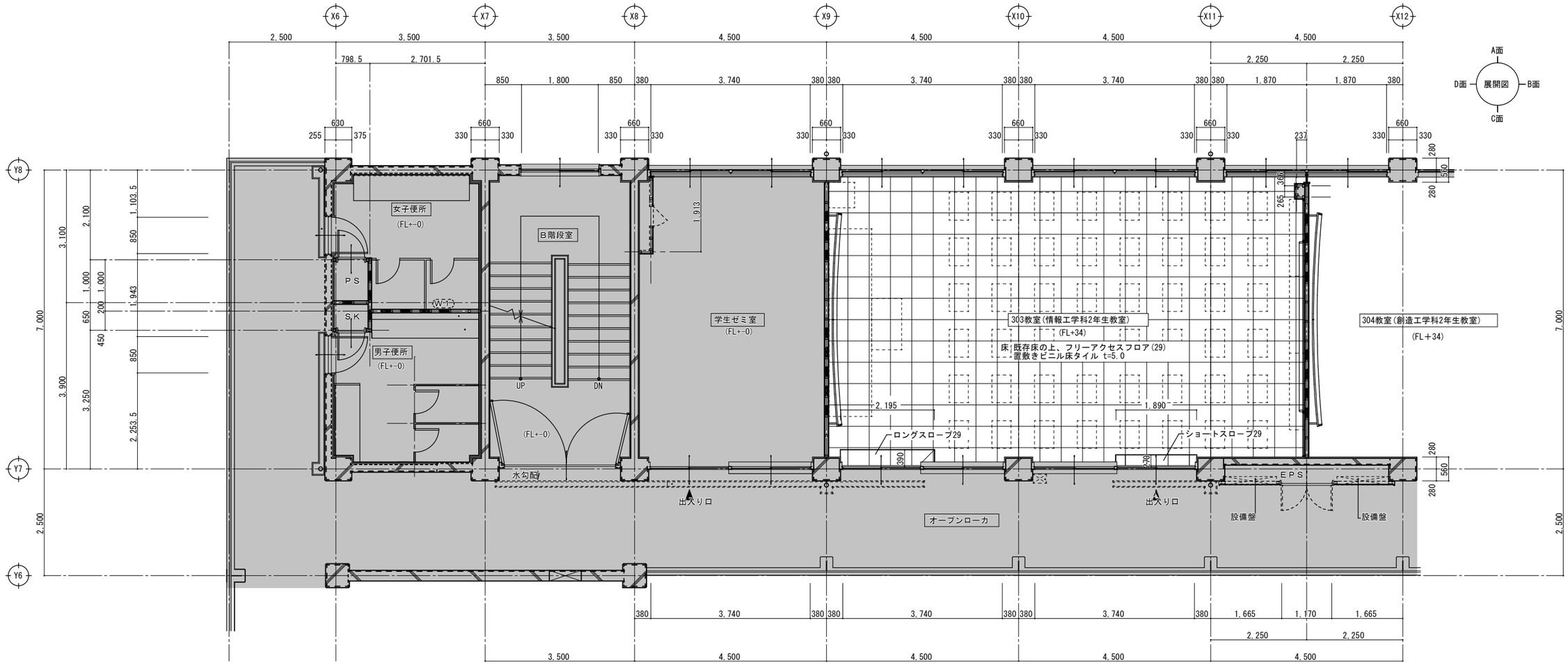


凡例

	改修範囲外
	撤去範囲

3階 303教室平面詳細図(改修前) S=1/50

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	3階平面詳細図No.1(改修前)(一般科目棟)	A1=1/50 A3=1/100	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第182598号 山口 英治						A-04

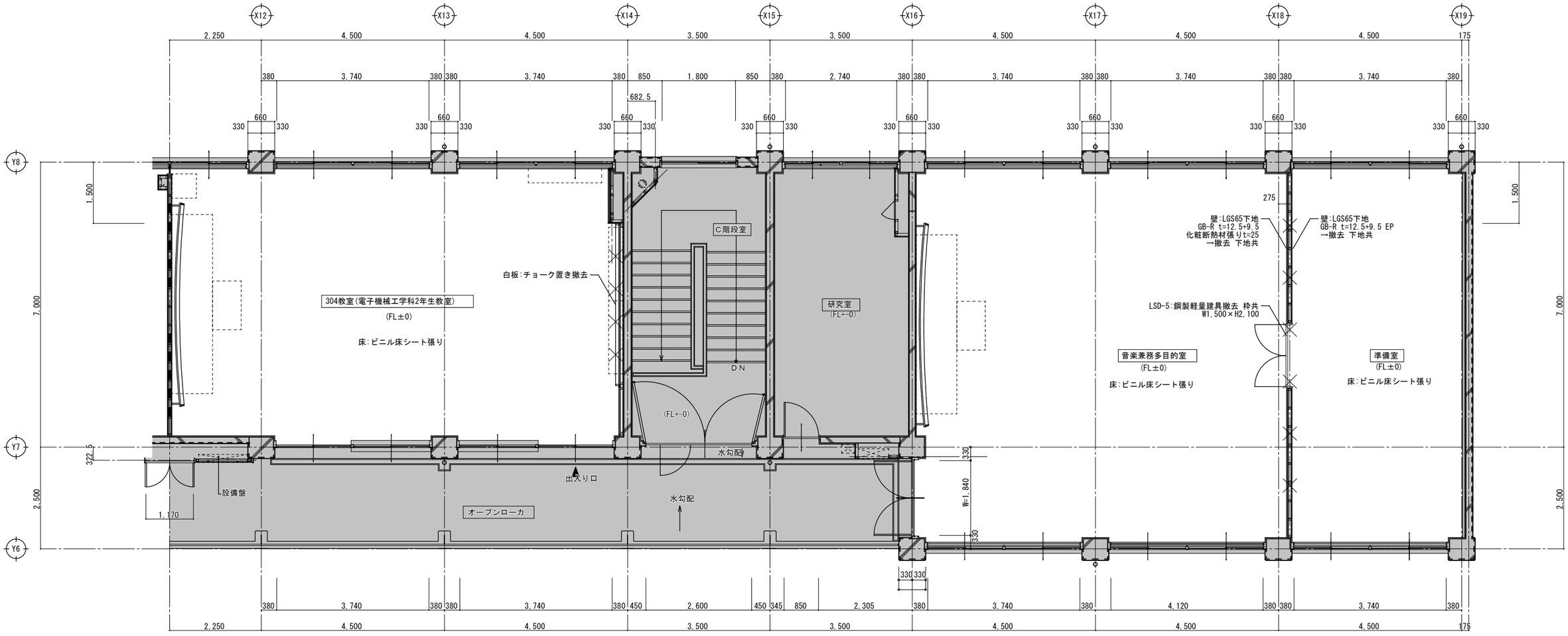


凡例

3階 303教室平面詳細図(改修後) S=1/50

改修範囲外

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	3階平面詳細図 No.1(改修後)(一般科目棟)	A1=1/50 A3=1/100	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第182598号 山口 英治						A-05



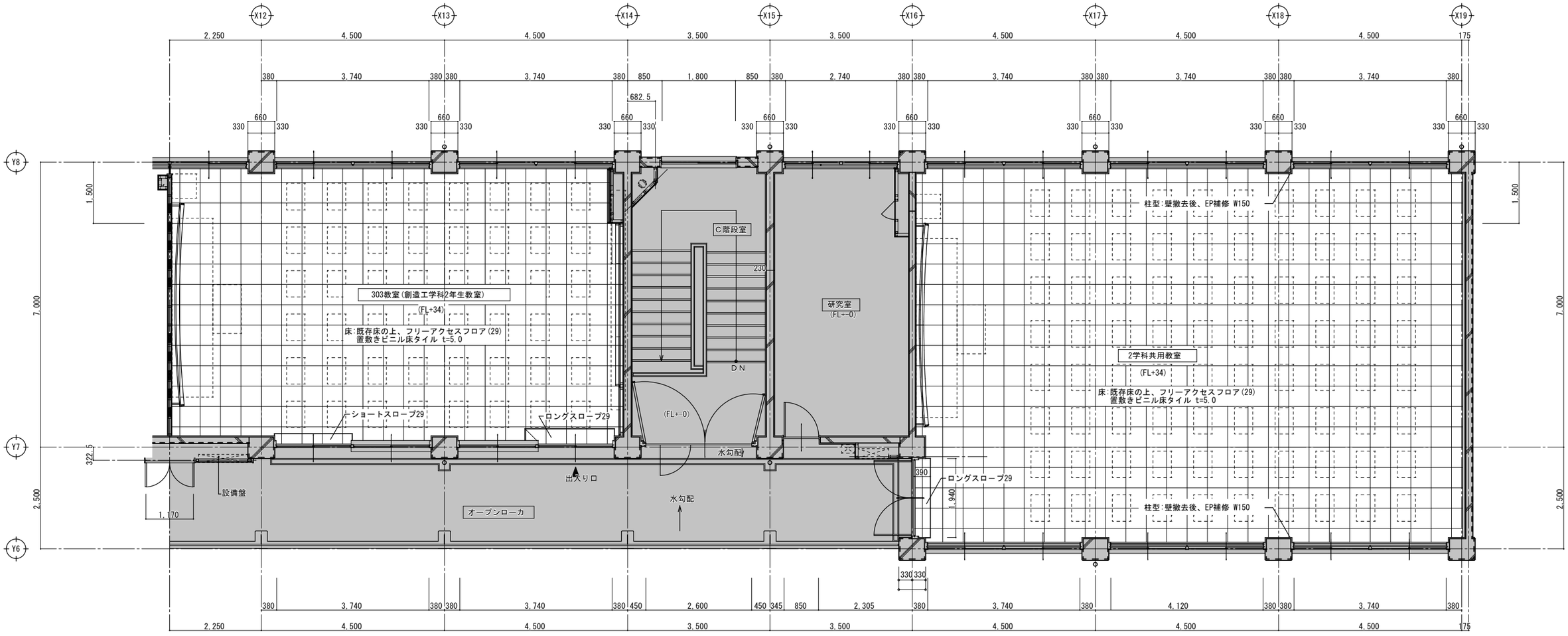
3階304教室,音楽兼務多目的室,準備室　平面詳細図(改修前)　S=1/50

凡例

改修範囲外

撤去範囲

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係　長	担　当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	3階平面詳細図 No.2(改修前) (一般科目棟)	A1=1/50 A3=1/100	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治						A-06

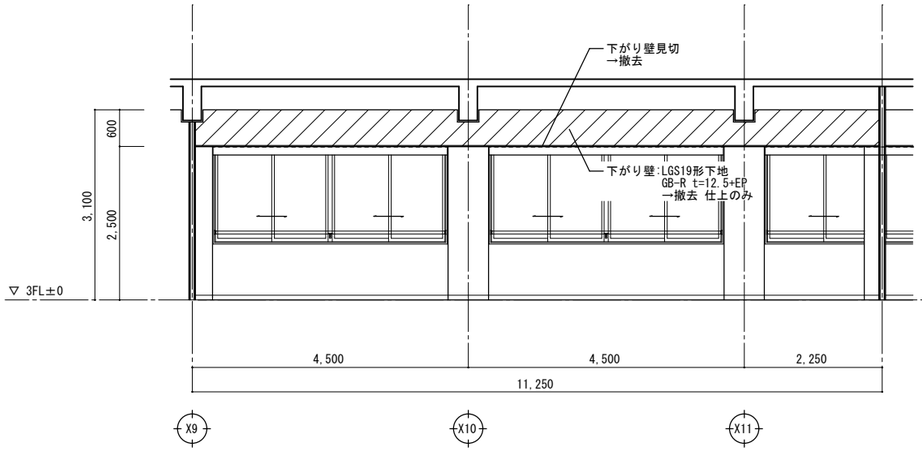


3階 304教室,2学科共用教室　平面詳細図(改修後)　S=1/50

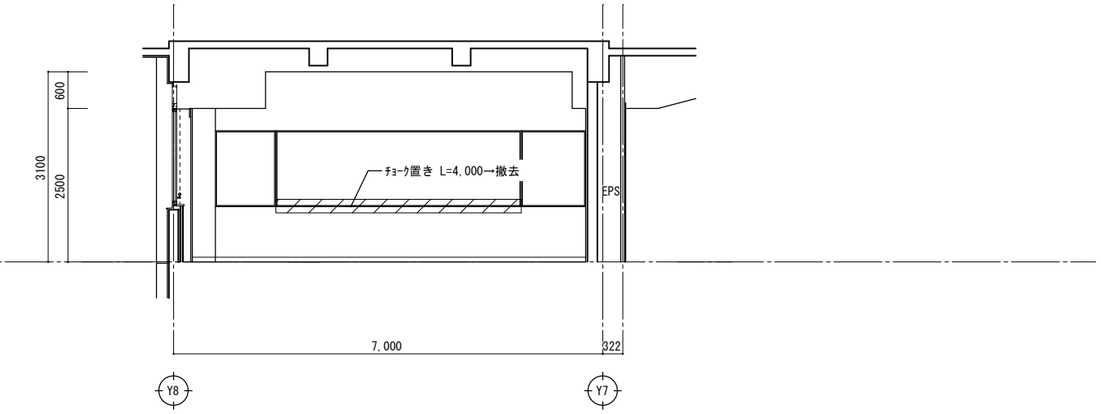
凡例

改修範囲外

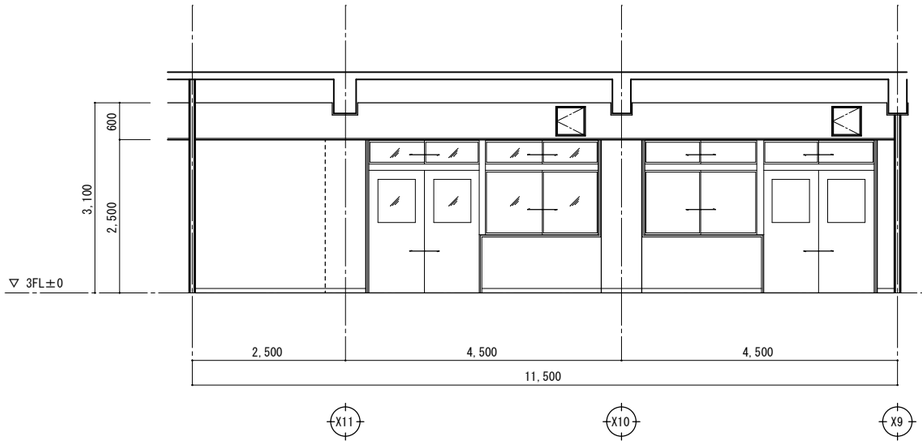
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係　長	担　当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等 内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等 内部改修工事(機能強化支援第2期)	3階平面詳細図 No.2(改修後) (一般科目棟)	A1=1/50 A3=1/100	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治						A-07



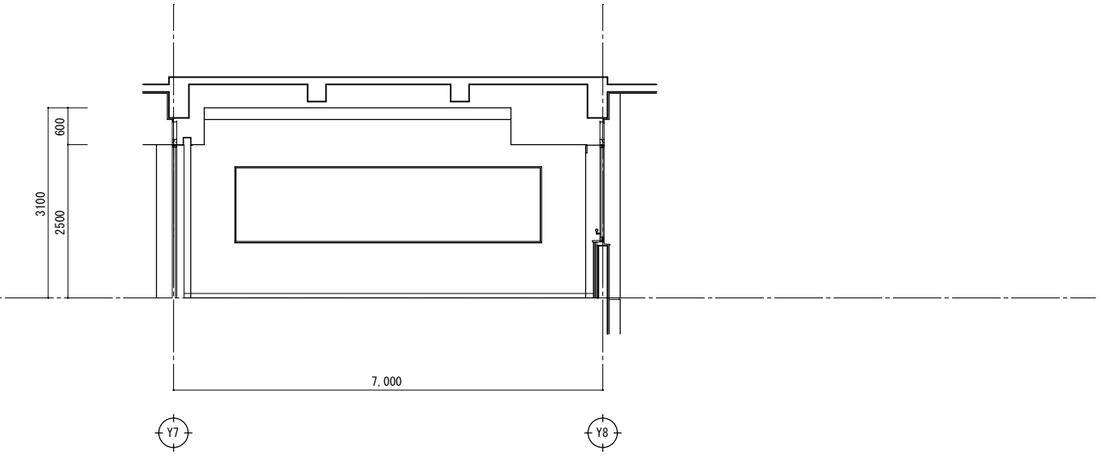
3階 303教室 A面展開図(改修前) S=1/50



3階 303教室 B面展開図(改修前) S=1/50



3階 303教室 C面展開図(改修前) S=1/50

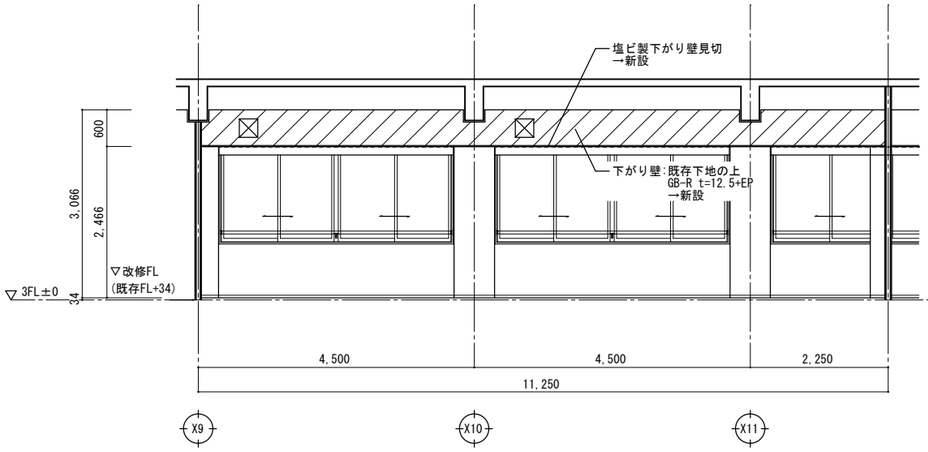


3階 303教室 D面展開図(改修前) S=1/50

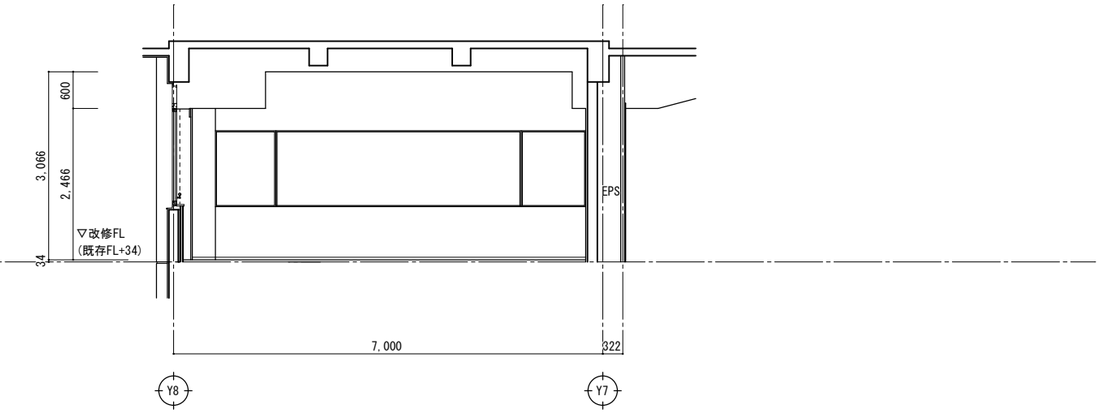
凡 例	
	撤去範囲

※特記なきは既存のまま

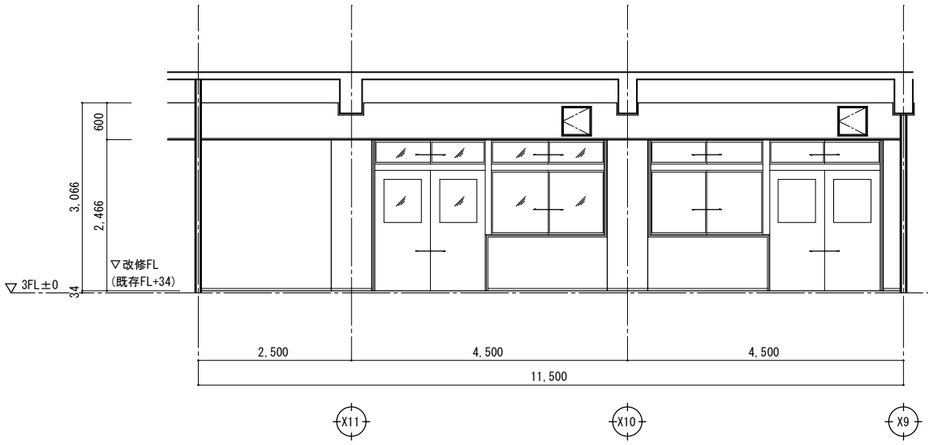
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	3階展開図 No.1(改修前)(一般科目棟)	A1=1/50 A3=1/100	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治						A-08



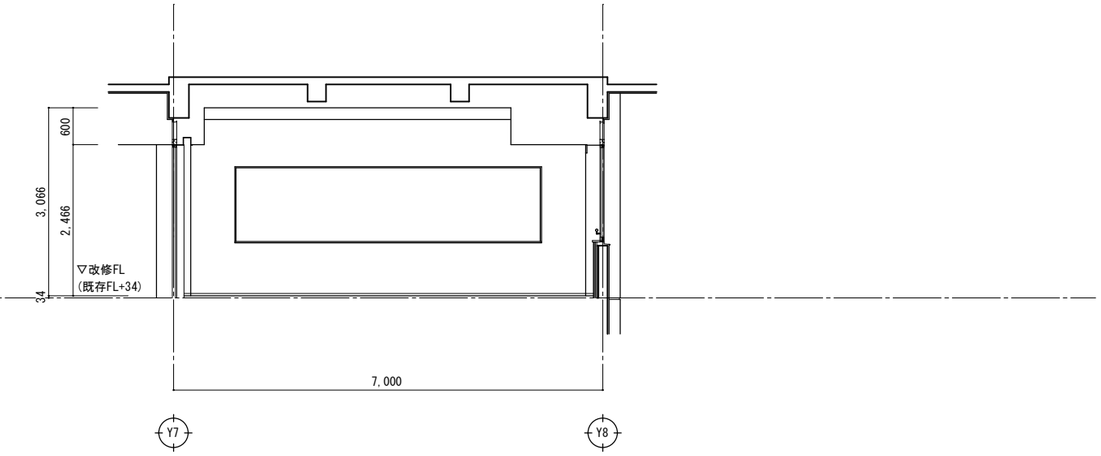
3階 303教室 A面展開図(改修後) S=1/50



3階 303教室 B面展開図(改修後) S=1/50



3階 303教室 C面展開図(改修後) S=1/50

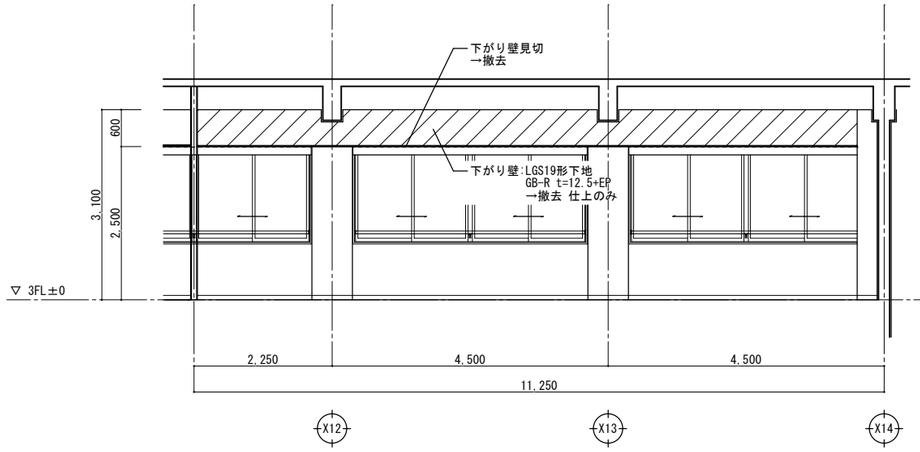


3階 303教室 D面展開図(改修後) S=1/50

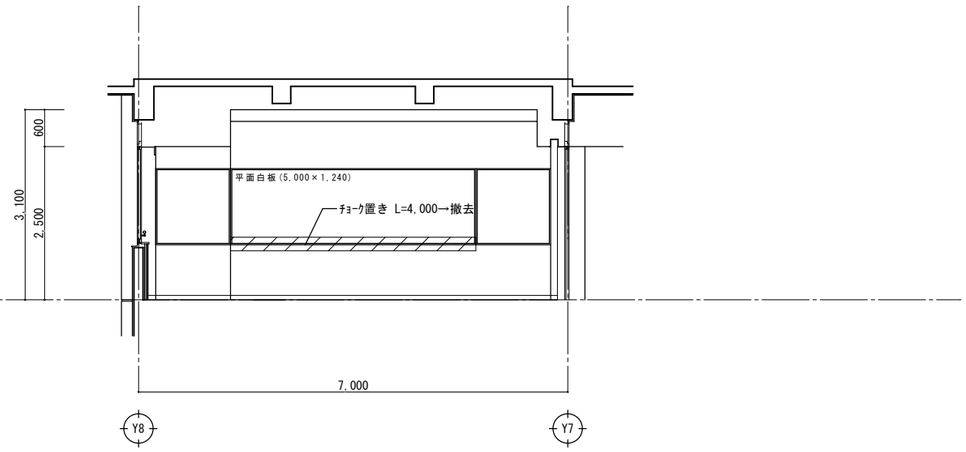
凡 例	
	改修範囲
⊠	開口補強 300×300

※特記なきは既存のまま

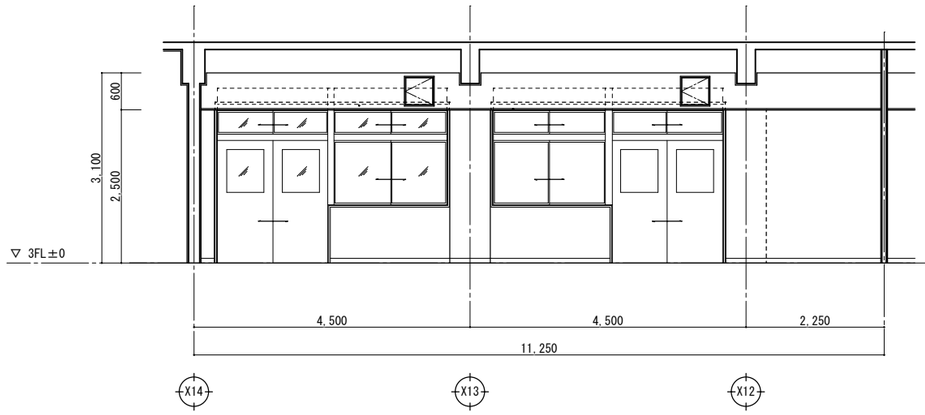
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	3階展開図 No.1(改修後) (一般科目棟)	A1=1/50 A3=1/100	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第182598号 山口 英治						A-09



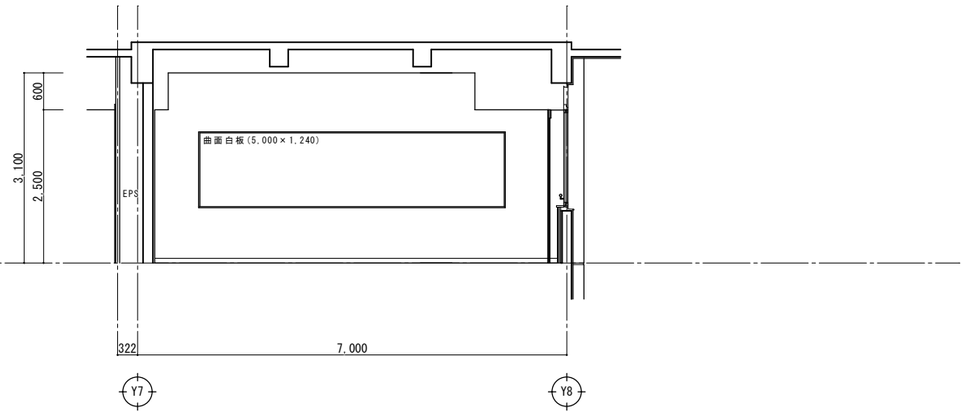
3階 304教室 A面展開図(改修前) S=1/50



3階 304教室 B面展開図(改修前) S=1/50



3階 304教室 C面展開図(改修前) S=1/50

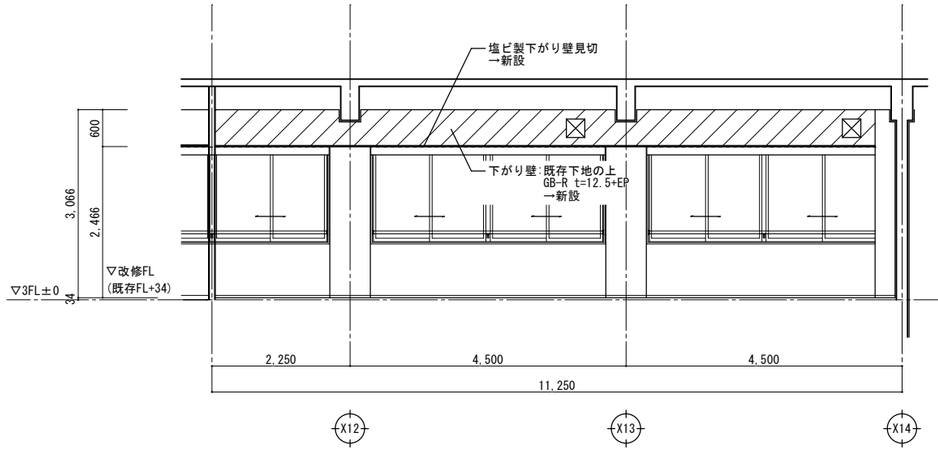


3階 304教室 D面展開図(改修前) S=1/50

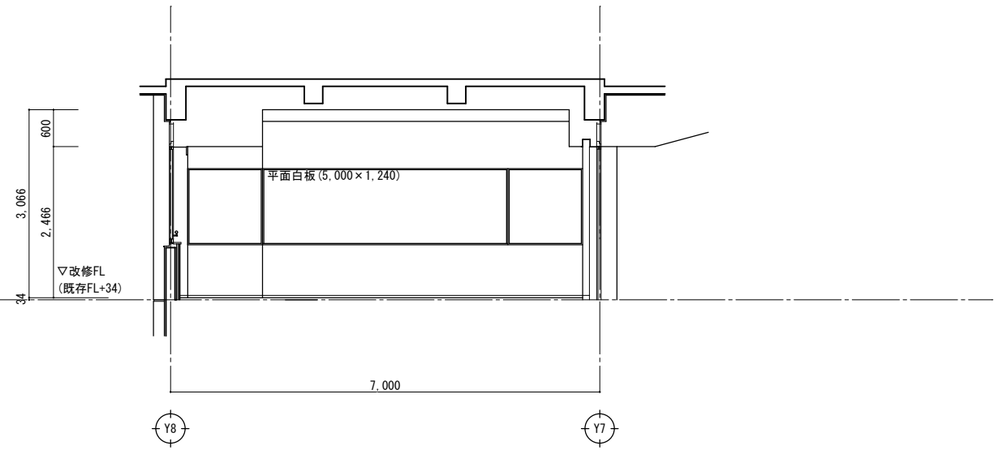
凡 例	
//////	撤去範囲

※特記なきは既存のまま

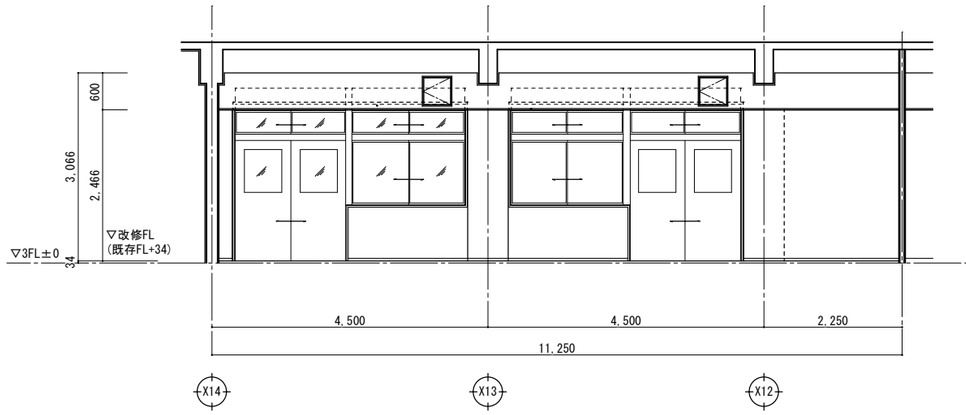
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	3階展開図 No.2(改修前)(一般科目棟)	A1=1/50 A3=1/100	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第182598号 山口 英治						A-10



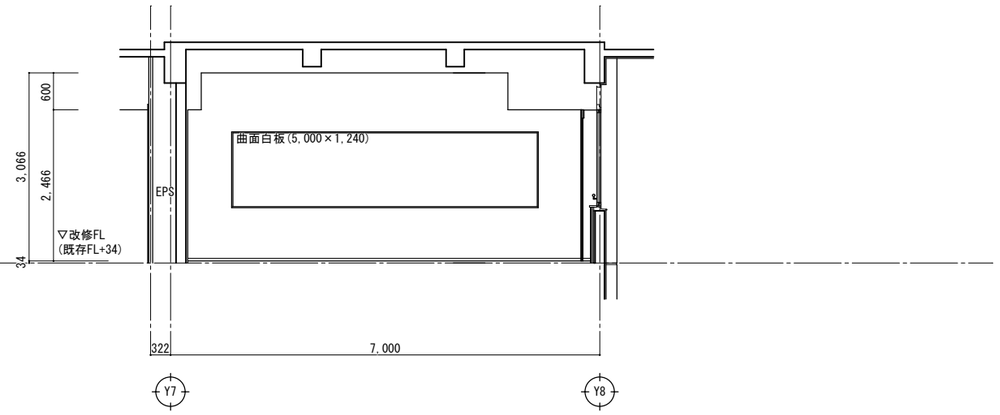
3階 304教室 A面展開図(改修後) S=1/50



3階 304教室 B面展開図(改修後) S=1/50



3階 304教室 C面展開図(改修後) S=1/50

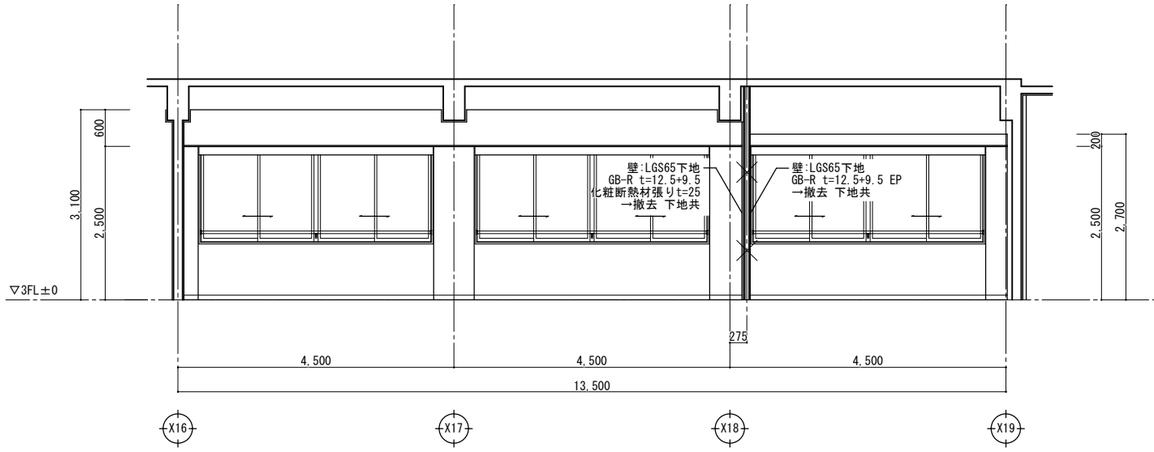


3階 304教室 D面展開図(改修後) S=1/50

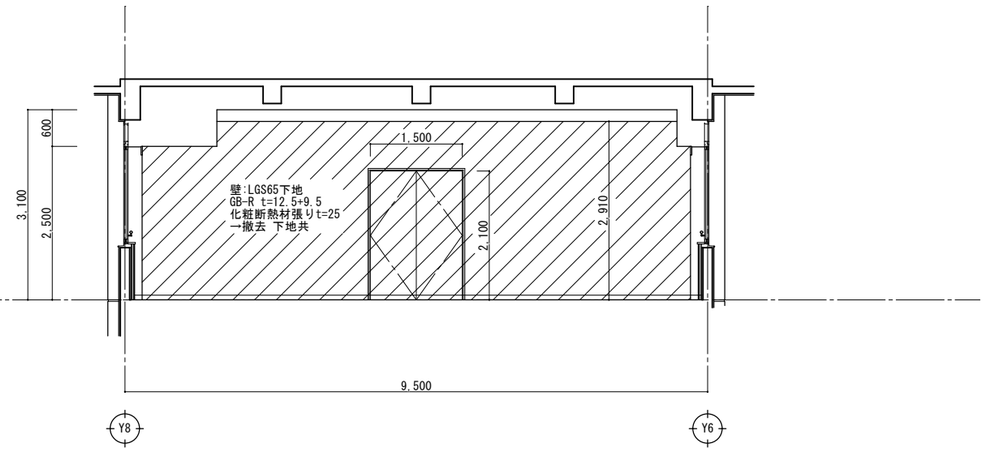
凡 例	
	改修範囲
	開口補強 300×300

※特記なきは既存のまま

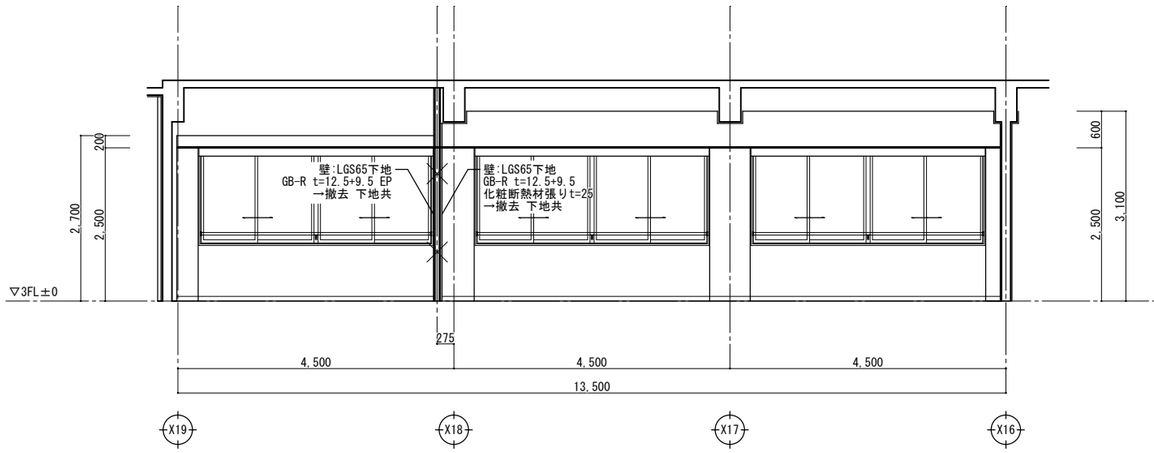
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	3階展開図 No.2(改修後) (一般科目棟)	A1=1/50 A3=1/100	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治						A-11



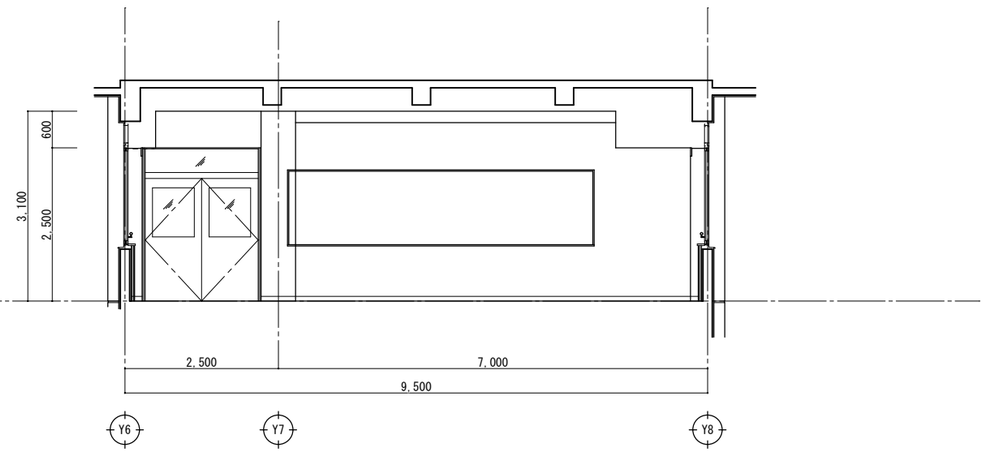
3階 音楽兼務多目的室,準備室 A面展開図(改修前) S=1/50



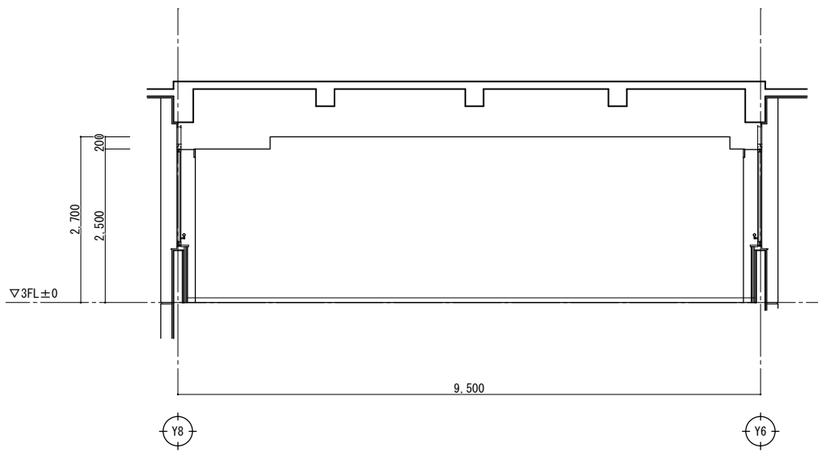
3階 音楽兼務多目的室 B面展開図(改修前) S=1/50



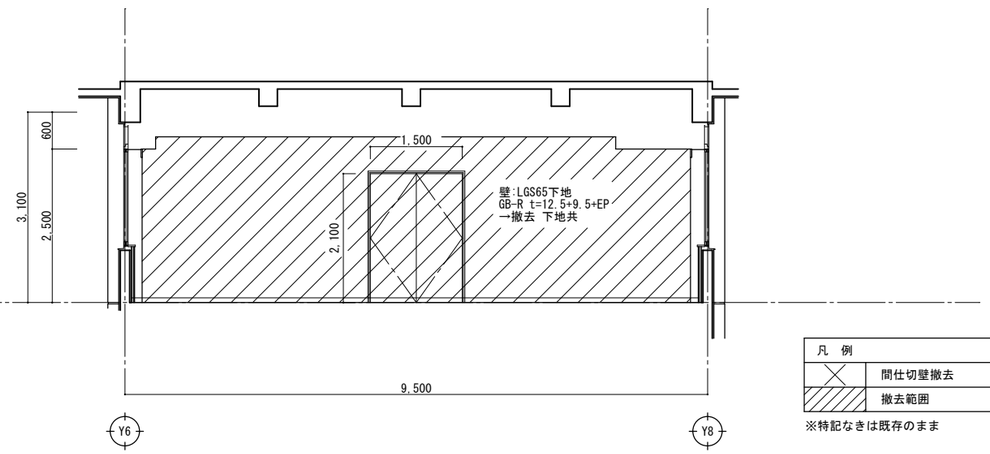
3階 音楽兼務多目的室,準備室 C面展開図(改修前) S=1/50



3階 音楽兼務多目的室 D面展開図(改修前) S=1/50



3階 準備室 B面展開図(改修前) S=1/50

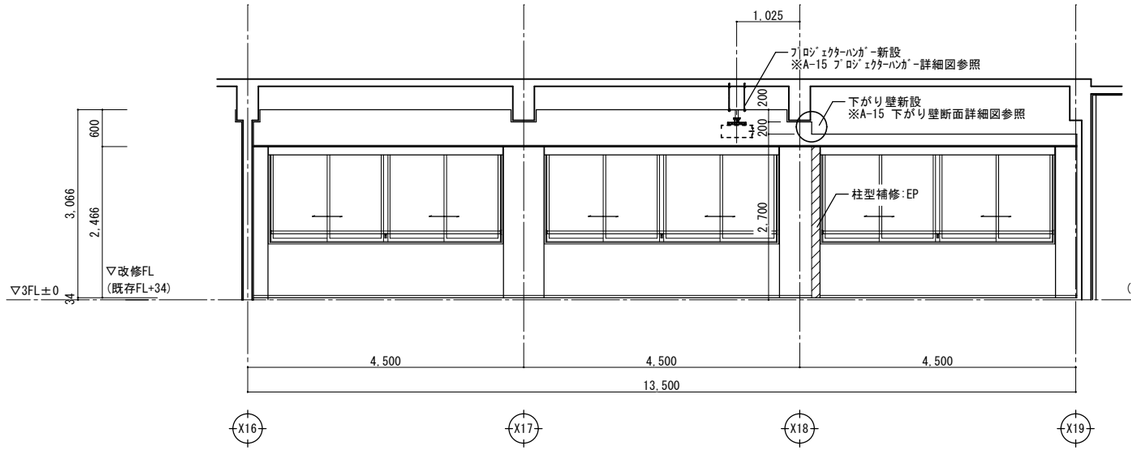


3階 準備室 D面展開図(改修前) S=1/50

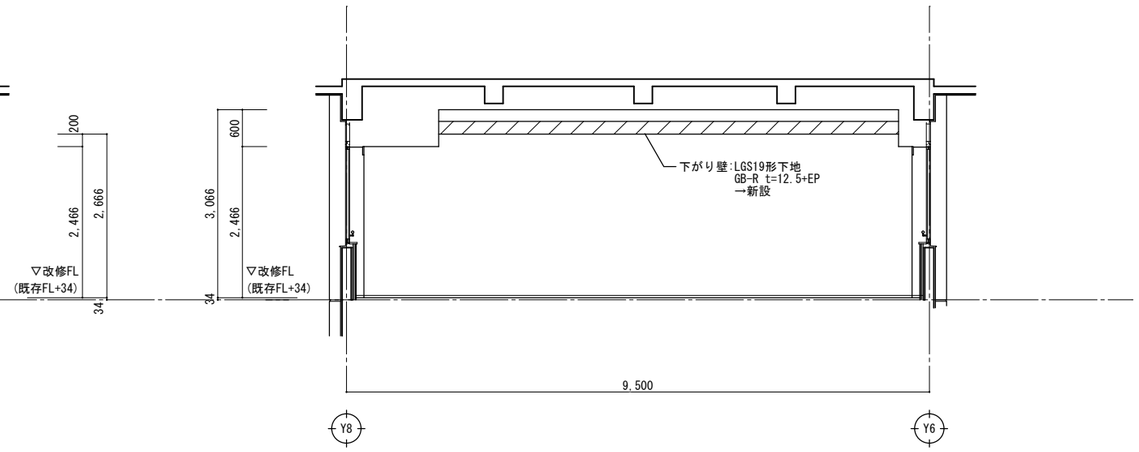
凡 例	
	間仕切壁撤去
	撤去範囲

※特記なきは既存のまま

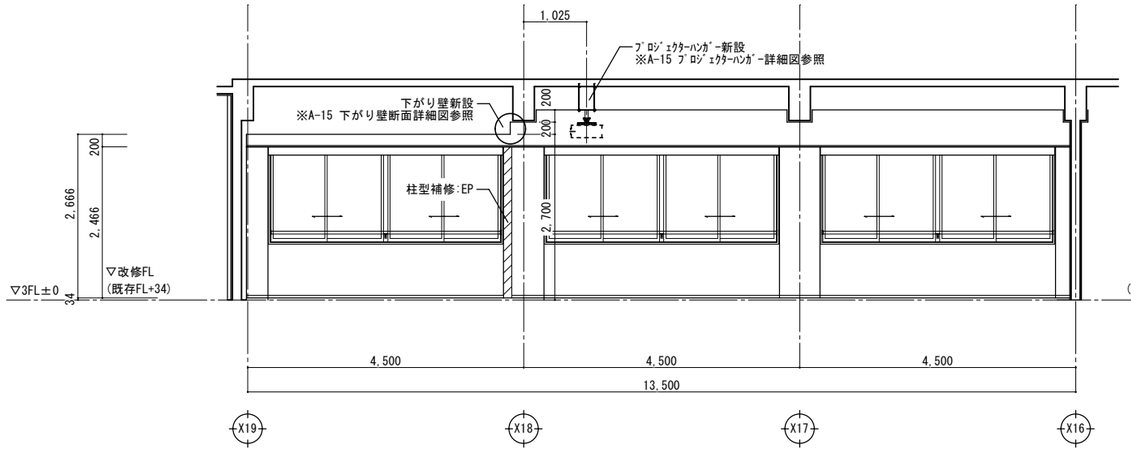
年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	3階展開図 No.3(改修前)(一般科目棟)	A1=1/50 A3=1/100	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第182598号 山口 英治						A-12



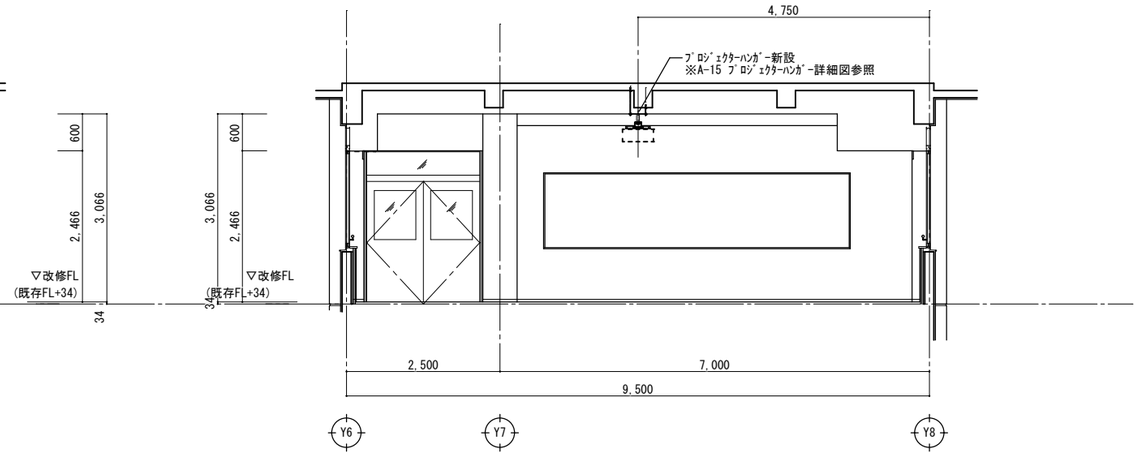
3階 2学科共用教室 A面展開図(改修後) S=1/50



3階 2学科共用教室 B面展開図(改修後) S=1/50



3階 2学科共用教室 C面展開図(改修後) S=1/50

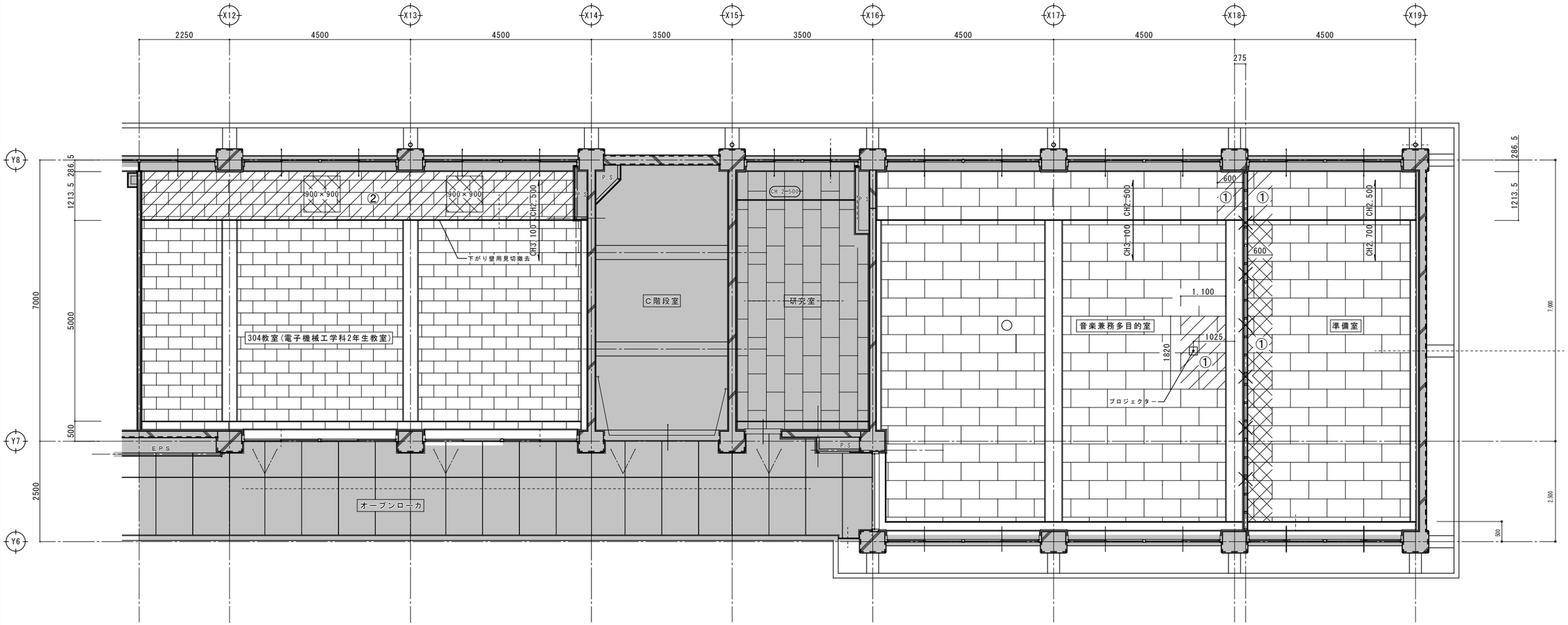


3階 2学科共用教室 D面展開図(改修後) S=1/50

凡 例	
	改修範囲

※特記なきは既存のまま

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	3階展開図 No.3(改修後) (一般科目棟)	A1=1/50 A3=1/100	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治						A-13



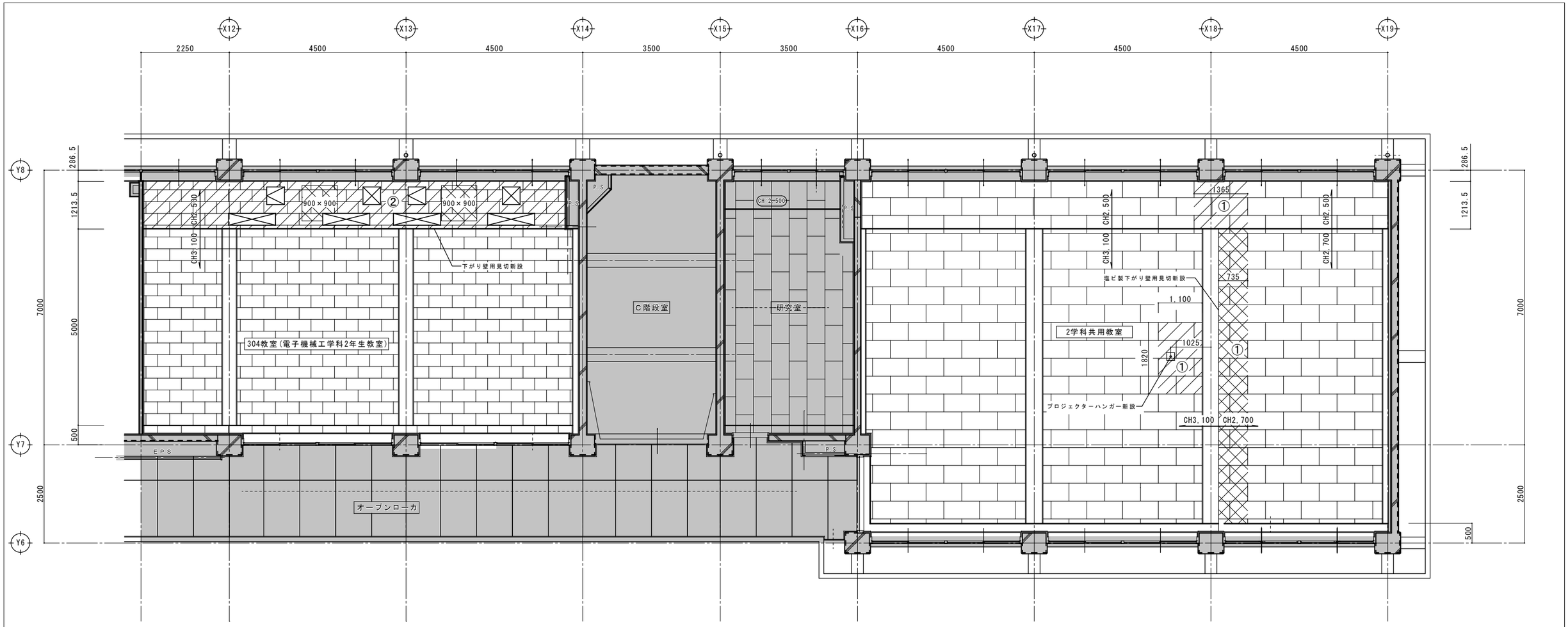
凡 例	
	天井撤去範囲
	LGS19型下地撤去範囲
	間仕切壁撤去範囲
	改修範囲外

仕 上 表	
①	LGS19型下地 GB-D(T) t=9.5
②	LGS19型下地 GB-R t=9.5+DR t=9.0

3階 304教室,音楽兼務多目的教室,準備室　天井伏図　S=1/50

※303教室は304教室と同じ改修内容とする。

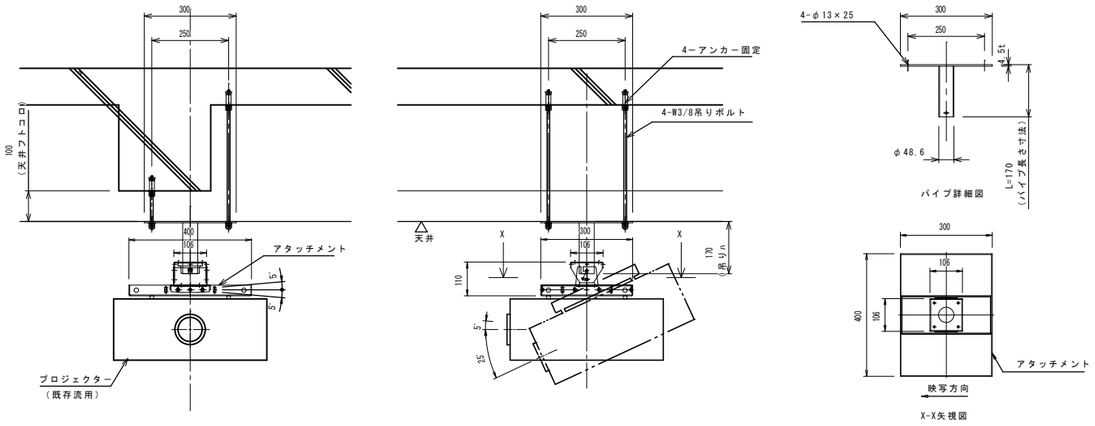
年　度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮　尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓 削 商 船 高 等 専 門 学 校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係　長	担　当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等 内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等 内部改修工事(機能強化支援第2期)	3階天井伏図(改修前) (一般科目棟)	A1=1/50 A3=1/100	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治						A-14



3階天井伏図(改修後)　S=1/50

※303教室は304教室と同じ改修内容とする。

プロジェクターハンガー詳細図　1/10



正　面　図　S=1/10

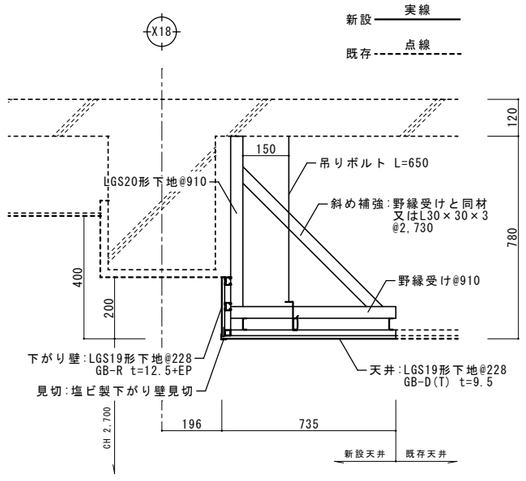
側　面　図　S=1/10

吊金具詳細図　S=1/10

プロジェクターハンガー
型式：JCPJ-LW(ジツタ中国製全等品以上)

主要材料	SPCC
仕　上	焼付塗装仕上 塗装色：アイボリー　(5Y9/1.5マンセル近似値)
質　量	本体：4.7Kg
付属品	別注吊りパイプ
許容積載荷重	25kg

下がり壁断面詳細図　1/10



凡　例	
	天井仕上げ新設範囲
	LGS19形下地新設範囲
	天井点検口 □-450
	開口補強 □-450
	開口補強 1,200×220
	改修範囲外

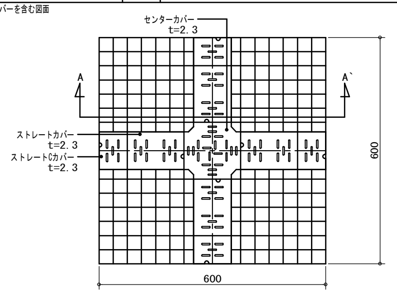
仕 上 表	
①	LGS19型下地 GB-D(T) t=9.5
②	LGS19型下地 GB-R t=9.5+DR t=9.0

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係　長	担　当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	3階天井伏図(改修後) (一般科目棟)	A1=1/50,A3=1/100 A1=1/10,A3=1/20	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治						A-15

フリーアクセスフロア詳細図（参考）

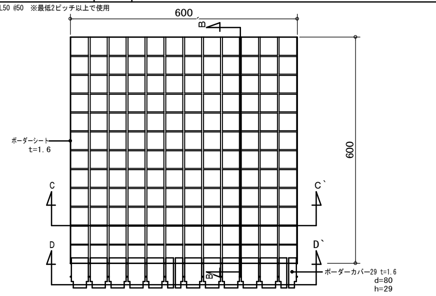
ベースマット29α 見下図 | 1/10 | 主要構成マット，ナイフで切断可能，配線路の増設やコンセントを収納

※配線路カバーを含む図面



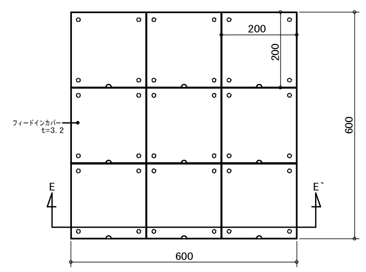
ボーダーマット29 見下図 | 1/10 | 壁際部の主要構成マット，ナイフで切断可能，ボーダー処理部分に施工

カット材寸法：W50×L50 @50 ※最低2ピッチ以上で使用
配線有効巾：15mm

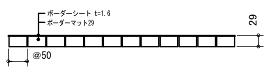


フィードインマット29 見下図 | 1/10 | 配線量の多い部分、もしくは幹線部（DS・PS前,分電盤前,）に使用，支持脚はナイフで切断可能

※フィードインカバーを含む図面

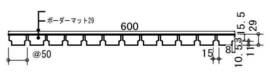


B-B' 断面図 | 1/10 | カット材寸法：W50×H29 @50 ※最低2ピッチ以上で使用



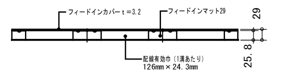
マット材質：超高強度軽量コンクリート+樹脂

C-C' 断面図 | 1/10 | 配線有効高：11mm，カット材寸法：W50×H29 @50 ※最低2ピッチ以上で使用



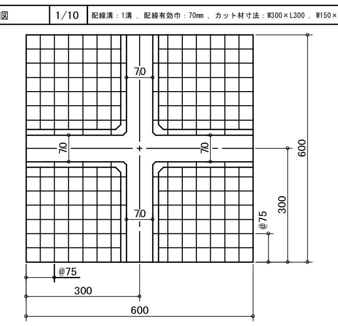
マット材質：超高強度軽量コンクリート+樹脂

E-E' 断面図 | 1/10 | 配線溝：3溝，配線有効高：25mm，カット材寸法：W200×H29，W400×H29

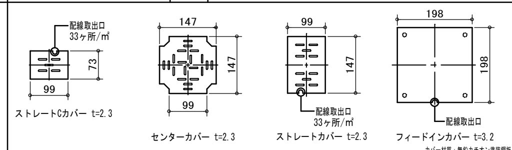


ベースマット29α 詳細図 | 1/10 | 配線溝：1溝，配線有効巾：70mm，カット材寸法：W300×L300，W150×L150

※配線路カバーを除いた図面



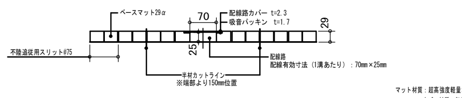
配線路カバー 詳細図 | 1/10 | 配線路上に使用するカバー，鋼板厚さt=2.3（フィードインカバーのみt=3.2）



カバー材質：無鉛カチオン塗装鋼板

A-A' 詳細図 | 1/10 | 配線溝：1溝，配線有効寸法（1溝あたり）70mm×25mm

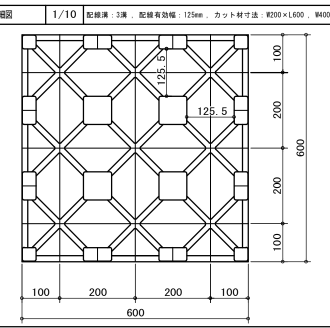
カット材寸法：W150×H29，W300×H29



マット材質：超高強度軽量コンクリート+樹脂
カバー材質：無鉛カチオン塗装鋼板

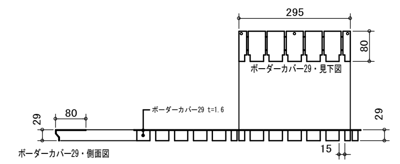
フィードインマット29 詳細図 | 1/10 | 配線溝：3溝，配線有効幅：125mm，カット材寸法：W200×L600，W400×L600

※フィードインカバーを除いた図面



D-D' 断面図 | 1/10 | 壁際のボーダー処理部分における調整用部材，調整範囲：15<65，配線有効寸法：W15×H27

※ボーダーカバー29の見下図・側面図を含む

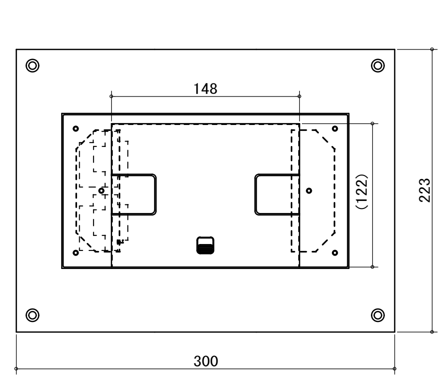


カバー材質：無鉛カチオン塗装鋼板

OAフロア：「ネットワークフロア29」製品仕様表

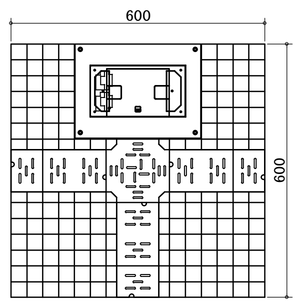
構法	置敷式溝構法（溝配線タイプ） ●床固定不要	
耐荷重性能	公共建築協会 5000N評価品（同3000N評価品）※1	
耐震性能	公共建築協会 1.0G評価品※1	
高さ	仕上り高さ:H＝29mm+床仕上材 配線有効寸法 70×25mm ※2	
主要材質	マット：超高強度軽量コンクリート製+樹脂，難燃樹脂（特殊ポリプロピレン）	
	配線路カバー：鋼板+無鉛カチオン塗装（エポキシ樹脂系塗料）	重量：26kg/㎡ ※3
公的評価	（一社）公共建築協会 品質性能評価品，JAFA認証品，エコマーク商品	
その他	・10年保証製品（メーカー保証書提出のこと） ・OAフロア用配線器具は、OAフロアメーカーの推奨のものとする ・タイルカーペットを床仕上材にて使用の際は裏ノリ付のものを推奨とする	

インフロアコンセント3型-29Lα 見下図 | 1/3 | 固定用M5ビス同梱

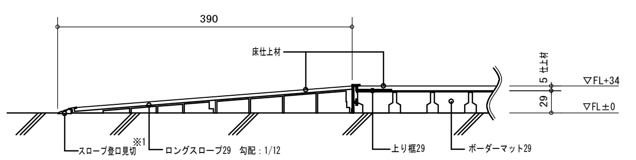


タイプ	仕様	品番	室名	数量
電力2口+取付枠2口	電力：2P E付15A 125V 送り機構付 取付枠：電力・情報・電話用	RL2434	多目的室兼美術室	40
			教室404	40
			教室403	40

インフロアコンセント3型 取付図 | 1/10 | ベースマットをカッターで切断して設置

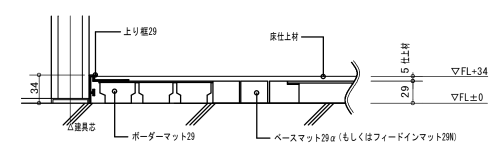


a-a' 断面図（ロングスロープ29 標準取合図） | 1/5 | 「ネットワークフロア29」専用スロープ（ロング），バリアフリー法適合



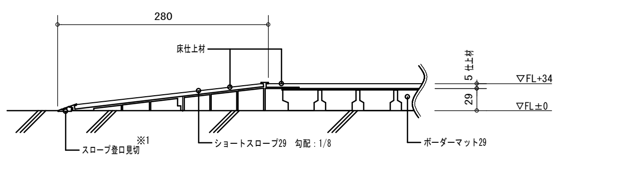
○スロープ 固定方法→該当箇所：ビス固定

c-c' 断面図（上り框29 標準取合図） | 1/5 | 「ネットワークフロア29」専用上り框（アルミ製）



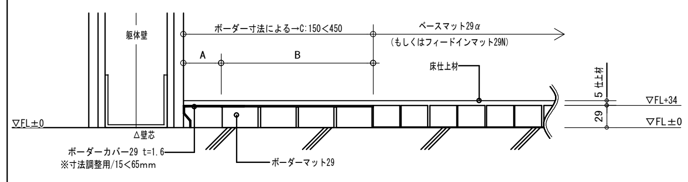
○上り框 固定方法→該当箇所：ビス固定

b-b' 断面図（ショートスロープ29 標準取合図） | 1/5 | 「ネットワークフロア29」専用スロープ（ショート）

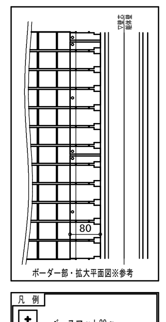


○スロープ 固定方法→該当箇所：ビス固定

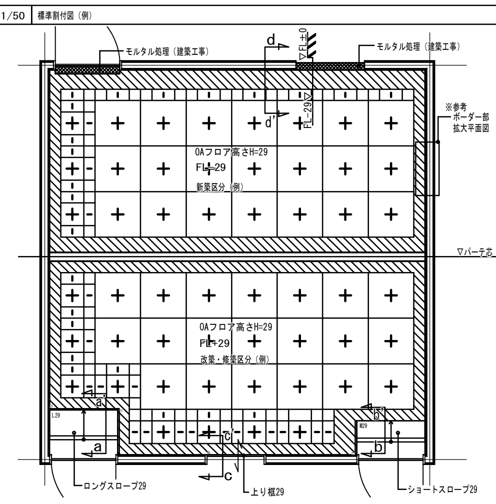
d-d' 断面図（新築区分：壁際取合図） | 1/5 | ○壁際のボーダー処理について（寸法 A，B，C は下部に記載の「各寸法の根拠」を参照）



KeyPlan（OAフロア割付図：例） | 1/50 | 標準割付図（例）



凡例
- ベースマット29α
- ベースマット29α（カットマット1/9）
- ボーダー処理部分 ボーダーマット29+ボーダーカバー
- ショートスロープ29
- ロングスロープ29
- 上り框29



各寸法の根拠	
	A＝ボーダーカバー29 15mm以上～65mm未満
	B＝ボーダーマット29 100mm以上400mm以下（@50mm）
	C＝ボーダー寸法 原則として躯体壁・仕上げ面より150mm以上～450mm未満

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校	図面番号
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事（機能強化支援第2期）	フリーアクセスフロア詳細図（参考）（一般科目棟）	A1=1/10, A3=1/20 A1=1/5, A3=1/10 A1=1/3, A3=1/6	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治	事務部長 / 総務課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当	A-16

弓削商船高等専門学校　一般科目棟3階創造工学科2年教室等　内部改修工事（機能強化支援第2期）

Ⅰ 工事概要

1.工事場所　愛媛県越智郡上島町弓削下弓削１０００番地（下弓削団地構内）
2.完成期限　令和　9 年　2 月 26 日（ 金 曜日）
3.指定部分　○無　　○有　対象部分（　　）
　　指定部分工期　　年　月　日
4.概成工期　○無　　○有　令和　年　月　日（　曜日）
（第1編1．1．2）、[第1編1．1．2]
5.建物概要

建物名称		一般科目棟			
工種		模様替			
構造		ＲＣ造			
階数		４Ｆ			
建築基準法による	建築面積(㎡)	(1,485.32)㎡			
	延べ面積(㎡)	(3,920.03)㎡			
消防法施行令別表第一の区分		(7)項			
改修面積（㎡）		288.48			
備考					

6.工事種目（●印の付いたものが対象工事種目）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別			
	一般科目棟			
●電灯設備	一式			
●動力設備	一式			
○電気自動車用充電設備				
○電熱設備				
○雷保護設備				
○受変電設備				
○電力貯蔵設備				
○発電設備				
○構内情報通信網設備				
○構内交換設備				
○情報表示設備				
●映像・音響設備	一式			
○拡声設備				
○誘導支援設備				
○テレビ共同受信設備				
○監視カメラ設備				
○駐車場管制設備				
○防犯・入退室管理設備				
○火災報知設備				
○中央監視制御設備				
○構内配電線路				
○構内通信線路				
●発生材処理	一式			

Ⅱ 工事仕様

1．共通仕様
（１）独立行政法人国立高等専門学校機構が定める工事請負契約基準、現場説明書、図面 11 枚及び本特記仕様書 2 枚によるほか、●印の付いたものを適用する。
●公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。)
●公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
●公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和7年版)(以下「標準図」という。)
●工事写真撮影要領(令和5年9月)

（２）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。
なお、機械設備工事の特記仕様書は（　　）図、建築工事の特記仕様書は（　　）図による。

2．特記仕様
（１）本特記仕様書の表記
１）項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。
２）項目に記載の（第　編　．　．　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
３）項目に記載の［第　編　．　．　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

項目	特記事項

●適用区分
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
● 風圧力
風速（Vo=　34　m/s）
地表面粗度区分（ ○ Ⅰ　○ Ⅱ　● Ⅲ　○ Ⅳ）
● 積雪荷重
建設省告示第1455号における区域　別表（　35　）

●電気保安技術者
（第1編1.3.2）
[第1編1.3.2]
この工事現場に下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。

項目名	電気保安技術者
1.第３種電気主任技術者以上の資格を有する者	●
2.１級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●
3.第１種電気工事士の資格を有する者	●
4.高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第７条第１項各号の科目を修めて卒業した者	●
5.旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	●
6.公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	●
7.２級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●
8.第２種電気工事士の資格を有する者	●
9.短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	○

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

●施工条件
（第1編1.3.3）
[第1編1.3.3]
・原則として作業時間は平日の08：30～17：00とし、それ以外の時間帯の作業については事前に監督職員と協議の上施工すること。
・騒音、振動等授業や教育研究活動に影響を及ぼす恐れのある作業は、事前に監督職員と協議の上実施する事。
・通行止め、停電、断水を伴う作業は、事前に作業計画書を提出し、監督職員の承諾を得た上で実施すること。なお、停電を伴う作業は原則休日(土･日・祝日)とし、日程は監督職員と協議により決定する。
・ 前述以外の施工条件は建築主体工事（特記仕様書）による。

●電源周波数
○　５０Ｈｚ　　●　６０Ｈｚ

●発生材の処理等
（第1編1.3.9）
[第1編1.9.1]
発生材の処理は、下記による。
(1)引渡しを要するもの
1）品　名
2）引渡し先　建築主体工事による
3）集積場所　建築主体工事による
4）集積方法　建築主体工事による
(2)特別管理産業廃棄物
1）品　名　無し
2）処理方法
(3)現場において再利用するもの
1）品　名　無し
2）使用場所
(4)再生資源化するもの
1）品　名　ケーブル　電線類
(5)その他の発生材
1）品　名　開閉器　配線器具類
2）処理方法　廃プラスチック（マテリアルリサイクル及びケミカルリサイクル）

●環境への配慮
（第1編1.4.1）
[第1編1.4.1]
（１）本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和7年1月開議決定）」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

（２）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

●機材の品質等
（第1編1.4.2）
[第1編1.4.2]
（１）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
（２）下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し、監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。
① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③ 安定的な供給が可能であること。
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

機材名
ＬＥＤ照明器具（一般屋内用に限る）
照明制御装置
可変速運転用インバーター装置
分電盤
制御盤
キュービクル式配電盤
高圧スイッチギヤ（ＣＷ）＊
高圧スイッチギヤ（ＰＷ）＊
高圧交流遮断器
高圧進相コンデンサ
高圧源流ヒューズ
高圧負荷開閉器
高圧変圧器（特定機器）
交流無停電電源装置（常時インバータ給電方式（簡易形）を除く。）
太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）
監視カメラ装置
中央監視制御（監視制御装置）

注＊ JIS C 62771-200による高圧スイッチギヤ（図●～●）を含む。
JIS C 62771-200による高圧スイッチギヤの製造業者等は、上記（２）①～⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。
ただし、JEM1425による高圧スイッチギヤ（ＣＷ）/（ＰＷ）【*を付した機材名を記載】について上記（２）①～⑥すべての事項を評価されたことを示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は、「①品質及び性能に関する試験データを整備していること。」を除き、証明となる資料等の提出を省略することができる。

●機材の検査等
機材の検査に伴う試験
（第1編1.4.4～5）
[第1編1.4.5～6]
監督職員の行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。

機材名	検査	試験	摘要
照明器具	●		搬入時外観検査
分電盤	●		搬入時外観検査
キュービクル	●		搬入時外観検査

●施工調査
[第1編1.5.1～3]
○ 事前調査
調査項目　（○既存資料調査　○石綿事前調査（貸与資料　○有　○無　）
調査範囲　（○図示　○　）
調査方法　（○図示　○目視による　）

●既存躯体への穿孔
[第1編2.12.3]
はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、下記による。
○ 走査式埋設物調査　○ 放射線透過検査

● 施工の検査等
施工の検査に伴う試験施工の立会い等
（第1編1.5.3～5）
[第1編1.6.4～6]
下記の施工部分は監督職員の施工の検査、施工の立会及び施工検査に伴う試験を受けるものとする。

施工部分	検査	立会	試験	摘要
受変電設備改修	●	●	●	

● 完成時の提出図書
（第1編1.7.1～3）
[第1編1.11.1～3]

名称	体裁等
● 完成図	CADデータ（電子納品）及び電子データ
○ 〃	原図　○A1版（___部）　○A3版（___部）
○ 〃	複写図 製本（A4版黒厚紙表紙金文字入り）（___部）
● 〃	複写図 仮製本　○A1版（___部）　●A3版（___部）
● 保全に関する資料	○紙媒体（___部）　○電子データ
● 工事写真	○紙媒体（___部）　○電子データ
○ 負荷設備台帳	○紙媒体（___部）　○電子データ
○ 官公署等届出書類(写)	○紙媒体（___部）　○電子データ

※紙媒体はA4版ファイル綴じ、電子データはPDF形式とする。
電子納品は次による。
（１）貸与する設計図CADデータの著作者名：○○高専　　ファイル形式：JWW
貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図作成のため以外に使用しないこと。
（２）電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。
（３）電子成果品は、提出前にウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。
（４）提出方法及びファイル形式は以下による。
CADデータ：JWW、DXF及びPDF　提出方法：CD又はDVDに保存し、１部提出する。

●石綿含有材料の事前調査
[第1編1.8.2～3]
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有材料の事前調査を行う。

● 足場その他
[第1編2.2.2]
●別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。
○本工事で設置する。　（　図参照　）
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。

○発生残土の処理
（第1編2.2.1）
[第1編2.3.1]
○ 埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷均しとする。
○

●耐震施工
（第2編2.1.13）
[第2編2.1.14]
設備機器の固定は、施設の分類並びに機器の種別、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないようにする。
①設計用水平地震力
機器の重量［ｋＮ］に、地域係数(1.0)及び設計用水平震度を乗じたものとする。
特記なき場合は、設計用標準水平震度は、次による。
なお、免振構造等により建築物の時刻応答解析が行われる場合は別に定めるものを使用すること。
設計用標準水平震度

機器種別		○ 特定の施設 重要機器	○ 特定の施設 一般機器	● 一般の施設 重要機器	● 一般の施設 一般機器
上層階屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・１階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの
・水槽類には燃料小出タンクを含む。
・重要機器は次のものを示す。
○配電盤　○発電装置（防災用）　○直流電源装置
○交流無停電電源装置　○交換装置　○ 自動火災報知受信機
○中央監視制御装置　○　　○
②設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

○天井仕上区分
（　）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。

●電気工事士
最大電力５００〔ｋＷ〕以上の場合においても、電気工事士法（昭和35年法律第139号）に基づく有資格者により施工を行う。

○金属管の塗装及び仕上げ
（第1編2.7.1）
[第1編2.8.1]
露出配管の仕上げは次による。
屋外 ○厚鋼電線管は、溶融亜鉛めっき仕上げ付着量300g/㎡以上のものとする。
○塗装あり（場所：　　）
屋内 ○塗装なし
○塗装あり（場所：　　）

●フラッシュプレート
フラッシュプレートは、図面に特記なき場合、
（　●金属製（ステンレス、新金属を含む）　○樹脂製　）とする。

○ｹｰﾌﾞﾙの接続
（第2編2.10.4.2）
[第2編2.11.4.2]
EM-高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル(3層押 出型)」によるものとする。

●電線の色別
（第2編2.1.3）
[第2編2.1.4]
導電部
（第3編1.1.4）
[第3編1.2.2]
配線及び主回路の導体の色別は、次による。
○ 標準仕様書による。
● 既存合わせによる。
○ 配線及び主回路の導体の色別は、下記による。

電気方式		第１相	第２相	第３相	中性相
高圧	三相３線式	赤	白	青	
低圧	三相３線式	赤	接地側　白	黒	
	三相４線式	赤	青	黒	白
	単相２線式	赤（青）	接地側　白		
	単相３線式	赤	青		白
	直流２線式	青	白		
配線	（１）分岐回路の色別	分岐前の色別による。（無停電回路含）			
	（２）発電回路の第２相	接地側の電線の色は黄色とする			
	（３）切替回路の２次側	規定しない。			
	（４）漏電遮断器回路の接地	専用接地極とした時の接地線は、監督職員と協議し、一般接地線と色別を区別する。			
分電盤類	共通事項	配線（１）～（４）による。			
	左右・上下及び遠近の別は、正面から見た状態	ア）左右の別は、左からとする。 イ）上下の別は、上からとし、直流２線式は、下からとする。 ウ）遠近の別は、近いほうからとし、直流２線式は、遠いほうからとする。			

備考
（ａ）配電盤類については、次による。
（１）左右、遠近の別は、各回路部分における主となる開閉器の操作側又はこれに準ずる側から見た状態とし、分電盤類による。
（２）三相回路又は単相３線式回路より分岐する回路は、分岐前の色別による。
（３）三相交流の相は、第１相、第２相、第３相の順に相回転するものとする。
（ｂ）屋外架空配線の色別は、本表によらなくてよい。
（ｃ）接地線の色別は、監督職員の承諾を受けること。

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校	図面番号
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等内部改修設計業務(機能強化支援第２期)	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等内部改修工事（機能強化支援第２期）	電気設備特記仕様書（１）	A1=non A3=non	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治	事務部長 / 総務課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当	特E-01

項目	特記事項

○監視・制御システムのｻｲﾊﾞｰｾｷｭﾘﾃｨ

外部ネットワークと接続する制御システム
○あり（対象設備　　　　　　）　　○なし
外部ネットワークと接続する箇所の不正アクセス防止対策
○ファイアウォール　　　　　　○統合脅威管理（UTM）
盤・キャビネットの錠の鍵
○製造者の標準鍵
○鍵の指定あり
　対策機器（○分電盤　○制御盤　○ｷｭｰﾋﾞｸﾙ　○端子盤　○通信ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ　○　　　）

●機器取付高さ

図面に特記なき場合は、次による。

	名称	測点	取付高〔mm〕
電力共通	積算計器	地上～窓中心	1,800～2,000
	引込開閉器	地上～中心	1,800～2,200
	分電盤	床上～中心	1,500 （上限1,900以下）
電灯	スイッチ	床上～中心	1,300
	スイッチ（バリアフリートイレ）	床上～中心	1,100
	コンセント（一般）	床上～中心	300
	コンセント（和室）	床上～中心	150
	コンセント（台上）	台上～中心	150～200
	コンセント（車椅子用）	床上～中心	900
	ブラケット（一般）	床上～中心	2,100～2,300
	ブラケット（踊場）	床上～中心	2,000～2,500
	ブラケット（鏡上）	鏡上端～中心	150
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500 （上限1,900以下）
	開閉器箱	床上～中心	1,500
	制御用スイッチ	床上～中心	1,300
雷保護	試験用接続端子箱	床上～下端	800
受変電	接地端子箱	地上、床上～中心	500
発電	給油ボックス(壁掛形)	地上～注油口	1,000
構内交換	端子盤	床上～中心	1,500 （上限1,900以下）
	集合保安器箱	天井下～上端	200
	壁付電話機（一般）	床上～中心	1,300
時計	壁掛形親時計	床上～中心	1,500 （上限1,900以下）
	子時計	床上～中心	天井高×0.9
拡声	壁掛形スピーカ	床上～中心	天井高×0.9
	壁付アッテネータ	床上～中心	1,300
マルチサイン 出退	情報・出退表示盤	床上～中心	天井高×0.9
	壁付発信機	床上～中心	1,300
	ベル・ブザー・チャイム	床上～中心	2,300
	壁付押しボタン（一般）	床上～中心	1,300
誘導支援	外部受付用インターホン（子機）	標準図による	
	壁付インターホン（上記以外）	床上～中心	1,300
	壁付呼出ボタン（バリアフリー トイレ）	床上～中心	900、(400)
テレビ共同受信	機器収容箱（EPS）	床上～中心	1,500 （上限1,900以下）
	テレビ端子（一般）	床上～中心	300
	テレビ端子（和室）	床上～中心	150
自動火災報知	受信機・副受信機・連動制御器	床上～操作部	800～1,500
	機器収容箱	床上～操作部	800～1,500
	発信機	床上～中心	800～1,500
	警報ベル	床上～中心	2,300
	表示灯	床上～中心	2,100
	ガス検知器（都市ガス用）	天井面～中心	天井面－300 （壁付けの場合）
	ガス検知器（液化石油ガス）	床上～上端	300
屋外	接地極埋設標	地上～中心	600

備考
天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。
壁付呼出押ボタン（バリアフリートイレ）の取付高さは(400)は床に転倒した時を考慮した高さを示す。

○接地極

図面に特記なき場合は、次による。

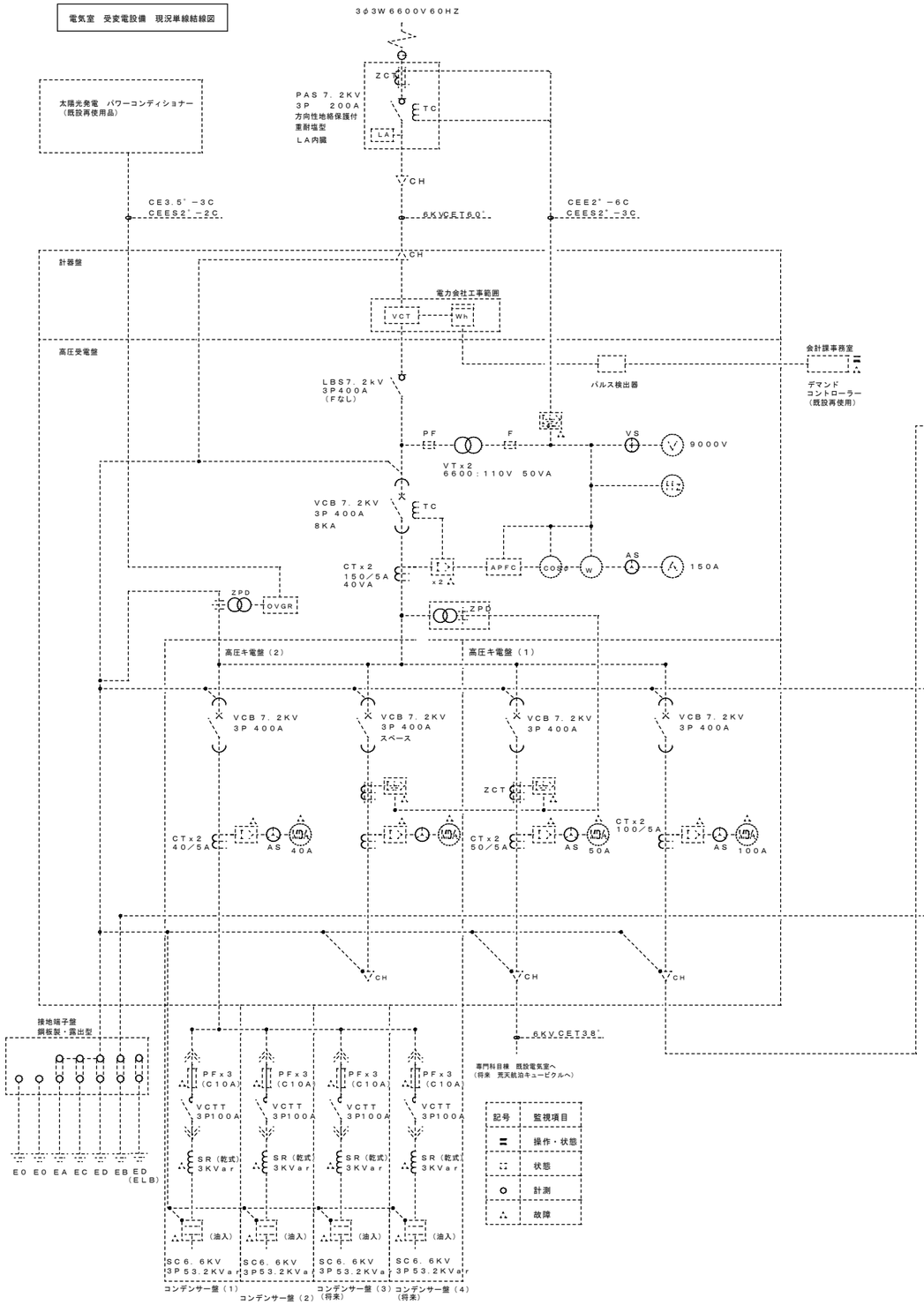
接地の種類	記号	接地抵抗	接地極の規格・数量
○ 共同接地	$E_{A\cdot D}$	10 Ω以下	ＥＢ (D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200) ×３連ー　組
○ 共同接地	$E_{A\cdot C\cdot D}$	10 Ω以下	ＥＢ (D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200) ×３連ー　組
○ A種	E_A	10 Ω以下	ＥＢ (D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200) ×３連ー　組
○ B種	E_B	Ω以下	ＥＢ (D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200) ×３連ー　組
○ C種	E_C	10 Ω以下	ＥＢ (D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200) ×３連ー　組
○ D種	E_D	100 Ω以下	ＥＢ (D=10, L=1,000又はW=30, L=900) ×１
○ 漏電遮断器回路用	$E_{D(ELB)}$	100 Ω以下	ＥＢ (D=10, L=1,000又はW=30, L=900) ×１
○ 高圧避雷器用	E_{LA}	10 Ω以下	ＥＢ (D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200) ×３連ー　組
○ 交換装置用	E_t	10 Ω以下	ＥＢ (D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200) ×３連ー　組
○ 通信用（10Ω）	E_{At}	10 Ω以下	ＥＢ (D=14, L=1,500又はW=40, L=1,200) ×３連ー　組
○ 通信用（100Ω）	E_{Dt}	100 Ω以下	ＥＢ (D=10, L=1,000又はW=30, L=900) ×１
○ 電話引込口の保安器	ＥＬｔ	100 Ω以下	ＥＢ (D=10, L=1,000又はW=30, L=900) ×１
○ 測定用	E0		ＥＢ (D=10, L=1,000又はW=30, L=900) ×１

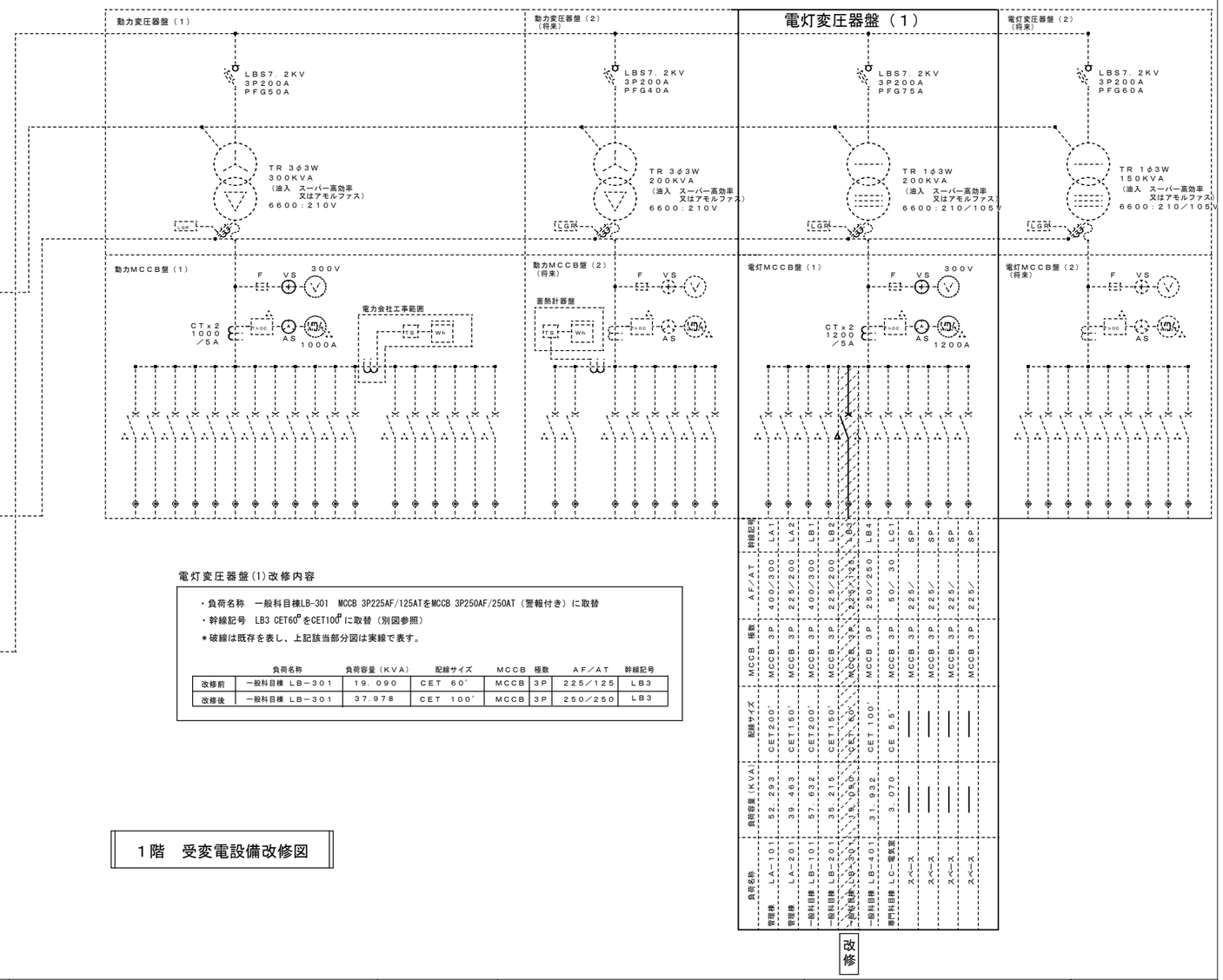
○他工事又は他工種との取り合い

図面に特記なき場合は、工事区分表による。

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校	図面番号
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等内部改修設計業務(機能強化支援第２期)	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等内部改修工事（機能強化支援第２期）	電気設備特記仕様書（２）	A1=non A3=non	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治	事務部長 / 総務課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当	特E-02

電気室　受変電設備　現況単線結線図





電灯変圧器盤(1)改修内容

・負荷名称　一般科目棟LB-301　MCCB 3P225AF/125ATをMCCB 3P250AF/250AT（警報付き）に取替
・幹線記号　LB3 CET60°をCET100°に取替（別図参照）
＊破線は既存を表し、上記該当部分図は実線で表す。

	負荷名称	負荷容量（KVA）	配線サイズ	MCCB	極数	AF／AT	幹線記号
改修前	一般科目棟 LB−301	19.090	CET 60°	MCCB	3P	225／125	LB3
改修後	一般科目棟 LB−301	37.978	CET 100°	MCCB	3P	250／250	LB3

負荷名称	負荷容量（KVA）	配線サイズ	MCCB 極数	AF／AT	幹線記号
LA−101 管理棟	52.293	CET200°	MCCB 3P	400／300	LA1
LA−201 管理棟	39.463	CET150°	MCCB 3P	225／200	LA2
LB−101 一般科目棟	57.632	CET200°	MCCB 3P	400／300	LB1
LB−201 一般科目棟	35.215	CET150°	MCCB 3P	225／200	LB2
LB−301 一般科目棟	19.090	CET60°	MCCB 3P	225／125	LB3
LB−401 一般科目棟	31.932	CET100°	MCCB 3P	250／250	LB4
LC−電気室 専門科目棟	3.070	CE5.5°	MCCB 3P	50／30	LC1
スペース	—	—	MCCB 3P	225／	SP
スペース	—	—	MCCB 3P	225／	SP
スペース	—	—	MCCB 3P	225／	SP
スペース	—	—	MCCB 3P	225／	SP

1階　受変電設備改修図

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係　長	担　当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等内部改修設計業務(機能強化支援第２期)	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等内部改修工事（機能強化支援第２期）	1階　受変電設備改修図（商船学科棟電気室）	A1=non A3=non	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治						E−01

改修前

LB-301

設置場所 盤名	一次側接続状態 (電気方式)	回路番号	電気方式	分岐遮断器 MCCB	分岐遮断器 ELCB	分岐遮断器 P	分岐遮断器 AF	分岐遮断器 AT	負荷 名称	負荷 容量（VA）	備考
LB−301 埋込型	一般科目棟　3階　オープン廊下										
	1φ3W 200V／100V										
	取替 MCCB3P 225AF 125AT										
取替 CET60°	LB3	Ⓐ	○		2	50	20		照明	2600	
		Ⓑ	○		2	50	20		照明	1700	
		Ⓒ	○		2	50	20		照明	1300	
		Ⓓ	○		2	50	20		照明	2800	
		Ⓔ	○		2	50	20		空調室内機	1200	
		Ⓕ	○		2	50	20		予備	1200	
		①	○		2	50	20		照明	548	
		②		○	2	50	20		照明	450	
		③	○		2	50	20		照度センサー	110	
		④	○		2	50	20		全熱交換機	1470	
		⑤	○		2	50	20		全熱交換機	980	
									予備スペース		
		①	○		2	50	20		コンセント	450	
		②	○		2	50	20		コンセント	450	
		③	○		2	50	20		コンセント	450	
		④	○		2	50	20		コンセント	450	
		⑤	○		2	50	20		コンセント	750	
		⑥	○		2	50	20		コンセント　PC・PR	1500	
		⑦	○		2	50	20		コンセント　PC	1000	
		⑧		○	2	50	20		冷蔵庫・電気ポット	1010	
		⑨		○	2	50	20		コンセント	600	
		⑩		○	2	50	20		暖房便座・自動水栓	400	
		⑪		○	2	50	20		暖房便座・自動水栓	400	
		⑫	○		2	50	20		HUB	200	
		⑬	○		2	50	20		テレビブースター	60	
		⑭	○		2	50	20		予備	600	
					2	50			予備スペース		
					2	50			予備スペース		
					2	50			予備スペース		
					2	50			予備スペース		
					2	50			予備スペース		
					2	50			予備スペース		
										(22，678)	
			○		3	50	30		L−研究	3，760	
			○		3	100			予備スペース		
	セパレーター										
	3φ3W 200V										
	PB6		○		3	100			予備スペース		
			○		3	100			予備スペース		
			○		3	100			予備スペース		
			○		3	100			予備スペース		
	ED										
	ED（ELCB）										

---------破線は既存を表し工事対象外

改修後

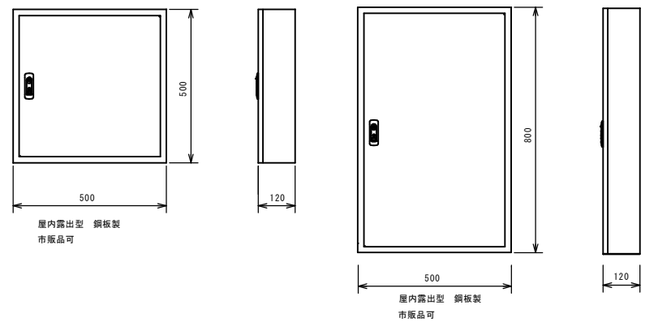
LB-301

設置場所 盤名	一次側接続状態 (電気方式)	回路番号	電気方式	分岐遮断器 MCCB	分岐遮断器 ELCB	分岐遮断器 P	分岐遮断器 AF	分岐遮断器 AT	負荷 名称	負荷 容量（VA）	備考
LB−301 埋込型	一般科目棟　3階　オープン廊下										
	1φ3W 200V／100V										
	MCCB3P 250AF 250AT										
CET100°	LB3	Ⓐ	○		2	50	20		照明	2600	
		Ⓑ	○		2	50	20		照明	1700	
		Ⓒ	○		2	50	20		照明	1300	
		Ⓓ	○		2	50	20		照明	2800	
		Ⓔ	○		2	50	20		空調室内機	1200	
		Ⓕ	○		2	50	20		予備	1200	
		①	○		2	50	20		照明	548	
		②		○	2	50	20		照明	450	
		③	○		2	50	20		照度センサー	110	
		④	○		2	50	20		全熱交換機	1470	
		⑤	○		2	50	20		全熱交換機	980	
									予備スペース		
		①	○		2	50	20		コンセント	450	
		②	○		2	50	20		コンセント	450	
		③	○		2	50	20		コンセント	450	
		④	○		2	50	20		コンセント	450	
		⑤	○		2	50	20		コンセント	750	
		⑥	○		2	50	20		コンセント　PC・PR	1500	
		⑦	○		2	50	20		コンセント　PC	1000	
		⑧		○	2	50	20		冷蔵庫・電気ポット	1010	
		⑨		○	2	50	20		コンセント	600	
		⑩		○	2	50	20		暖房便座・自動水栓	400	
		⑪		○	2	50	20		暖房便座・自動水栓	400	
		⑫	○		2	50	20		HUB	200	
		⑬	○		2	50	20		テレビブースター	60	
		⑭	○		2	50	20		予備	600	
					2	50			予備スペース		
					2	50			予備スペース		
					2	50			予備スペース		
					2	50			予備スペース		
					2	50			予備スペース		
					2	50			予備スペース		
										(22，678)	
		⑮	○		3	50	60		LB−301−1（303教室）	4，000	新設コンセント盤
		⑯	○		3	50	60		LB−301−2（304教室）	4，000	新設コンセント盤
		⑰	○		3	100	100		LB−301−3（2学科共用教室）	8，300	新設コンセント盤
									計	16，300	
									合計	38，978	
			○		3	50	30		L−研究		
			○		3	100			予備スペース		
	セパレーター										
	3φ3W 200V										
	PB6		○		3	100			予備スペース		
			○		3	100			予備スペース		
			○		3	100			予備スペース		
			○		3	100			予備スペース		
	ED										
	ED（ELCB）										

---------破線は既存を表し工事対象外

新設コンセント盤

設置場所 盤名	一次側接続状態 (電気方式)	回路番号	電気方式	分岐遮断器 MCCB	分岐遮断器 ELCB	分岐遮断器 P	分岐遮断器 AF	分岐遮断器 AT	負荷 名称	負荷 容量（KW）	備考
LB−301−1 301教室											
LB−301より CE14°−3C											
⑮	ELCB3P 50AF 50AT 中性線欠相保護付	①	○		2	50	20		コンセント　PC	1200	
		②	○		2	50	20		コンセント　PC	1200	
		③	○		2	50	20		コンセント　PC	1200	
		④	○		2	50	20		コンセント　PC	400	
		⑤	○		2	50	20		予備		
		⑥	○		2	50	20		予備		
		○									
	ED	○									
	ED（ELCB）								計	4，0000	
LB−301−2 304教室											
LB−301より CE14°−3C											
⑯	ELCB3P 50AF 50AT 中性線欠相保護付	①	○		2	50	20		コンセント　PC	1200	
		②	○		2	50	20		コンセント　PC	1200	
		③	○		2	50	20		コンセント　PC	1200	
		④	○		2	50	20		コンセント　PC	400	
		⑤	○		2	50	20		予備		
		⑥	○		2	50	20		予備		
		○									
	ED	○									
	ED（ELCB）								計	4，000	
LB−301−3 音楽教室											
LB−301より CE22°−3C											
⑰	ELCB3P 100AF 75AT 中性線欠相保護付	①	○		2	50	20		コンセント　PC	800	
		②	○		2	50	20		コンセント　PC	800	
		③	○		2	50	20		コンセント　PC	800	
		④	○		2	50	20		コンセント　PC	800	
		⑤	○		2	50	20		コンセント　PC	800	
		⑥	○		2	50	20		コンセント　PC	800	
		⑦	○		2	50	20		コンセント　PC	800	
		⑧	○		2	50	20		コンセント　PC	800	
		⑨	○		2	50	20		コンセント　PC	800	
		⑩	○		2	50	20		コンセント　PC	800	
		⑪	○		2	50	20		プロジェクター及びスクリーン	300	
		○	○		2	50	20		予備		
		○	○		2	50	20		予備		
		○									
	ED										
	ED（ELCB）								計	8，300	

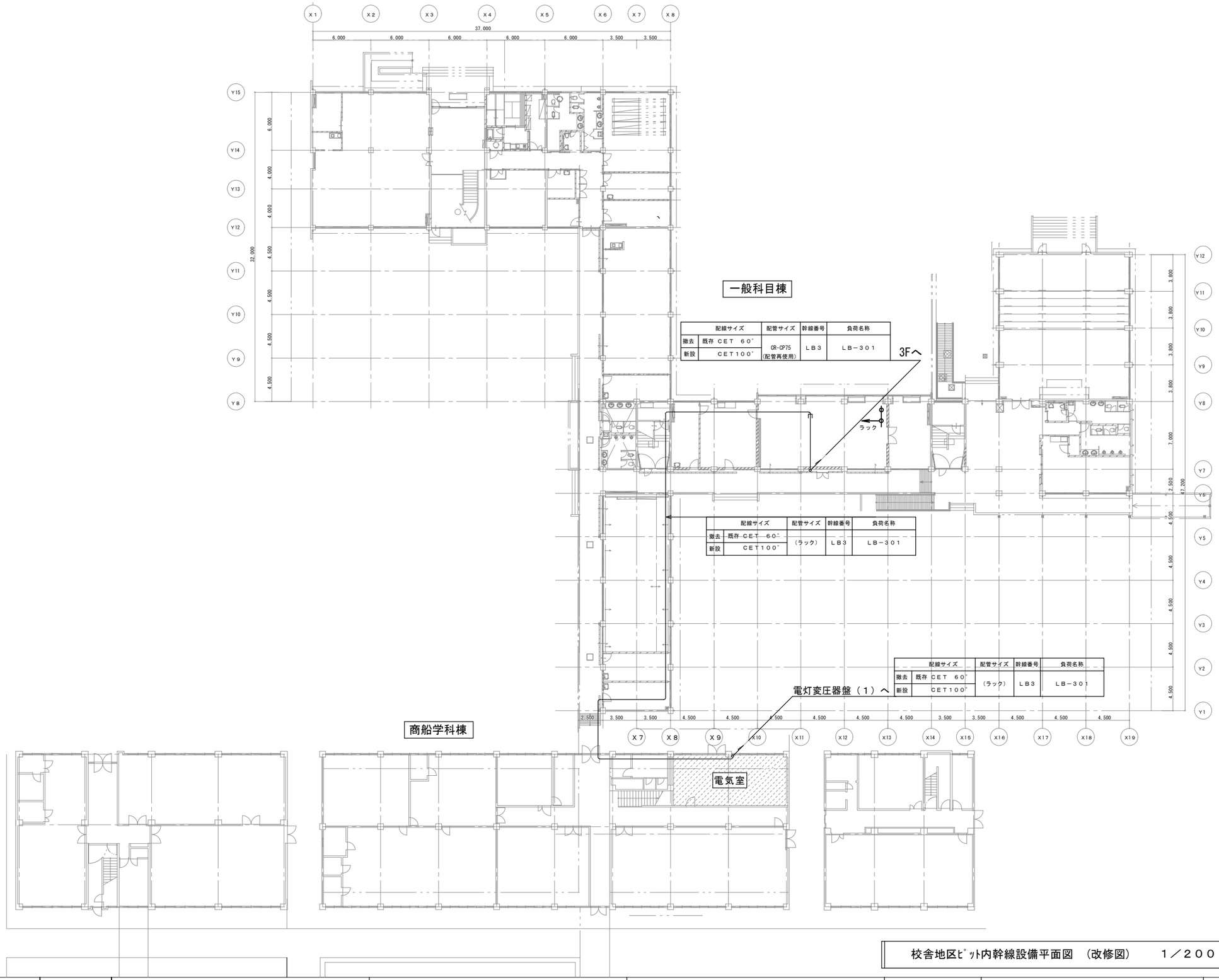


LB−301−1　参考姿図
LB−301−2　参考姿図

LB−301−3　参考姿図

3階　分電盤・分電盤改修図

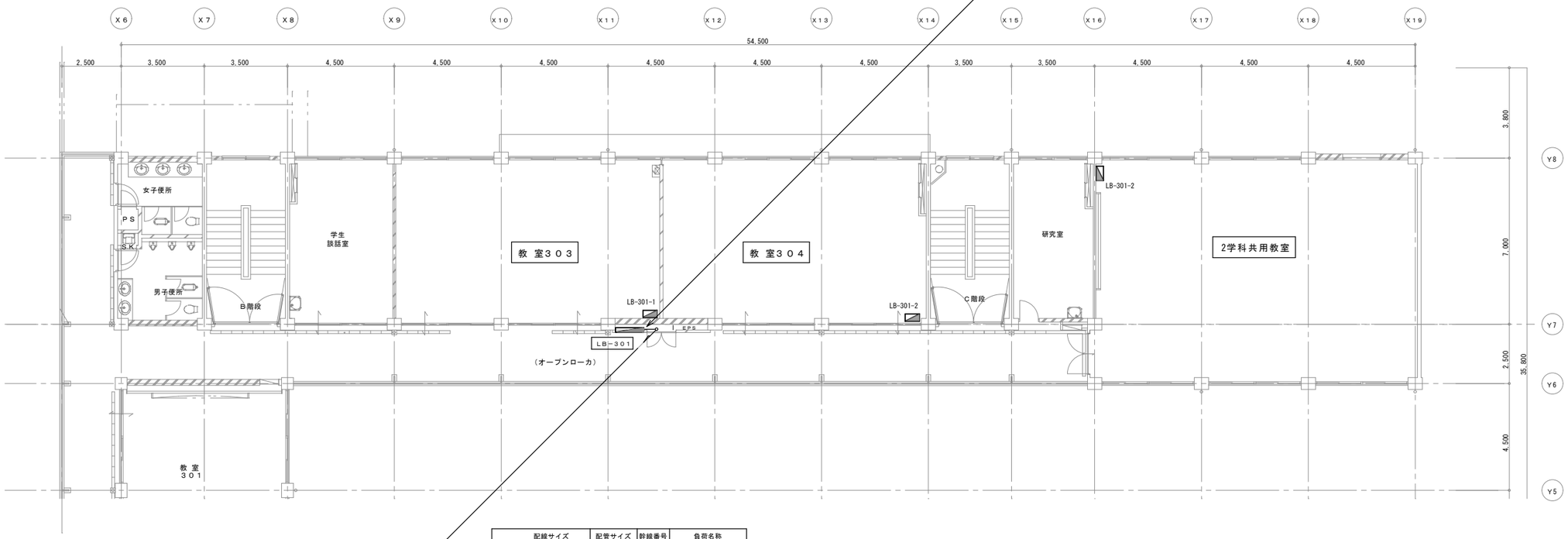
年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務（機能強化支援第2期）	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事（機能強化支援第2期）	3階　分電盤・分電盤改修図（一般科目棟）	NS	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治						E-02



校舎地区ﾋﾟｯﾄ内幹線設備平面図 （改修図） １／２００

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮 尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等内部改修設計業務（機能強化支援第２期）	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等内部改修工事（機能強化支援第２期）	校舎地区ﾋﾟｯﾄ内幹線設備平面図（改修図）（一般科目棟・商船学科棟））	A1=1/200 A3=1/400	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治						E−03

配線サイズ		配管サイズ	幹線番号	負荷名称
撤去	既存 ＣＥＴ ６０″	CR-CP75 (配管再使用)	ＬＢ３	ＬＢ－３０１
新設	ＣＥＴ１００″			
既存	ＩＥ２２″ｘ３			



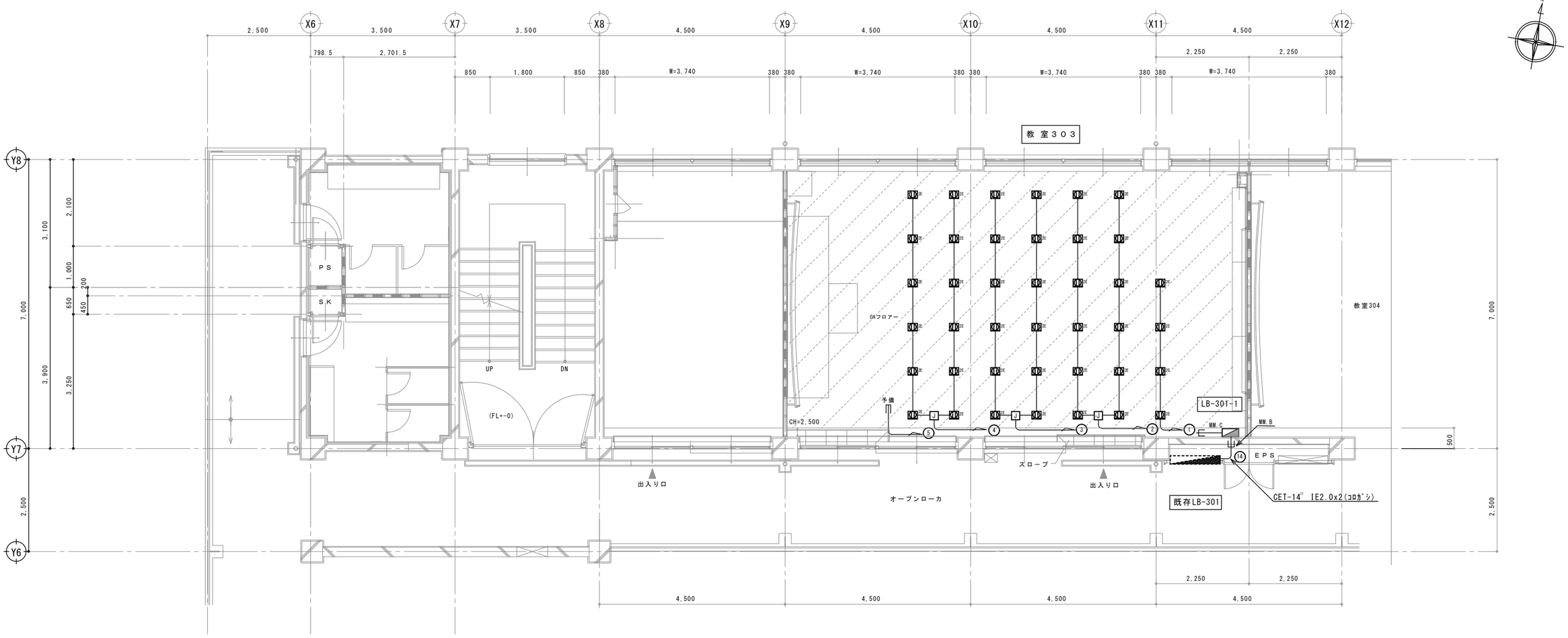
配線サイズ		配管サイズ	幹線番号	負荷名称
撤去	既存 ＣＥＴ ６０″	CR-CP75 (配管再使用)	ＬＢ３	ＬＢ－３０１
新設	ＣＥＴ１００″			

床下階へ

３階 幹線設備改修平面図 １／１００

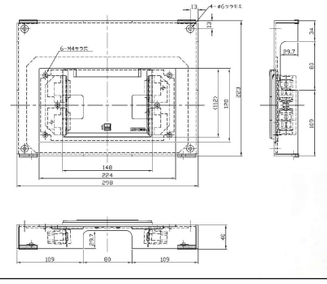
＊建築図は改修後

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮 尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等内部改修設計業務(機能強化支援第２期)	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等内部改修工事（機能強化支援第２期）	３階 幹線設備改修平面図（一般科目棟）	A1=1/100 A3=1/200	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治						E−04



凡 例

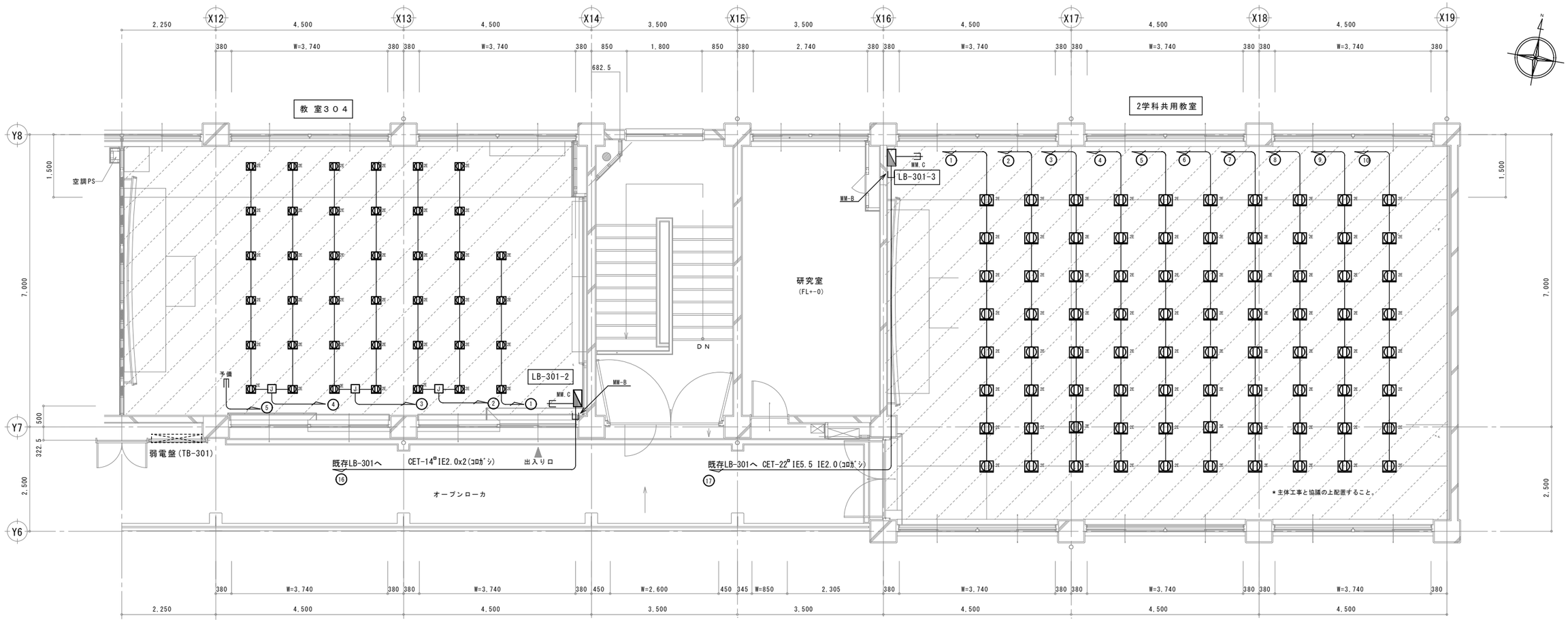
———	EM-EEF2.0-3C(コロガシ)
J	ジョイントボックス　3心・3分岐（薄型）20A300V
10A	インナーコンセント　2P15A125V E付



主体工事指定品（OAフロア用）　参考図

3階 コンセント設備平面図　教室303（改修後）　S=1/50

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係　長	担　当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等内部改修設計業務(機能強化支援第２期)	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等内部改修工事（機能強化支援第２期）	3階 コンセント設備平面図　教室303（改修後）（一般科目棟）	A1=1/50 A3=1/100	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治						E－05

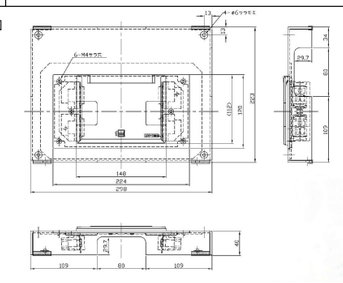


3階 コンセント設備平面図　2学科共用教室　教室304（改修後）　S=1/50

凡　例

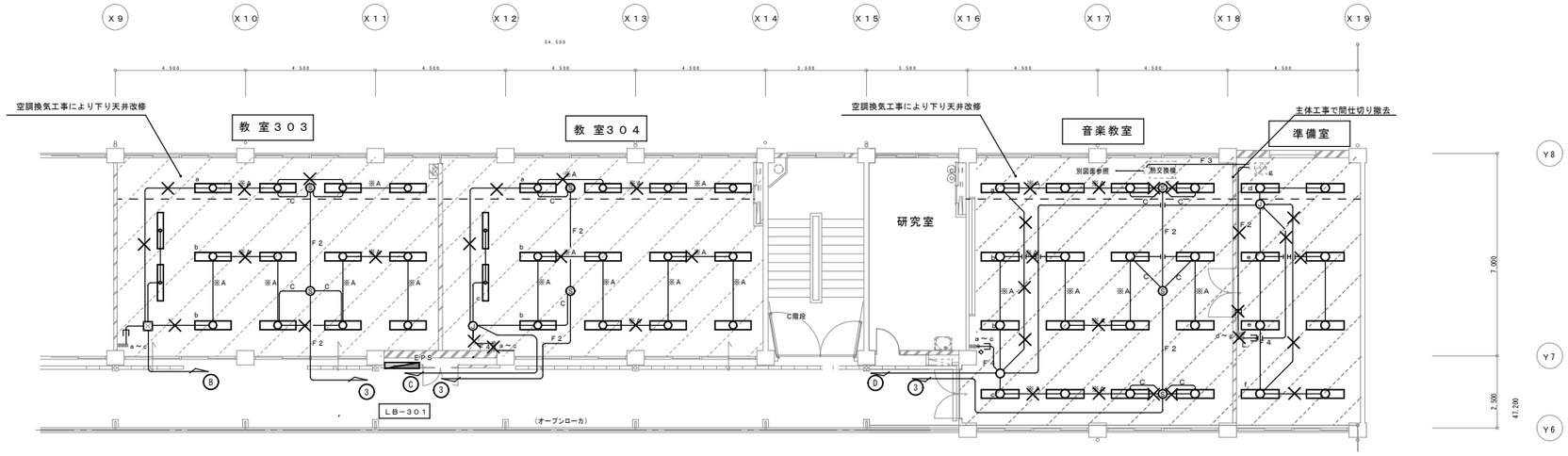
———	EM-EEF2.0-3C(ｺﾛｶﾞｼ)
J	ジョイントボックス　3心・3分岐（薄型）20A300V
KDN	インナーコンセント　2P15A125V E付

参考図



主体工事指定品（OAフロア用）

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係　長	担　当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等内部改修設計業務(機能強化支援第２期)	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等内部改修工事（機能強化支援第２期）	3階 コンセント設備平面図304教室,2学科共用教室(改修後)（一般科目棟）	A1=1/50 A3=1/100	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治						E－06



教室３０３	
ＣＨ＝３１００	Ｂ
ＦＲＳ１５−３２２ＰＸ２	１２
ＦＲＳ２４−３２１ＰＨ２	２
明るさセンサ	２

教室３０４	
ＣＨ＝３１００	Ｂ
ＦＲＳ１５−３２２ＰＸ２	１２
ＦＲＳ２４−３２１ＰＨ２	２
明るさセンサ	２

音楽教室	
ＣＨ＝３１００	Ｂ
ＦＲＳ１５−３２２ＰＸ２	１２
明るさセンサ	２

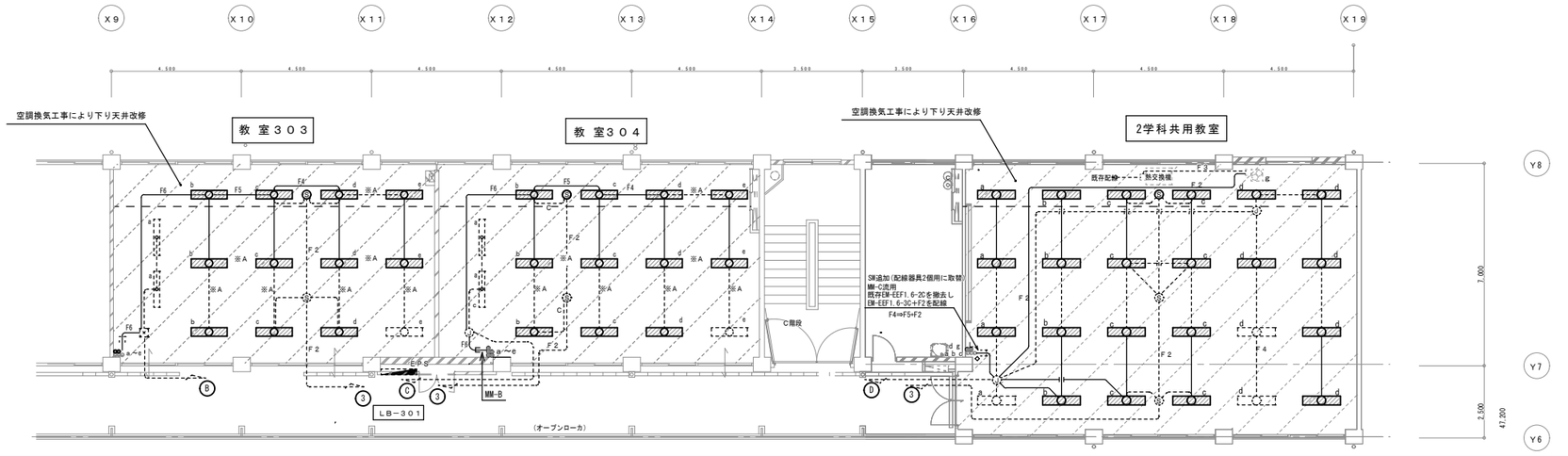
準備室	
ＣＨ＝３１００	Ｂ
ＦＲＳ１５−３２２ＰＸ２	８

既存　凡例

	FRS15-322PX2	F2	EM-EEF1.6-2C
	明るさセンサ		EM-EEF1.6-3C
	ジョイントボックス	F4	EM-EEF1.6-2Cx2
	撤去	C	FCPEV0.9-1P
		※A	EM-EEF1.6-3C+FCPEV0.9-1P

＊特記無きはコロガシ配線

３階 電灯設備平面図（改修前）１／１００



教室３０３	
ＣＨ＝３１００	Ｂ
ＦＲＳ１５−３２２ＰＸ２	１２
ＦＲＳ２４−３２１ＰＨ２	２
明るさセンサ	２

教室３０４	
ＣＨ＝３１００	Ｂ
ＦＲＳ１５−３２２ＰＸ２	１２
ＦＲＳ２４−３２１ＰＨ２	２
明るさセンサ	２

2学科共用教室	
ＣＨ＝３１００	Ｂ
ＦＲＳ１５−３２２ＰＸ２	１２
明るさセンサ	２

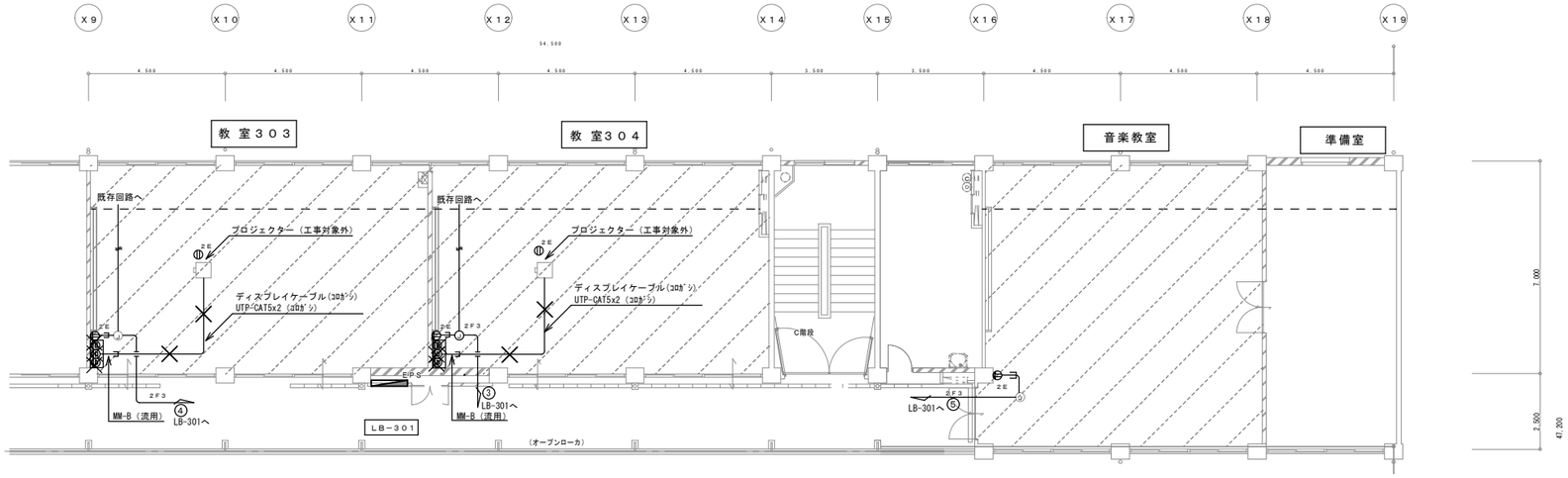
凡　例

	既存照明器具	F2	EM-EEF1.6-2C
	照明器具撤去再取付		EM-EEF1.6-3C
	センサ撤去再取付	F4	EM-EEF1.6-2Cx2
	既存表す（配線・器具）	F5	EM-EEF1.6-2C+1.6-3C
	スイッチ　1P15A	F6	EM-EEF1.6-3Cx2
	LEDランプ付スイッチ	C	FCPEV0.9-1P
		※A	EM-EEF1.6-3C+FCPEV0.9-1P

＊特記無きはコロガシ配線

３階 電灯設備平面図（改修後）１／１００

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係　長	担　当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等 内部改修設計業務（機能強化支援第２期）	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等 内部改修工事（機能強化支援第２期）	3階　電灯設備平面図（改修前　改修後） （一般科目棟）	A1=1/100 A3=1/200	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治						E−07

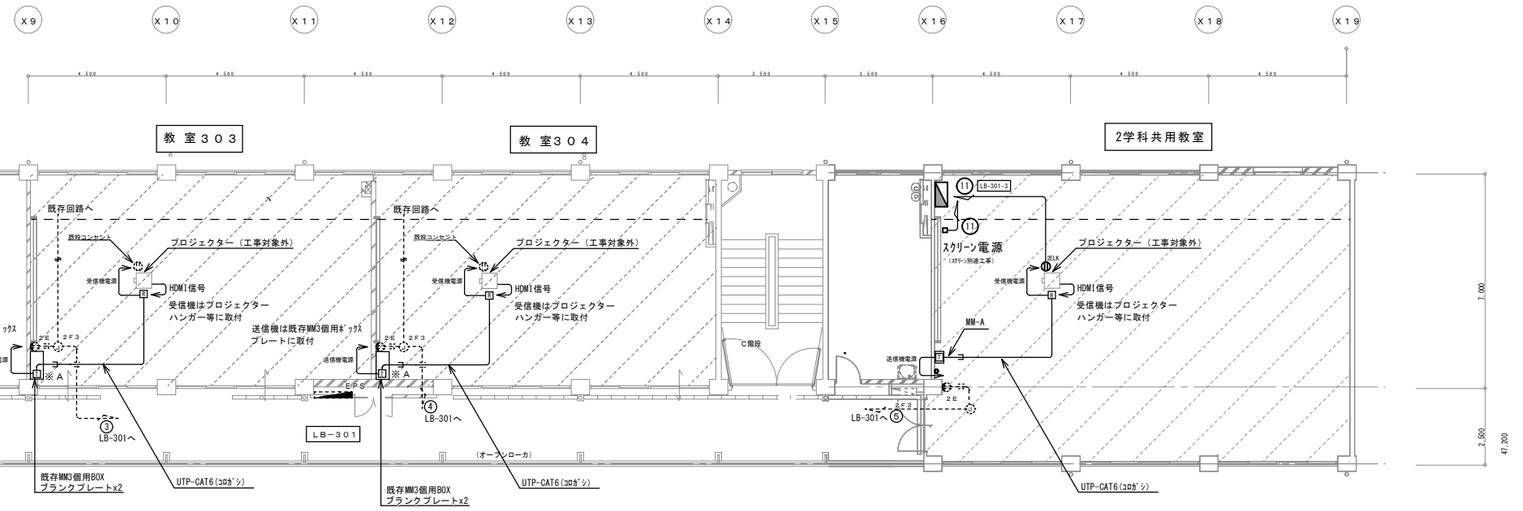


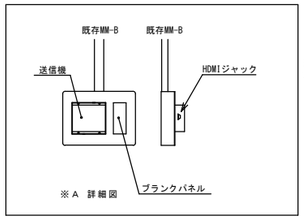
３階 映像設備平面図（改修前） １／１００

凡 例

2E	2P15A E付 天井取付		EM-EEF1.6-3C
2E	2P15A E付	2F3	EM-EEF2.0-3C
	USB-B		
	D-SUB15pin	╳	撤去
	HDMI		
J	ジョイントボックス		

＊特記無きはコロガシ配線





映像信号入力部参考図

３階 映像設備平面図（改修後） １／１００

凡 例

2E	2P15A E付 天井取付		EM-EEF1.6-3C
2E	2P15A E付	2F3	EM-EEF2.0-3C
J	ジョイントボックス		
T	エクステンダー送信機	----------	破線は既存
R	エクステンダー受信機		

＊特記無きはコロガシ配線

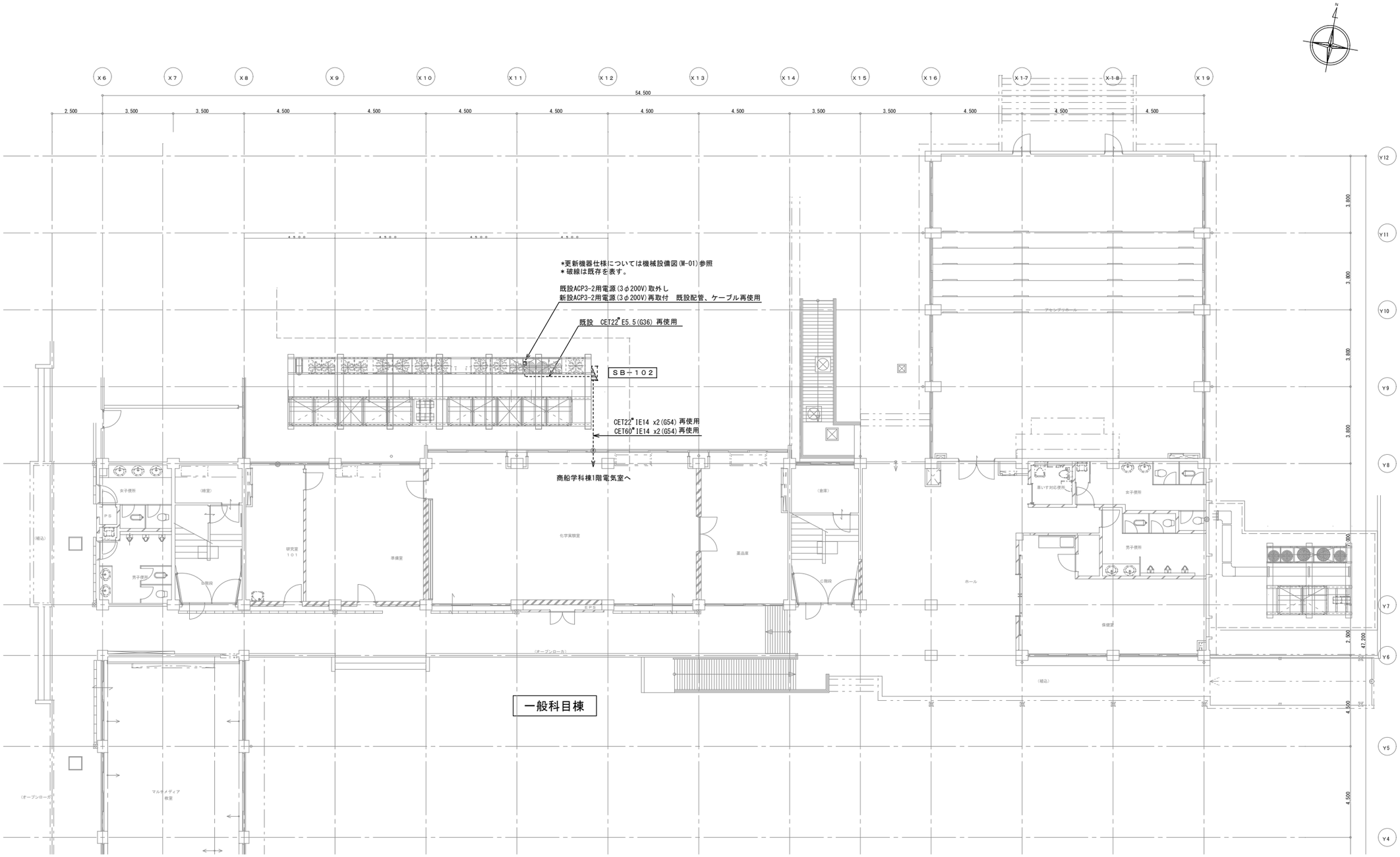
送信機（参考仕様）

入力信号	1系統 HDMI/DVI1.0 TMDSシングルリンク HDCP1.4/2.2対応（パススルー） CEC対応（パススルー） コネクタ：HDMITypeA(19ピン)・メス	デジタル音声入出力	マルチチャンネルリニアPCM最大8チャンネル サンプリング周波数:32KHz～192KHz,量子bit数:16bit～24biT
		延長用ケーブル：適合ケーブル	CAT5,5EHDC,Cat5eUTP/STP,Cat6UTP/STPケーブル
		延長用ケーブル：最大延長距離	100m(4Kフォーマットは上記ケーブル使用時) 150m(ロングリーチモード使用時)
		コントロール通信：RS-232C	1系統 D-sub9ピンコネクタ・オス全二重最大115.2kbps
		コントロール通信：LAN	1系統 RJ-45コネクタ 10Base-T/100Base-TX(AudioNexotition),AutoMDI/MDI-X
出力信号	1系統 HDBaseT RS-232C対応、LAN対応 コネクタ:RJ-45	その他仕様：ACアダプタ	入力:AC～100-240V 50Hz/60Hz 出力:DC5V2A10.0W(専用ACアダプタ)
対応フォーマット	VGA～4K 480i/480p/576i/576p/720p/1080i/1080p/4K	その他仕様：消費電力	約4W
		その他仕様：外形寸法	106(W)x27.5(H)x100(D)mm
色深度	24bit,30bit,Deep Color	その他仕様：質量	0.2kg
ドットクロック	25MHz～600MHz	その他仕様：温度	使用範囲:0℃～40℃ 保存範囲:-20℃～+80℃
TMDSクロック	25MHz～340MHz		
TMDSデータレート	0.75Gbps～10.2Gbps	その他仕様：湿度	使用範囲:20%～90%(ただし結露無き事) 保存範囲:20%～90%(ただし結露無き事)
プラグ&プレイ	パススルー		

受信機（参考仕様）

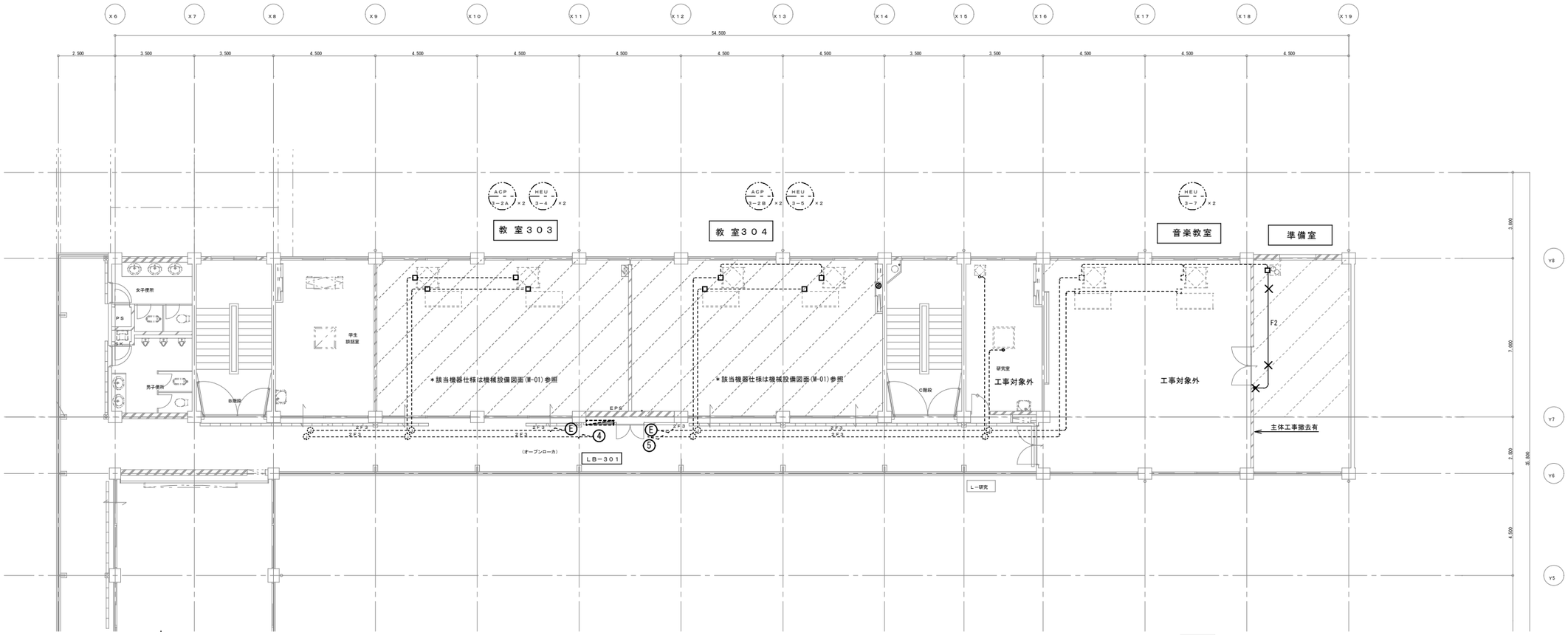
出力信号	1系統 HDMI/DVI1.0 TMDSシングルリンク HDCP1.4/2.2対応（パススルー） CEC対応（パススルー） コネクタ：HDMITypeA(19ピン)・メス	デジタル音声入出力	マルチチャンネルリニアPCM最大8チャンネル サンプリング周波数:32KHz～192KHz,量子bit数:16bit～24biT
		延長用ケーブル：適合ケーブル	CAT5,5EHDC,Cat5eUTP/STP,Cat6UTP/STPケーブル
		延長用ケーブル：最大延長距離	100m(4Kフォーマットは上記ケーブル使用時) 150m(ロングリーチモード使用時)
		コントロール通信：RS-232C	1系統 D-sub9ピンコネクタ・オス全二重最大115.2kbps
		コントロール通信：LAN	1系統 RJ-45コネクタ 10Base-T/100Base-TX(AudioNexotition),AutoMDI/MDI-X
入力信号	1系統 HDBaseT RS-232C対応、LAN対応 コネクタ:RJ-45	その他仕様：ACアダプタ	入力:AC～100-240V 50Hz/60Hz 出力:DC5V2A10.0W(専用ACアダプタ)
対応フォーマット	VGA～4K 480i/480p/576i/576p/720p/1080i/1080p/4K	その他仕様：消費電力	約4W
		その他仕様：外形寸法	106(W)x27.5(H)x100(D)mm
色深度	24bit,30bit,Deep Color	その他仕様：質量	0.2kg
ドットクロック	25MHz～600MHz	その他仕様：温度	使用範囲:0℃～40℃ 保存範囲:-20℃～+80℃
TMDSクロック	25MHz～340MHz		
TMDSデータレート	0.75Gbps～10.2Gbps	その他仕様：湿度	使用範囲:20%～90%(ただし結露無き事) 保存範囲:20%～90%(ただし結露無き事)
プラグ&プレイ	パススルー		

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮 尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等 内部改修設計業務(機能強化支援第２期)	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等 内部改修工事（機能強化支援第２期）	3階 映像設備平面図（改修前 改修後） （一般科目棟）	A1=1/100 A3=1/200	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治						E－08



空調電源設備改修平面図　１／１００

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係　長	担　当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等 内部改修設計業務(機能強化支援第２期)	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等 内部改修工事（機能強化支援第２期）	空調電源設備改修平面図 （一般科目棟）	A1=1:100 A3=1:200	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治						E－09



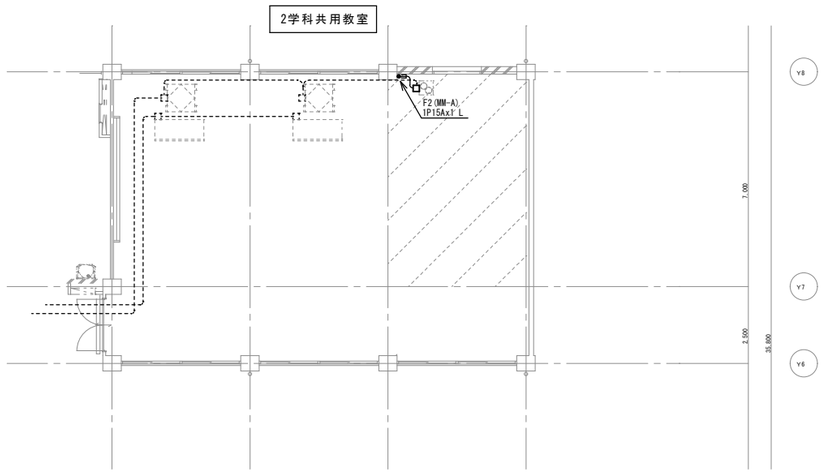
既存　凡例

□	電源切離し、再接続	F2	EM-EEF1.6-2C
			EM-EEF1.6-3C
⊙	ジョイントボックス	2F3	EM-EEF2.0-3C
╳	撤去		

＊特記無きはコロガシ配線
＊破線は既存を表す。

３階 空調・換気電源設備改修平面図　１／１００

間仕切り撤去に伴い換気扇スイッチ移設



年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係　長	担　当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等 内部改修設計業務(機能強化支援第２期)	弓削商船高専一般科目棟３階創造工学科２年教室等 内部改修工事（機能強化支援第２期）	3階　空調・換気電源設備改修平図 （一般科目棟）	A1=1:100 A3=1:200	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治						E－１０

弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事（機能強化支援第2期）

Ⅰ 工 事 概 要

1． 工事場所　愛媛県越智郡上島町弓削下弓削1000番地（弓削商船高等専門学校下弓削団地構内）

2． 完成期限　令和　9年　2月　26日（金曜日）

3． 建物概要

建物名称		一般科目棟			
工種		模様替			
構造		R C 造			
階数		4 階			
建築基準法による	建築面積(㎡)	(1,485.32)m2			
	延べ面積(㎡)	(3,920.03)m2			
消防法施行令別表第一の区分		(7) 項			
改修面積（㎡）		286.04m2			
備考					

4． 工事種目（●印の付いたものが対象工事種目）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別			
	一般科目棟			屋外
● 空気調和設備	一式			一式
● 換気設備	一式			
○ 排煙設備				
● 自動制御設備	一式			
○ 衛生器具設備				
○ 給水設備				
● 排水設備	一式			一式
○ 給湯設備				
○ 消火設備				
○ ガス設備				
○ 雨水利用設備				
● 撤去設備工事	一式			一式

5． 指定部分　● 無　　○ 有　対象部分（　　）
　　指定部分工期　　年　月　日

6． 概成工期　● 無　　○ 有　令和　年　月　日（　曜日）
　（第1編1.1.2）　［第1編1.1.2］

7． 設備概要（●印の付いたものを適用する）

方式及び種別	設備概要
空調方式 主要熱源機器	● 空冷式パッケージ形空気調和機 ○ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機 ○ ルームエアコン
自動制御方式	● 電気式　○ 電子式　○ デジタル式
給水方式	○ 高置タンク方式　○ 直結給水方式　○ 受水槽方式
排水方式	建物内の汚水と雑排水　（○ 合流式　○ 分流式 ） ポンプ排水　○ 有 （ ○ 汚物 ○ 雑排水 ○ 湧水 ） ○ 無 排水槽　　○ 有 （計画容量　　m3）　　○ 無 建物外放流先 （1）汚　水　○ 直放流下水管　（2）雑排水　○ 直放流下水管
消火設備 の種類	○ 屋内消火栓設備　○ スプリンクラー設備　○ 泡消火設備 ○ 連結散水設備　○ 連結送水管 ○ 不活性ガス消火設備（　　）
ガスの種類	○ 都市ガス（種別　　、高位発熱量　　、低位発熱量 供給圧力　　Pa、一般ガス導管事業者名　　） ○ 液化石油ガス

※改修の場合は既存概要を示す

Ⅱ 工 事 仕 様

1． 共通仕様

（1）独立行政法人国立高等専門学校機構が定める工事請負契約基準、現場説明書、図面13枚及び本特記仕様書3枚によるほか、●印の付いたものを適用する。
- ● 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。)
- ● 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
- ● 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「標準図」という。)
- ● 文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準)(令和7年版)(以下「文科仕様書」という。)
- ● 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。)
- ● 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
- ● 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和7年版)(以下「標準図」という。)
- ● 工事写真撮影要領(令和5年9月)

（2）建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。
　なお、建築工事の特記仕様書は（_____）図、電気設備工事の特記仕様書は（_____）図による。

2． 特記仕様

（1）本特記仕様書の表記
　1）項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。
　2）項目に記載の（第　編　.　.　）内表示番号は、標準仕様書の該当項目番号を示す。
　3）項目に記載の［第　編　.　.　］内表示番号は、改修標準仕様書の該当項目番号を示す。
　4）項目に記載の＜第　編　.　.　＞内表示番号は、文科仕様書の該当項目番号を示す。

章	項目	特記事項
●一般共通事項	●適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ● 風圧力 風速（Vo= 34m/s） 地表面粗度区分（ Ⅲ ） ● 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域　別表（　35　）
	●電気保安技術者 （第1編1.3.2） ［第1編1.3.2］	この工事現場に，下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。 項目名 ／ 電気保安技術者 1.第３種電気主任技術者以上の資格を有する者 ● 2.１級電気工事施工管理技士の資格を有する者 ● 3.高等学校又はこれと同等以上の教育施設において，電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第７条第１項各号の科目を修めて卒業した者 ● 4.旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者 ● 5.公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者 ● 6.第１種電気工事士の資格を有する者 ● 7.２級電気工事施工管理技士の資格を有する者 ● 8.第２種電気工事士の資格を有する者 ● 9.短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者 ○
	●施工条件 （第1編1.3.3） ［第1編1.3.3］	工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。 ●原則として作業時間は平日の 8：30～17：00とし、それ以外の時間帯の作業については事前に監督職員と協議の上施工すること。 ●騒音、動等授業や教育研究活動に影響を及ぼす恐れのある作業は事前に監督職員と協議の上実施する事。 ●通行止め、停電、断水を伴う作業は、事前に作業計画書を提出し、監督職員の承諾を得た上で実施すること。なお、停電を伴う作業は原則休日(土･日・祝日)とし、日程は監督職員との協議により決定する。 ●本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して週休2日について取り組む内容を協議したうえで工事を実施する週休2日促進工事(完全週休2日Ⅱ型)である。 ●空調更新工事において集中リモコンは既存流用とし、個別監視機能を使用できることとする。(監視機能の詳細はM-01 機能一覧表を参照。)
	●環境への配慮 （第1編1.4.1） ［第1編1.4.1］	(1) 本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和7年1月閣議決定）」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。 (2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジーｎ－ブチル及びフタル酸ジー２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	●機材の品質等 （第1編1.4.2） ［第1編1.4.2］	（1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （2）下表に機材名が記載された製造業者等は、以下に指定する事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。 ただし、以下に指定する事項を評価されたことを示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。 ● 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ● 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ● 安定的な供給が可能であること。 ● 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ● 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ● 販売、保守等の営業体制を整えていること。 機材名 空調機器.換気機器.配管・配線
	●機材の検査等 機材の検査に伴う試験 （第1編1.4.4～5） ［第1編1.4.4～5］	監督職員の行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。 機材名 ／ 検査 ／ 試験 ／ 備考 空調機器 ● ● 搬入時外観検査 換気機器 ● ● 搬入時外観検査 配管・配線 ● 搬入時外観検査
	●施工調査 ［第1編1.5.1～4］	事前調査 ● 本工事　○ 別途 調査内容 調査項目 ● 既存資料調査 調査範囲 ○ 図示　● 工事影響範囲 調査方法 ○ 図示　● 目視等
	○技能士 （第1編1.5.2） ［第1編1.6.2］	下記の職種及び作業に適用する。 ○ 配管（配管工事） ○ 建築板金（ダクト製作及び取付） ○ 熱絶縁施工（保温工事） ○ 冷凍空気調和機器施工（チリングユニット等の据付及び整備）
	●施工の検査等 検査に伴う試験・立会い等 （第1編1.5.4～5） （第1編1.5.8） ［第1編1.6.5～6］ ［第1編1.6.9］	下記の施工部分は，監督職員の検査・立会い・検査に伴う試験を受ける。 施工部分 ／ 検査 ／ 立会 ／ 試験 ／ 備考 空調機器 ● ● ● 試運転検査・温度測定 換気機器 ● ● ● 試運転検査・風量測定 配管・配線 ● ● ● 通水試験・気密試験・通電試験
	●技術検査 （第1編1.6.2） ［第1編1.7.2］	
	●完成時の提出図書 （第1編1.7.1～5） ［第1編1.8.1～6］	工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。 名称 ／ 体裁等 ● 完成図 ／ CADデータ（電子納品）及び電子データ ○ 〃 ／ 原図 ○ A1版（　部）○ A3版（　部） ○ 〃 ／ 複写図製本（黒厚紙表紙金文字入）（１部） ● 〃 ／ 複写図仮製本　● A1版（１部）　● A3版（２部） ● 保全に関する資料 ／ ● 紙媒体（2部）　● 電子データ ● 工事写真 ／ ● 紙媒体（2部）　● 電子データ ※紙媒体はA4版ファイル綴じ、電子データはPDF形式とする。 電子納品は次による。 （1）貸与する設計図CADデータの著作者名：○○工業高等専門学校 ファイル形式：JWW 貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図以外に使用しないこと。 （2）電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。 （3）電子成果品は、提出前にウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。 （4）提出方法及びファイル形式は以下による。 CADデータ：JWW、DXF及びPDF 提出方法：CD又はDVDに保存し、1部提出する。
	●石綿含有建材の調査 ［第1編1.5.1］ ［第1編4.1.2］	工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
	●他工事又は他工種との取り合い	図面に特記なき場合は、工事区分表による。
	●電動機 （第2編1.2.1） ［第2編1.2.1］	換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。
	●電源周波数	○ ５０Ｈｚ　● ６０Ｈｚ
	●容量等の表示	（1）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 （2）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。
	●総合試運転調整 （第2編1.5.6） ［第2編1.6.7］	● 本工事　○ 別途 調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。） ● 風量調整　○ 水量調整　● 室内外空気の温湿度の測定 ○ 室内気流及びじんあいの測定　○ 騒音の測定　○ 飲料水の水質の測定 ○ 雑用水の水質の測定　○
	●足場その他 （第2編4.1.1） ［第1編2.2.1］	● 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 ○ 本工事で設置する。（　　図参照） ○ 内部足場（○　種○　種）○ 外部足場（○　種○　種） 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
	○埋め戻し土・盛土 （第2編4.2.1） ［第2編4.2.1］	○ 根切り土の良質土　○ 山砂の類 以下の配管は、管の周囲に山砂の類を施す。 ○
	○建設発生土の処理方法 （第2編4.2.1） ［第2編7.1.1］	○ 構内敷きならしとする。　○ 構外に搬出し、適切に処分する。
	●耐震措置	設備機器の固定は、次によるほか、すべて建築設備耐震設計施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。 （1）機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器の重量[kN]（水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量）に、地域係数_____及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度 機器種別 ／ ○ 特定の施設 重要機器 ／ ○ 特定の施設 一般機器 ／ ● 一般の施設 重要機器 ／ ● 一般の施設 一般機器 上層階 屋上及び塔屋 機器 2.0 1.5 1.5 1.0 上層階 屋上及び塔屋 防振支持の機器 2.0 2.0 2.0 1.5 上層階 屋上及び塔屋 水槽類 2.0 1.5 1.5 1.0 中間階 機器 1.5 1.0 1.0 0.6 中間階 防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0 中間階 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6 地階・１階 機器 1.0 0.6 0.6 0.4 地階・１階 防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6 地階・１階 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6 ・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。 ・中間階とは地階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの ・水槽類にはオイルタンクを含む。 ・重要機器は次による。 ［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］ ［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］ ［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］ ［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］ ［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］ （2）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の１／２とする。
	●配管 （第2編第2章） ［第2編第2章］	（1）ステンレス鋼管の接合は、下記による。 ○ 呼び径６０Ｓｕ以下（○ ＳＡＳ３２２を満足した継手　○　） （2）溶接部の非破壊検査　○ 不要　○ 要（　　） フレキシブルジョイントを備える配管は、適正な面間寸法が保持できるよう施工し、その寸法を記録保存する。
	○地中埋設標等 （第2編2.7.1～3） ［第2編2.7.1～3］	（1）地中埋設標　● 要（図示による）　○ 不要 （2）埋設表示テープ　● 要（排水管を除く）　○ 不要
	●絶縁継手 （第2編2.2.12） ［第2編2.4.1］	図示の位置に取り付ける。
	●試験 （第2編2.9.1～5） ［第2編2.9.1～7］	既設配管を含む部分の試験　● 要（方法及び圧力：標準仕様書に基づく） ○ 不要
	●保温 （第2編3.1.1～6） ［第2編3.1.1～4］	標準仕様書第２編によるほか次による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。 ○ 多湿箇所は下記による。 室名： ○ 共同構内の保温種別は下記による。 ダクト： 配管：
	●塗装 （第2編3.2.1） ［第2編3.2.1］	次の露出配管は、塗装又は記載の仕上げとする。 ● 屋外：　● ドレン管　（● 指定色塗装　○　　） ○ 金属電線管（○ 溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げ[付着量300ｇ/㎡以上] ○ 指定色塗装） ○ 屋内：　○ 金属電線管（○ 溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げ　○ 指定色塗装）
	●天井仕上区分	（　）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	●電線類 （第2編4.7.1） ［第2編4.7.1］	電源及びケーブルはエコマテリアル仕様とする。
	○監視・制御システムのサイバーセキュリティ	外部ネットワークと接続する制御システム ○ あり（対象設備：　　）　○ なし 外部ネットワークと接続する箇所の不正アクセス防止対策 ○ ファイアウォール　○ 統合脅威管理（UTM） 盤・キャビネットの錠の鍵 ○ 製造者の標準鍵 ○ 鍵の指定あり 対策機器　（○ 監視盤　○ 自動制御盤　○　　）
	○既存躯体への穿孔 ［第2編6.2.1］	はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に下記の方法により埋設物調査を行い、監督職員に報告する。 ○ 走査式埋設物調査　○ 放射線透過検査

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	特記仕様書(機械設備)(1)	A1=NO:SC A3=NO:SC	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治						特Ｍ－０１

● 空気調和設備

●設計温湿度

	外気		屋内					
	一般系統		一般系統		個別系統			
	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度
夏季	℃	%	２８℃	成行	℃	%	℃	%
冬季	℃	%	１８℃	成行	℃	%	℃	%

○鋼板製煙道
（第3編1.1.2）
［第3編1.1.1］

鋼板厚（ ○ ３．２mm ○ ４．５mm）

●ダクト
（第3編1.14.1
～5）
［第3編1.1.1］

○ 低圧ダクト（ ○ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）
○ アングルフランジ工法 ）
● スパイラルダクト（● 低圧 ○ ）
○ 高圧１ダクト（範囲は図示による。）
○ 塩化ビニルライニング鋼板製ダクト
JIS4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」の当該事項による。
製作及び取付は公共仕様書第3編 2.2.1「一般事項」、公共仕様書第3編2.2.2~3「アングルフランジ工法ダクト」、「コーナーボルト工法ダクト」の当該事項による。ただし、ダクト補強において、補強リブ加工及びスポット溶接は行ってはならない。
○ ステンレス鋼板製ダクト（ ○ ステンレス鋼（SUS 304）製支持材）
JIS4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」の当該事項による。
○ 長方形ダクト
○ SUS A ダクト
材料を全てステンレス製とし、他の材料は公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」による。
○ SUS B ダクト
材料で、ダクトの内側で内部空気に接する鋼板、リベット等をステンレス製とし、他の材料は公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」による。
板厚は、JIS A 4009による。
○ 硬質塩化ビニル製ダクト
JIS4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」の当該事項による。
○ 長方形ダクト
板厚は、JIS A 4009による。

長方形ダクトの吊り金物及び支持金物　単位 mm

ダクトの長辺	棒鋼吊り金物			支持金物	
	山形鋼寸法	棒鋼	最大間隔	山形鋼寸法	最大間隔
500以下	30x30x3	呼び径9	4,000	30x30x3	4,000
500を越え1,000以下	40x40x3	呼び径9	4,000	40x40x3	4,000
1,000を越え1,500以下	40x40x3	呼び径9	3,000	40x40x3	3,000
1,500を超え2,000以下	40x40x5	呼び径9	3,000	40x40x5	3,000

○ 円形ダクト
板厚は、JIS K 6741（硬質ポリ塩化ビニル管）によるVU管とする。
接続は、冷間工法による差込接合又は熱風溶接による当て板を用いた突合わせ接合とし必要に応じ以下によるフランジ接合とする。

円形ダクト接合材料　単位 mm

ダクトの長辺	接合用フランジ	接合用ボルト	
	硬質塩化ビニル製アングル最小寸法	ねじの最小呼び径	最大間隔
400以下	40x40x5	M8(M10)	75
400を越え500以下	50x50x5	M8(M10)	75

注　接合用ボルト（ ）内は、硬質塩化ビニル製ボルトの場合を示す。
支柱による内部補強は、接合用フランジの片側のみとし、取付座を設けて、呼び径50mmのVU管を溶接するか呼び径25mm のVU管に、呼び径15Aの鋼管を挿入したものをボルトにより、フランジと共に締め付け補強をする。

円形ダクトの吊り金物及び支持金物　単位 mm

ダクトの長辺	棒鋼吊り金物			支持金物	
	平鋼寸	棒鋼	最大間隔	形鋼寸法	最大間隔
300以下	30x3	呼び径9 (1本吊り)	4,000	30x30x3	4,000
300を越え500以下	40x3	呼び径9 (2本吊り)	4,000	40x40x3	4,000

○ グラスウール製ダクト（長方形ダクト）
JIS4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」の当該事項による。
最大風速13m/s 以下で、長辺の長さが2,000mm 以下の低圧ダクトに適用する。
また、ダクト内温度は70℃以下、ダクト周辺温度は-30℃から70℃の範囲とする。ただし、排煙ダクト、厨房など火気使用室の排気ダクト、及び多湿箇所には使用しない。

長方形ダクトの吊り金物及び支持　単位 mm

補強材	最大間隔
なし	2,400
あり	2,000

注1　支持材料は、軽量形鋼50×25×5×0.5t以上とする。
2　吊り鋼棒は、呼び径9mm とする。
○ 塩ビライニング鋼板製スパイラルダクト
直管は、JIS A 4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.4「スパイラルダクト」による。
継手は、両面にポリ塩化ビニル（塩化ビニル樹脂）を塗布したものとする。
製作及び取付は、公共仕様書第3編 2.2.1「一般事項」、公共仕様書第3編 2.2.2~3「スパイラルダクト」に準ずる。ただし、ダクトの接合に用いるスクリュービスはステンレス製とする。
○ ステンレス製スパイラルダクト
直管は、JIS A 4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.4「スパイラルダクト」による。
継手は、JIS G 4305（冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯）によるSUS 304を用いてはぜ継ぎ又は溶接したものとする。
製作及び取付は、公共仕様書第3編 2.2.1「一般事項」、公共仕様書第3編 2.2.2~3「スパイラルダクト」に準ずる。ただし、ダクトの接合に用いるスクリュービスはステンレス製とする。

○チャンバー
（第3編1.14.4）
［第3編1.2.1］

（１）内貼を施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
（２）空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお、大きさは図示による。
（３）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバーは雨水の滞留のないように施工する。

○ダンパー
（第3編1.15.6
～14）
［第3編1.1.1］

（１）防煙ダンパー　復帰方式 遠隔復帰式（定格入力DC24V）
（２）ピストンダンパー　復帰方式 遠隔式

○配管材料及び記号
（第2編2.1.1
～2）
［第2編2.1.1］

配管材料及び記号は（○ 下記による。 ○ 図示による。）

（１）蒸気管　給気管　○ 黒管（JIS G 3452）
○ 黒管 Sch40（JIS G 3454）
○ ステンレス管（SUS304・JIS G 3448）
○ ステンレス管（SUS304・JIS G 3459）
還管　○ 黒管 Sch40（JIS G 3454）
○ ステンレス管（SUS304・JIS G 3448）
○ ステンレス管（SUS304・JIS G 3459）
（２）油管　○
（３）冷温水管　○
（４）冷却水管　○
（５）ドレン管　○ 結露防止層付硬質塩化ビニル管
○ 硬質ポリ塩化ビニル管
（６）冷媒管　○ 冷媒配管用被覆断熱鋼管
（７）高温水管　送り ○ 送り　─┼ H ─┼─ H ┼─
還り ○ 還り　─┼ HR ─┼ HR ┼─　※破線としてもよい。
（８）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管
○

○弁類
（第2編2.2.1
～6）
［第2編2.1.1］

○ 図面に特記なき場合の耐圧は、ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ とする。
○ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
○ ファンコイルユニットと冷温水管の接続部（往･還）には、ボール弁を取付ける。
○

●保温及び消音内貼
（第2編3.1.1
～2）
［第2編3.1.1］
［第2編3.1.3］

標準仕様書第２編３．１．４によるほか、次による。

○ 蒸気還り管の保温不要（屋内露出は除く。）
○ 還気ダクトの保温要（保温の厚さ２５mm、範囲は図示による。）
○ 外気ダクトの保温要（保温の厚さ２５mm、範囲は図示による。）
○ 膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第２編３．１．４の温水管の項による。
○ 建物内のエア抜き管の保温は、標準仕様書第２編３．１．４の温水管の項による。（エア抜き弁以降の配管は除く。）
○ 暗渠内（ピット内を含む）の空調用ドレン管は保温（ ○ 有 ○ 無 ）とする。
● 冷媒管の保温外装は次による。
○ 図示による
○ 屋内露出箇所（ ）
● 屋外露出箇所（ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 ）

○塩化ビニル製送風機・強化プラスチック製送風機

（１）遠心送風機
① ケーシングは、硬質塩化ビニル板（JIS K 6745）又は繊維強化プラスチック（FRP:ガラス繊維強化プラスチック、FRTP：ガラス繊維強化熱可塑性プラスチック）等耐食性に優れた材料により製作され、風圧に対して十分な強度を有するように鋼板、形鋼、硬質塩化ビニル製又は繊維強化プラスチック製アングルにて外部から補強したものとする。また、ケーシング下部には必要に応じ水抜きを設ける。
② 羽根は、硬質塩化ビニル板（JIS K 6745）又は繊維強化プラスチック（FRP:ガラス繊維強化プラスチック、FRTP：ガラス繊維強化熱可塑性プラスチック）等耐食性に優れた材料により成型製作され、高速運転に耐えるものとする。
③ 羽根車のハブ部品及び主板部分は必要に応じ、金属材料で補強し、金属部は耐食材料で被覆する。
④ 軸はJIS G 4051（機械構造用炭素鋼鋼材）によるS30C以上又は特殊鋼製とし、接ガス部は耐食材料で被覆する。軸受けはラジアル及びスラスト型とし、荷重に耐えられるものとし、長時間の連続運転に耐えるものとする。
（２）軸流送風機
前記遠心送風機に準じて製作するものとする。

● 換気設備

●ダクト
（第3編1.14.1
～5）
［第3編1.1.1］

○ 低圧ダクト（ ○ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）
○ アングルフランジ工法 ）
● グラスフレックスダクト（● 低圧 ○ ）
○ 高圧１ダクト（範囲は図示による。）
○ 厨房系統の排気用ダクトは、標準仕様書第３編１．１４．１～５のダクトの板厚の項より１番手厚いものとする。（範囲は図示による。）

○ダンパー
（第3編1.15.6）
～14）
［第3編1.1.1］

空気調和設備の当該項目による。

●シールする排気ダクトの系統

○ 厨房系統
○ 浴室（シャワー室、脱衣所を含む）
○ ドラフトチャンバー系統

○チャンバー
（第3編1.14.6）
［第3編1.1.1］

空気調和設備の当該項目による。

●保温
（第2編3.1.4）
［第2編3.1.4］

● 全熱交換ユニット用の外気取入れダクトは保温を行う。
● 全熱交換ユニット用の排気用ダクトは外部から1m以上保温を行う。
○ 厨房の隠ぺい部ダクトの保温の仕様及び範囲は図示による。
○ 湯沸室の隠ぺい部ダクトの保温の仕様及び範囲は図示による。

○ 排煙設備

○ダクト
（第3編1.14.1）
［第3編1.1.1］

○ 亜鉛鉄板　○ 普通鋼板（厚１．６mm）

○排煙口の形式

○ パネル形（ ○ 天井取付　○ 壁取付）
○ スリット形（ ○ 天井取付　○ 壁取付）
○ ダンパー形（ ○ 天井内取付　○ ）

○排煙口開放及び復帰方式

○ 電気式（遠隔操作 ○ 要 ○ 不要）
排煙口から手動解放装置への配線は、標準仕様書第４編１．５．１表４．１．１１による耐熱・耐火ケーブルとする。

○排煙風量測定

建築設備定期検査業務基準書 ２０２３年版（(一財)日本建築設備･昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準じる。

● 自動制御設備

○システム構成その他

別図による。

●電気計装用配線
（第4編1.5.1）
［第4編1.1.1］

屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。
天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。

○ 衛生器具設備

○自動洗浄装置及びその組み込み小便器

○ 個別感知フラッシュ方式（ ○ ＡＣ電源 ○ 自己発電）

○自動水栓の電源種別
（第5編1.1.7）
［第5編1.1.1］

○ ＡＣ電源
○ 自己発電

○衛生器具ユニット
（第5編1.1.3）
［第5編1.1.1］

別図による。

○ 給水設備

○配管材料
（第2編2.1.2）
［第2編2.1.1］

配管材料は（ ○ 下記による。 ○ 図示による。）
（１）一般配管　○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管
○
（２）地中配管　○ 水道用ポリエチレン二層管（50A以下）
○ 水道配水用ポリエチレン管（75A以上）
（３）水道直結配管 ○ 引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中埋設配管は（ ○ ）とし、他の部分は（１）による。

○量水器
（第2編2.2.16）
［第2編2.1.1］

○ 親ﾒｰﾀｰ（ ○ 現地表示式（直読式）○ 遠隔表示式（ ○ 電文式 ○ ﾊﾟﾙｽ式））
（ ○ 貸与品 ○ ）
○ 子ﾒｰﾀｰ（ ○ 現地表示式（直読式）○ 遠隔表示式（ ○ 電文式 ○ ﾊﾟﾙｽ式））
（ ○ 買取り ○ ）

○量水器桝
（第5編1.8.4）
［第5編1.1.1］

○ 水道事業者指定品（ ○ 貸与品 ○ 買取り） ○ 標準図ＭＣ形

○弁類
（第2編2.2.1
～6）
［第2編2.2.1］

○ 図面に特記なき場合の耐圧は、５Ｋ とする。
○ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
○ 水道直結部分の耐圧は、１０Ｋとする。

○水栓柱
（第2編2.2.23）
［第2編2.1.1］

別図による。

○管の地中埋設深さ
（第2編2.7.2）
［第2編2.7.2］

○ 埋設深さ（管の上端深さ）は原則として、
車両通行部分は（ ○ ６００mm ○ mm）
その他の部分は（ ○ ３００mm ○ mm）以上とする。
○ 寒冷地のため、埋設深さ（管の上端深さ）は mm以上とする。

○建築物導入部

○ 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領 ）による。
（ ○（ａ） ○（ｂ） ○（ｃ））
○ 別図による。

○引込納付金等

○ 要（ ○ 本工事（納付金を含まない。）○ 別途）
○ 不要

○絶縁継手
（第2編2.2.12）
［第2編2.5.16］

図示の位置に取り付ける。

● 排水設備

● 配管材料及び記号
（第2編2.1.2）
［第2編2.1.1］

配管材料及び記号は（● 下記による。 ○ 図示による。）
（１）屋内　雑排水管（合流）　● 空調用保温材付ドレン管
雑排水管（給湯室系統）　○
汚水管　○ 耐火二層管
○ 硬質ポリ塩化ビニル管
通気管　○ 耐火二層管
○ 硬質ポリ塩化ビニル管
ﾎﾟﾝﾌﾟｱｯﾌﾟ管　○ 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管
実験排水管　○ SGP-PB（JWWA K 132）
+ポリ粉体鋼管継手（JPF DF 001）
○ 塩ビ管（JSWAS K-1）
── P ──── P ──
※鋳鉄管は ─(── P ─(──
（２）屋外　第一桝まで　○ 屋内と同じとする。
桝間　○ リサイクル硬質塩化ビニル管
※実験排水とは、下水道法、水質汚濁防止法でいう特定施設からの実験洗浄排水をいう。

○台所流し等排水管

洗面器に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップとする。
台所流し等の床上露出部分の配管は、塩ビ管（ＲＦ－ＶＰ）とする。
大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとの接続管は、塩ビ管（ＲＦ－ＶＰ）とする。

○満水試験継手

図示の位置に取り付ける。

○伸縮継手
（第2編2.5.14）

図示の位置に取り付ける。

○ガソリントラップ

○ 鋳鉄製　○ ステンレス鋼板製　○

○Uトラップ

図示の位置に取り付ける。

○流しトラップ

本体　○ 鋳鉄製（JCW-202）　○ ステンレス製　○
バケット　○ 黄銅製　○ ステンレス（SUS304）製　○
ストレーナ　○ 黄銅製ニッケルークロムめっき仕上げ　○

○放流納付金等

○ 要（ ○ 本工事（ ） ○ 別途）
○ 不要

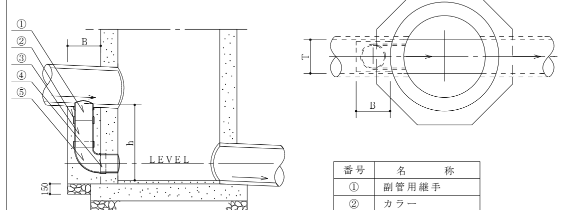
○屋外土中配管

屋外土中埋設に使用する下水道用硬質塩化ビニル管の接合は、ゴム輪接合とし、施工方法は、JSWAS K-1（下水道用硬質塩化ビニル管）の参考資料による。
なお、マンホール副管及び呼び径150以下の配管については、接着接合としてもよい。
また、管をコンクリート造のます等に接続する場合には、マンホール継手を使用し、樹脂製接着剤又はモルタルを充填する。なお、硬質塩化ビニルますに接続する場合は、塩ビ管用接着剤により接合する。

○マンホール副管

副管は、流入管きょと流出管きょとの段差が0.6m以上の場合に設けることとし、その仕様は以下による。

（ａ）中間マンホール



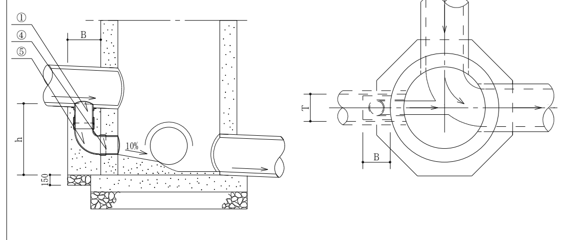
（単位:mm）

本管径	B	T	副管径
150φ	250	300	100
200φ	300	350	150

番号	名称
①	副管用継手
②	カラー
③	短管
④	マンホール接続管
⑤	９０度曲管

注　h寸法によっては、②③を除いて寸法調整を行っても良い。

（ｂ）会合マンホール用



（単位:mm）

本管径	B	T	副管径
150φ	250	300	100
200φ	300	350	150

番号	名称
①	副管用継手
④	マンホール接続管
⑤	９０度曲管

注　h寸法によっては、(ａ)中間マンホールの②③を用いて寸法調整をしても良い。

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校	図面番号
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事（機能強化支援第2期）	特記仕様書（機械設備）(2)	A1=NO:SC A3=NO:SC	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治	事務部長 / 総務課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当	特Ｍ－０２

○ 給湯設備

○配管材料
（第2編2.1.2）
［第2編2.1.1］

配管材料は（ ○ 下記による。　○ 図示による。）
　○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管

○弁類
（第2編2.1.2～6）
［第2編2.1.1］

○ 図示による。（特記なき場合の耐圧は、５Ｋ とする。）
○ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。

○保温
（第2編3.1.5）
［第2編3.1.4］

湯沸器の給排気筒（二重管）の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種別は標準仕様書第２編 ３．１．５表２．３．５のｈ・ア・Ⅸとする。

○ 消火設備

○配管材料
（第2編2.1.2）
［第2編2.1.1］

配管材料は（ ○ 下記による。　○ 図示による。）
（１）屋内消火栓　一般配管　○ 配管用炭素鋼鋼管（白）
　　地中配管　○ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管
（２）連結送水管　一般配管　○
　　地中配管　○
（３）　○

○屋内消火栓 種別
（第5編1.5.2）
［第5編1.2.1］

○ １号消火栓
○ 易操作性１号消火栓
○ ２号消火栓
○ 広範囲型２号消火栓

○屋内消火栓 開閉弁
（第5編1.5.2）
［第5編1.2.1］

○ １０Ｋ

○地中埋設 配管の接合

外面被覆鋼管の呼び径１００Ａ以下はねじ接合とする。

○建築物導入部

建築物導入部の変位吸収方法は、標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。
（○（ａ）　○（ｂ）　○（ｃ））

○保温
（第2編3.1.5）
［第2編3.1.4］

○ 屋外露出部分 ○ 有（ ○ ｅ２・ウ・Ⅶ　○　　）
　　○ 無

○不活性ガス 消火設備
（第5編1.5.6）
［第5編1.2.3］

別図による。

○泡消火設備
（第5編1.5.8）

別図による。

○ ガス設備

○配管材料
（第6編2.1.1）
［第6編2.1.1］
（第6編3.1.1）

配管材料は（ ○ 下記による。　○ 図示による。）
（１）都市ガス　○ 一般ガス導管事業者の供給規定による。
（２）液化石油ガス　一般配管　○ 配管用炭素鋼鋼管（白）
　　地中配管　○ ガス用ポリエチレン管

○メーター
（第6編2.1.7）
［第6編2.1.1］

○ 親ﾒｰﾀｰ　（ ○ 実測式　○ パルス式 ）　（ ○ 貸与品　○　　）
○ 子ﾒｰﾀｰ　（ ○ 実測式　○ パルス式 ）　（ ○ 買取り　○　　）

○ガス漏れ 警報器
（第6編2.1.3）
［第6編2.1.1］

○ 本工事（図示による）　　○ 別途工事
　外部警報端子（ ○ 無　○ 有 ）

○ 特殊ガス等設備工事（医療ガス設備工事）

○一般事項
（第11編1.1.1～3）

（１）ガスの種別及び配管の記号は、下記による。
○ 酸素　—O_2——O_2—
○ 亜酸化窒素（笑気）　—N_2O—N_2O—
○ 治療用空気　— A —— A —
○ 二酸化炭素　—CO_2—CO_2—
○ 吸引（ ○ 水封式　○ 油回転式）　— V —— V —
○ 麻酔ガス排除（排ガス）　—EX——EX—
○ 圧縮空気（○ 治療用　○ 機器駆動用）　—SA——SA—
○ 窒素 （ ○ 高純度　○ 一般）　—N_2——N_2—

（２）機器及び材料の記号は、下記による。
① 壁取付け形アウトレット
○ 酸素　O_2
○ 亜酸化窒素（笑気）　N_2O
○ 治療用空気　A
○ 二酸化炭素　CO_2
○ 吸引　V
○ 麻酔ガス排除（排ガス）　EX
○ 窒素　N_2
※天井つり下げ型はC、天井リール型はRを書き加える。

② シーリングコラム
○ ⊠ （O_2、N_2O、A、CO_2、V、EX、N_2）
※必要なアウトレットの記号を書き加える。

③ 区域別シャットオフバルブ
○ —⊠—

○機材
（第11編2.1.1～3）

○施工
（第11編2.2.1～2.3.1）

○ 特殊ガス等設備工事（医療ガス設備工事以外）

○一般事項
＜第2編1.1.1～2＞

（１）ガスの種別及び配管の記号は、医療ガス等設備工事（医療ガス設備工事）一般事項１）によるほか、下記による。
○ ヘリウムガス（ ○ 高純度　○ 一般）　—He——He—
○ 水素ガス　（ ○ 高純度　○ 一般）　—H_2——H_2—
○ アルゴンガス（ ○ 高純度　○ 一般）　—Ar——Ar—
○ 圧縮空気　（ ○ 高純度　○ 一般　○ 圧縮空気機）　— A —— A —

○機材
＜第2編2.1.1～2.4.3＞

○施工
＜第2編3.1.1～3.2.8＞

○ 雨水利用設備

○システム 構成その他

別図による

○配管材料
（第2編2.1.2）
［第2編2.1.1］

配管材料は（ ○ 下記による。　○ 図示による。）
（１）一般配管　○
（２）集水管　○

○量水器
（第2編2.2.16）
［第2編2.1.1］

○ 遠隔表示式（パルス式）　○ 現地表示式（直読式）

○弁類
（第5編1.9.1）
［第5編1.1.1］

○ 図面に特記なき場合の耐圧は、５Ｋ とする。

○ さく井設備

○事前調査
（第7編1.2.1）

下記の項目について事前調査を行う。
○ 揚水井
　○ 既設井分布調査
　○ 法的規制調査
　○ 地表探査
　（探査方法：電気探査の比例抵抗法）
　（測定方式：直流型方式）
　（解析方法：標準曲線法）
○ 地中熱交換井
　○ 既設井分布調査
　○ 法的規制調査
　○ 地質情報の収集、整理
　○ 代表井による熱交換効率の把握
　（熱応答試験方法：　　）
　○ 周辺環境調査（騒音・振動測定）

○掘削
（第7編2.1.1）
（第7編3.1.1）

掘削工法は下記による。
○ パーカッション式
○ ロータリー式
○ ダウンザホールハンマ式
○ 回転振動式
○ ロータリーパーカッション式

○試験
（第7編3.2.1）

地中熱交換器挿入完了後の水圧試験は下記による。

● 撤去工事

●撤去内容
［第1編4.1.1～4.2.4］

図示による。

●発生材の処理等
［第1編5.1.1～2］

発生材の処理は、下記による。

(1)　引渡しを要するもの
　1）品　　名
　2）引渡し先
　3）集積場所
　4）集積方法

(2)　特別管理産業廃棄物
　1）品　　名
　2）処理方法

(3)　現場において再利用するもの
　1）品　　名
　2）使用場所

(4)　再生資源化するもの
　1）品　　名

(5)　その他の発生材
　1）品　　名
　2）処理方法

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校	図面番号
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事（機能強化支援第2期）	特記仕様書（機械設備）(3)	A1=NO:SC A3=NO:SC	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治	事務部長 / 総務課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当	特Ｍ－０３

空調機器リスト（現況・撤去） 一般科目棟

記 号	名称 ・ 形式	能 力 冷房Ｋｗ	能 力 暖房Ｋｗ	電源 φ−Ｖ	電動機容量（参考） Ｋｗ 圧縮機他	電動機容量（参考） Ｋｗ 送風機	蓄熱併用時消費電力 Ｋｗ 暖房（ ）は、能力アップモード時 冷房	蓄熱併用時消費電力 Ｋｗ 暖房（ ）は、能力アップモード時 暖房	台数	個別リモコン数	集中コントローラ	設置場所	備 考	配管長（ｍ） 高低差（ｍ） （参考）
旧ＡＣＰ−３−２	氷蓄熱式ヒートポンプマルチ屋外機	２８．０	２５．０	３−２００	６．０	０．３２	６．２	６．２	１			屋外機置場	冷媒回収・破壊共・個別ﾘﾓｺﾝ撤去	５０ −１０
	同上氷蓄熱槽ユニット								１					
旧ＡＣＰ−３−２Ａ	屋内機 天吊露出形	７．１	８．５	１−２００		０．０５			２	１	●	３Ｆ 教室３０３		
旧ＡＣＰ−３−２Ｂ	屋内機 天吊露出形	７．１	８．５	１−２００		０．０５			２	１	●	３Ｆ 教室３０４		

換気機器リスト（現況・撤去） 一般科目棟

記 号	名 称	機器仕様 形 式	機器仕様 寸法（ｍｍ）	機器仕様 風 量 ｍ３／ｈ	機器仕様 機外静圧 Ｐａ	機器仕様 その他	電源	電動機出力 Ｋｗ	消費電力 Ｗ	台数	集中コントローラ	設置場所	備 考
旧ＨＥＵ−３−４	全熱交換型換気扇	天吊埋込形	２００	４８０	５０	リモコン１個	１φ１００Ｖ		２１０	２	●	３Ｆ 教室３０３	機器・ﾘﾓｺﾝのみ撤去
旧ＨＥＵ−３−５	全熱交換型換気扇	天吊埋込形	２００	４８０	５０	リモコン１個	１φ１００Ｖ		２１０	２	●	３Ｆ 教室３０４	機器・ﾘﾓｺﾝのみ撤去

凡例

─∃ ─‖	ｷｬｯﾌﾟ及ﾌﾟﾗｸﾞ止
──（細線）	既設配管（薄線）を示す（ ）表示口径は既設を示す
━━（太線）	新設配管（濃線）を示す
━★─	既設配管に接続
─////─	撤去配管を示す（立上配管共）
（斜線ハッチ）	撤去機器を示す
●	駄目穴ﾓﾙﾀﾙ補修
◁	流水方向を示す

空調機器リスト（改修） 一般科目棟

※冷媒配管・ﾘﾓｺﾝ配線は流用とする。（ﾘﾌﾟﾚｲｽﾏﾙﾁ）
※メーカーにより配管・配線工事が必要の際は、本工事で見込むこと。
※既存機器が日立、既存集中ﾘﾓｺﾝ組込の為、参考型番は日立を明記する。

記 号	名称 ・ 形式	能 力 冷房Ｋｗ	能 力 暖房Ｋｗ	電源 φ−Ｖ	電動機容量（参考） Ｋｗ 圧縮機他	電動機容量（参考） Ｋｗ 送風機	消費電力 Ｋｗ 冷房	消費電力 Ｋｗ 暖房	台数	個別リモコン数	既存集中コントローラ	設置場所	参考型番（日立）	配管長（ｍ） 高低差（ｍ） （参考）
ＡＣＰ−３−２	空冷ヒートポンプ式マルチ屋外機	３３.５	３７.５	３−２００	６.７８	０.２６×２	９.７８	８.７７	１			屋外機置場	RAS-AP335SGR	（５０） （−１０）
									１					
ＡＣＰ−３−２Ａ	屋内機 天吊露出形	８.０	９.０	１−２００		０.０８	０．０６	０．０６	２	１	●	３Ｆ 教室３０３	RPC-GP80KA	
	屋内機 天吊露出形	８.０	９.０	１−２００		０.０８	０．０６	０．０６	２	１	●	３Ｆ 教室３０４	RPC-GP80KA	

機能一覧表 （既存集中ﾘﾓｺﾝ参考）

機 能	監視機能 運転／停止	運転モード	設定温度	風量	風向	リモコン操作許可／禁止	アラームコード	フィルターサイン

※空調更新工事で教室系統は下記監視機能が使用できるようにすること。
※今回更新機器及び既存空調機の再設定、既存集中ﾘﾓｺﾝへの調整も本工事とする。

換気機器リスト（改修） 一般科目棟

※ﾘﾓｺﾝ配線は流用とする。
※他室既存機器が三菱、更新集中ﾘﾓｺﾝ組込の為、参考型番は三菱を明記する。
※今回更新機器及び既存全熱交換器の再設定を新設集中ﾘﾓｺﾝへの設定調整も本工事とする。
（設定内容：室名変更・風量・個別ﾘﾓｺﾝ作動禁止等）

記 号	名 称	機器仕様 形 式	機器仕様 寸法（ｍｍ）	機器仕様 風 量 ｍ３／ｈ	機器仕様 機外静圧 Ｐａ	機器仕様 その他	電源	電動機出力 Ｋｗ	消費電力 Ｗ	台数	集中コントローラ	設置場所	参考型番（三菱）
ＨＥＵ−３−４	全熱交換型換気扇	天吊埋込形	２００	４８０	５０	給排気ｸﾞﾘﾙ・個別ﾘﾓｺﾝ１個（2台1個）	１φ１００Ｖ		２１０	２	●	３Ｆ 教室３０３	LGH-H50RXW3 PZ-N20GM2 PGL-64DR
ＨＥＵ−３−５	全熱交換型換気扇	天吊埋込形	２００	４８０	５０	給排気ｸﾞﾘﾙ・個別ﾘﾓｺﾝ１個（2台1個）	１φ１００Ｖ		２１０	２	●	３Ｆ 教室３０４	
	集中ﾘﾓｺﾝ（液晶）					異常表示・運転停止							AE-CZJ

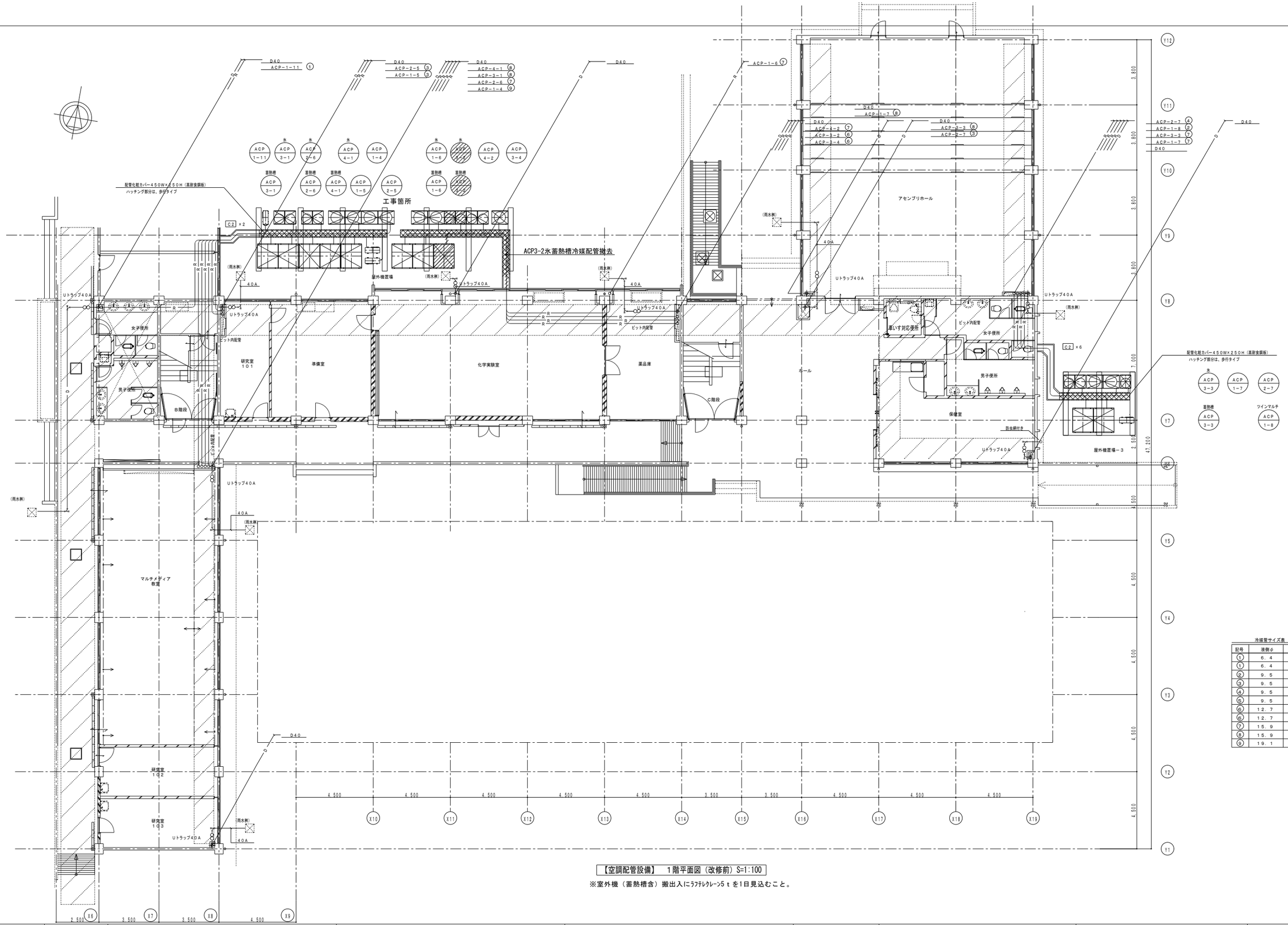
空調特記事項

１．冷暖房能力は上記条件値、配管長により補正を行う。（空気条件・冷媒配管長による能力補正は考慮していない。）
２．空調機は、新冷媒仕様（Ｒ４１０あるいはＲ３２）とし、室外機はインバーターあるいは準ずるものとする。最高効率機種とする。
３．室外機は、ゴムパットを附属とする。架台は既存流用。
５．室内機は、すべてドレンアップメカ付き。
６．個別リモコンを付属とする。（個別時間設定可能なこと）
７．付属品 屋内機リモコン付き 天井埋込カセット型は化粧パネル付。
８．集中コントローラーアダプターを付属とし、既存集中リモコン組込、設定共本工事とする。
９．フィルターは、メーカー標準品とする。
１０．アンカーボルトの設計水平震度は、室外機は０．４とする。
１２．室外機は、耐重塩害仕様とする。
１３．グリーン購入法適合商品とする。

換気特記事項

１．全熱交換型換気扇の全熱交換効率は、１，０００ｍ３／ｈ未満は５５％以上とし、１，０００ｍ３／ｈ以上は６０％以上とする。
２．全熱交換型換気扇は、普通換気回路切替え付き。
３．全熱交換型換気扇は、特強ノッチで使用しない。
４．集中コントローラを附属とする。

年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校	図面番号
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	【空調・換気設備】機器リスト（改修前・後）	A1=NO:SC A3=NO:SC	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治	事務部長 / 総務課長 / 課長補佐 / 係 長 / 担 当	Ｍ−０１



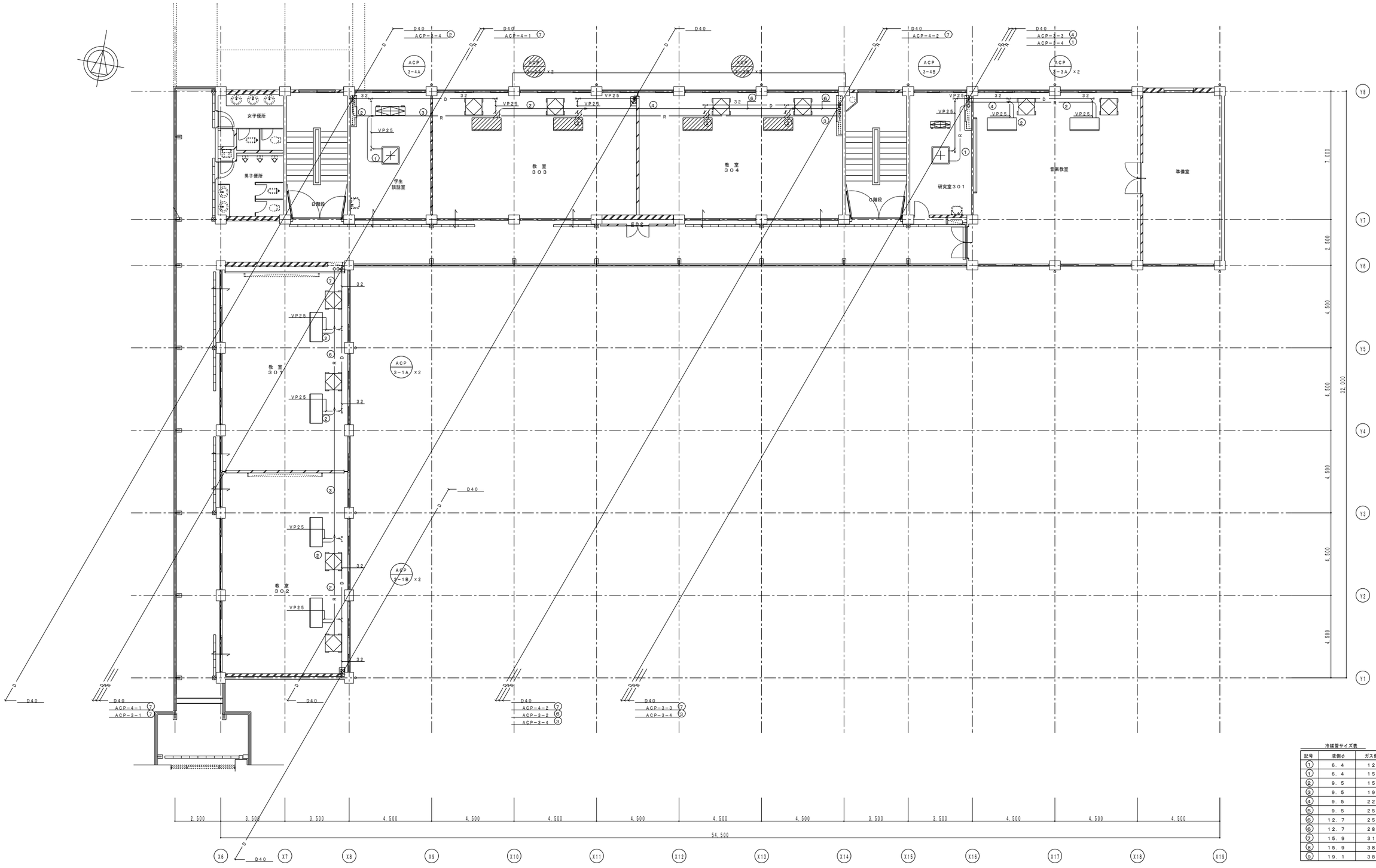
冷媒管サイズ表

記号	液側φ	ガス側φ
①	6.4	12.7
①	6.4	15.9
②	9.5	15.9
③	9.5	19.1
④	9.5	22.2
⑤	9.5	25.4
⑥	12.7	25.4
⑥	12.7	28.6
⑦	15.9	31.8
⑧	15.9	38.1
⑨	19.1	38.1

【空調配管設備】　1階平面図（改修前）S=1:100

※室外機（蓄熱槽含）搬出入にﾗﾌﾃﾚｸﾚｰﾝ5ｔを1日見込むこと。

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮　尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係　長	担　当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事（機能強化支援第2期）	【空調配管設備】1階平面図（改修前）（一般科目棟）	A1=1:100 A3=1:200	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治						M－02

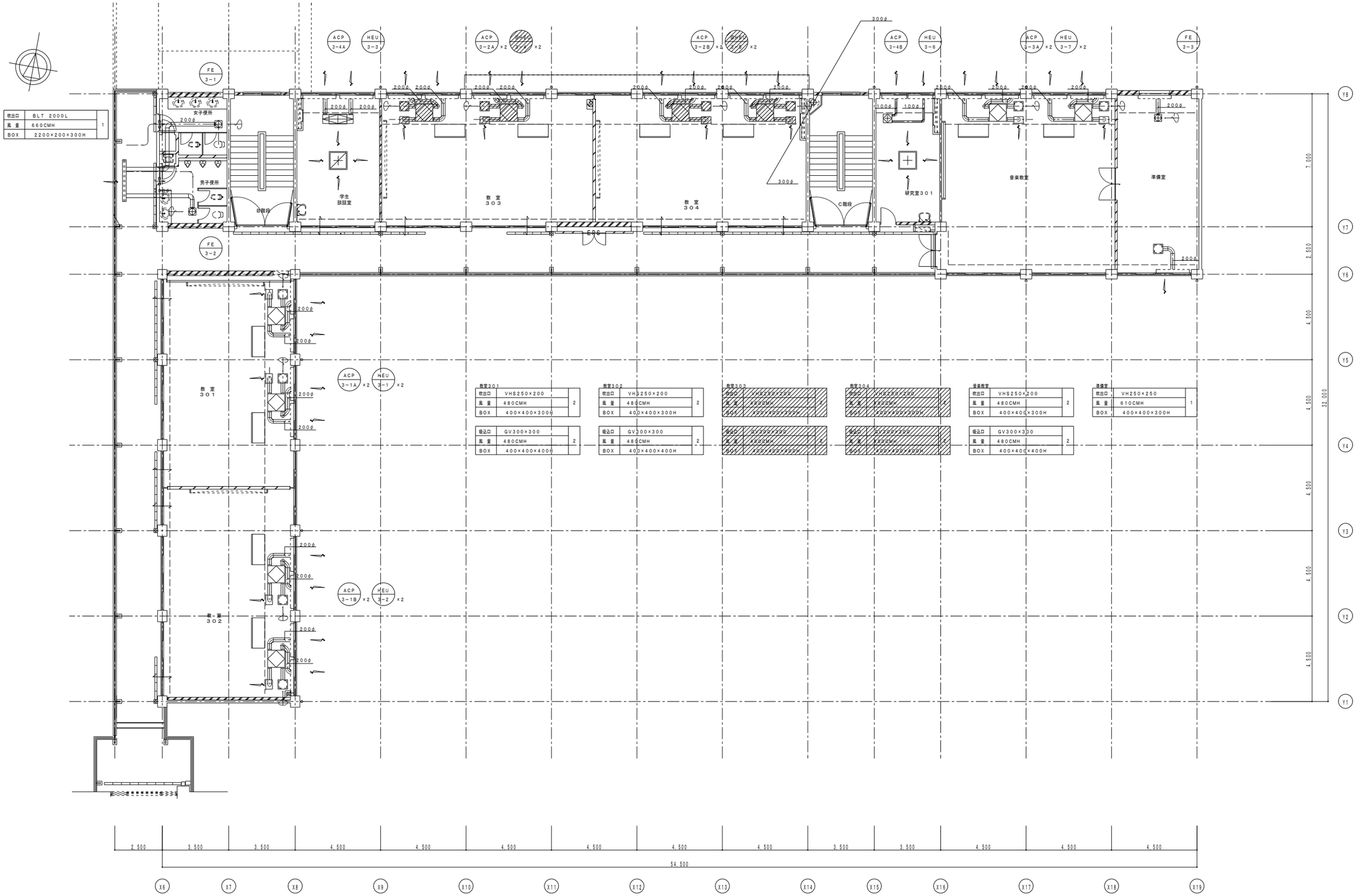


冷媒管サイズ表

記号	液側φ	ガス側φ
①	6.4	12.7
①	6.4	15.9
②	9.5	15.9
③	9.5	19.1
④	9.5	22.2
⑤	9.5	25.4
⑥	12.7	25.4
⑥	12.7	28.6
⑦	15.9	31.8
⑧	15.9	38.1
⑨	19.1	38.1

【空調配管設備】 3階平面図（改修前）S=1:100

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校	図面番号
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事（機能強化支援第2期）	【空調配管設備】3階平面図（改修前）（一般科目棟）	A1=1:100 A3=1:200	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第182598号 山口 英治	事務部長 / 総務課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当	M－03



吹出口	BLT 2000L	1
風 量	660CMH	
BOX	2200×200×300H	

教室301

吹出口	VHS250×200	2
風 量	480CMH	
BOX	400×400×300H	
吸込口	GV300×300	2
風 量	480CMH	
BOX	400×400×400H	

教室302

吹出口	VHS250×200	2
風 量	480CMH	
BOX	400×400×300H	
吸込口	GV300×300	2
風 量	480CMH	
BOX	400×400×400H	

教室303

吹出口	VHS250×200	4
風 量	480CMH	
BOX	400×400×300H	
吸込口	GV300×300	4
風 量	480CMH	
BOX	400×400×400H	

教室304

吹出口	VHS250×200	4
風 量	480CMH	
BOX	400×400×300H	
吸込口	GV300×300	4
風 量	480CMH	
BOX	400×400×400H	

音楽教室

吹出口	VHS250×200	2
風 量	480CMH	
BOX	400×400×300H	
吸込口	GV300×300	2
風 量	480CMH	
BOX	400×400×400H	

準備室

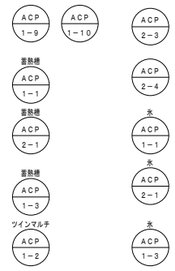
吹出口	VH250×250	1
風 量	610CMH	
BOX	400×400×300H	

【換気ダクト設備】 3階平面図（改修前）S=1:100

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事（機能強化支援第2期）	【換気ダクト設備】3階平面図（改修前）（一般科目棟）	A1=1:100 A3=1:200	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治						M－04

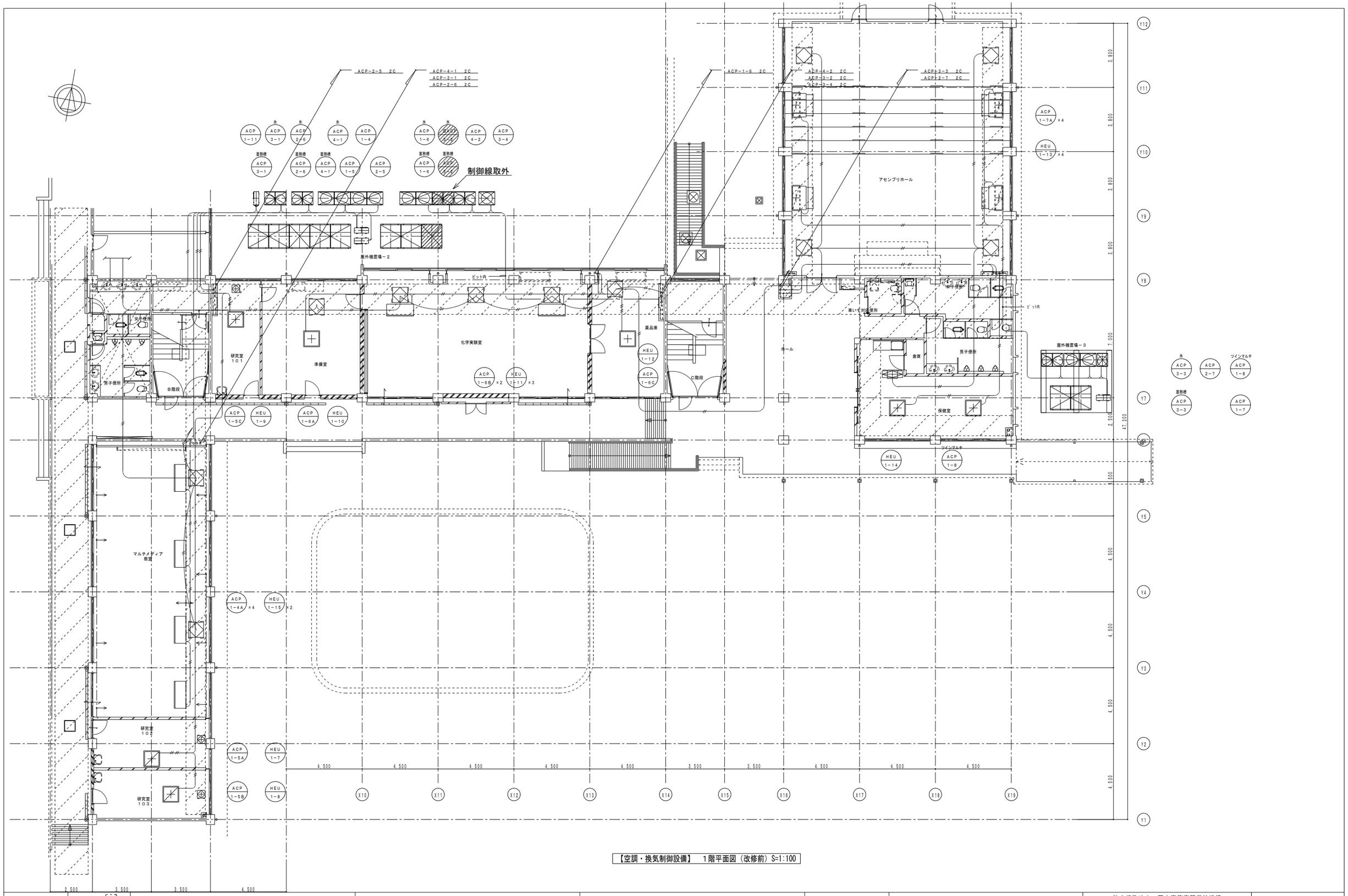
凡例

シンボル	名称	配線	備考
R	空調機集中コントローラ		
	全熱交換器コントローラ 撤去		
		露出配線	
		EM-CEES1. 25□-2C	
		EM-CEES1. 25□-2C×2	
	集中コントローラ配線	EM-CEES1. 25□-2C	



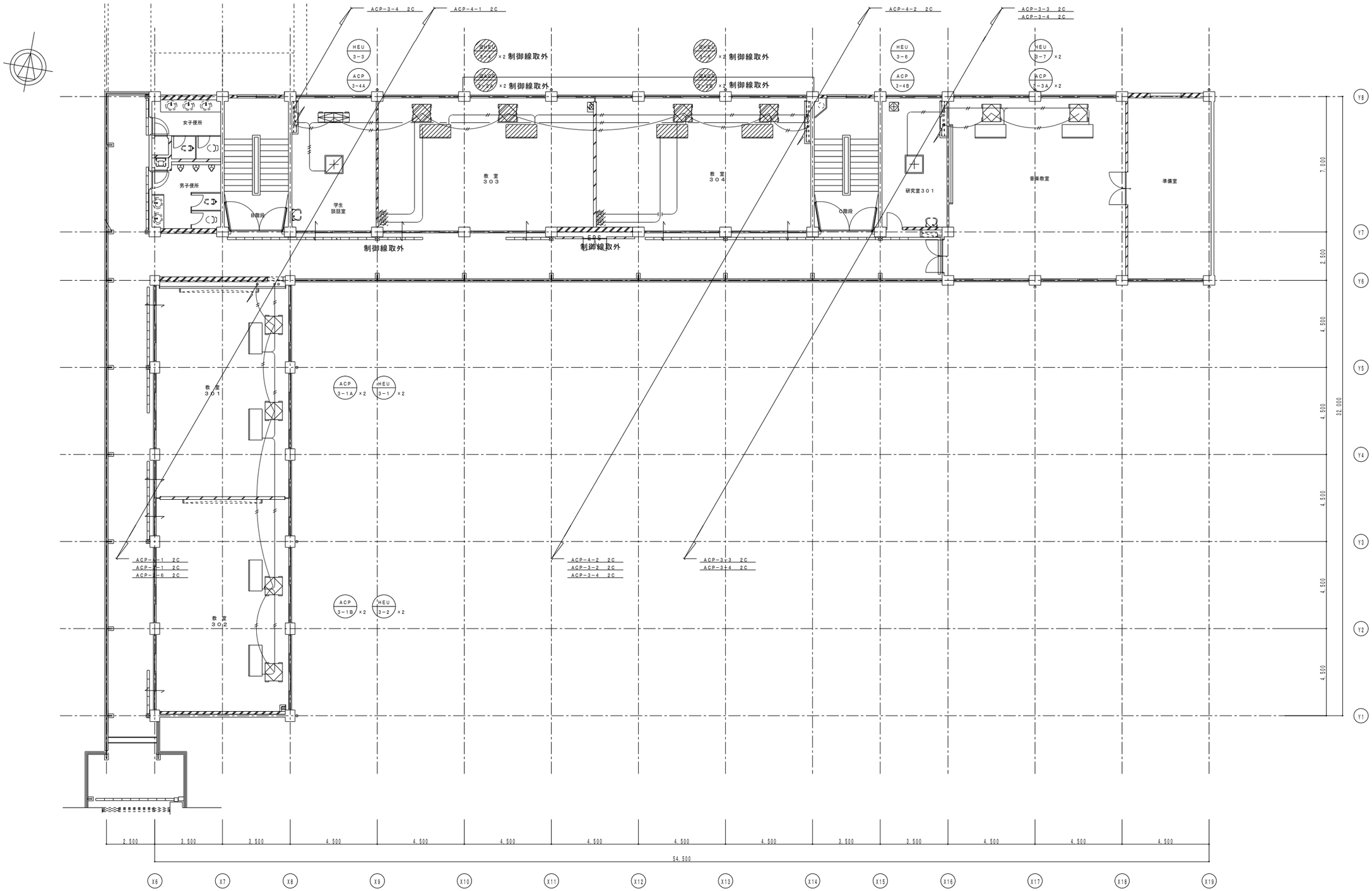
【空調・換気制御設備】　管理棟１階平面図（改修前）S=1:100

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第１項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事（機能強化支援第2期）	【空調・換気制御設備】１階平面図（改修前）（管理棟）	A1=1:100 A3=1:200	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治						Ｍ－０５



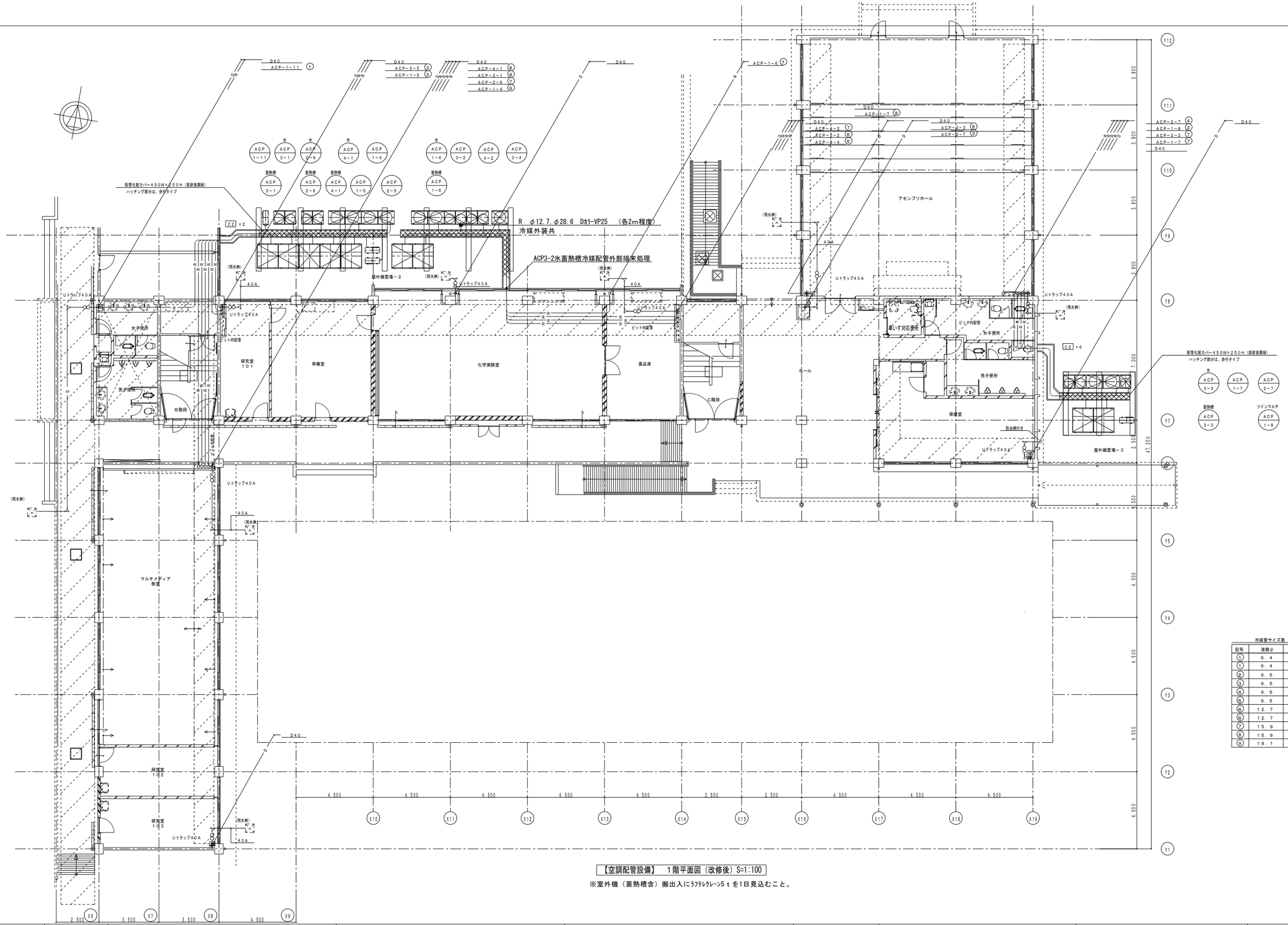
【空調・換気制御設備】 1階平面図（改修前）S=1:100

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事（機能強化支援第2期）	【空調・換気制御設備】1階平面図（改修前）	A1=1:100 A3=1:200	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治						M－06



【空調・換気制御設備】 3階平面図（改修後）S=1:100

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事（機能強化支援第2期）	【空調・換気制御設備】3階平面図（改修後）（一般科目棟）	A1=1:100 A3=1:200	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治						M－07



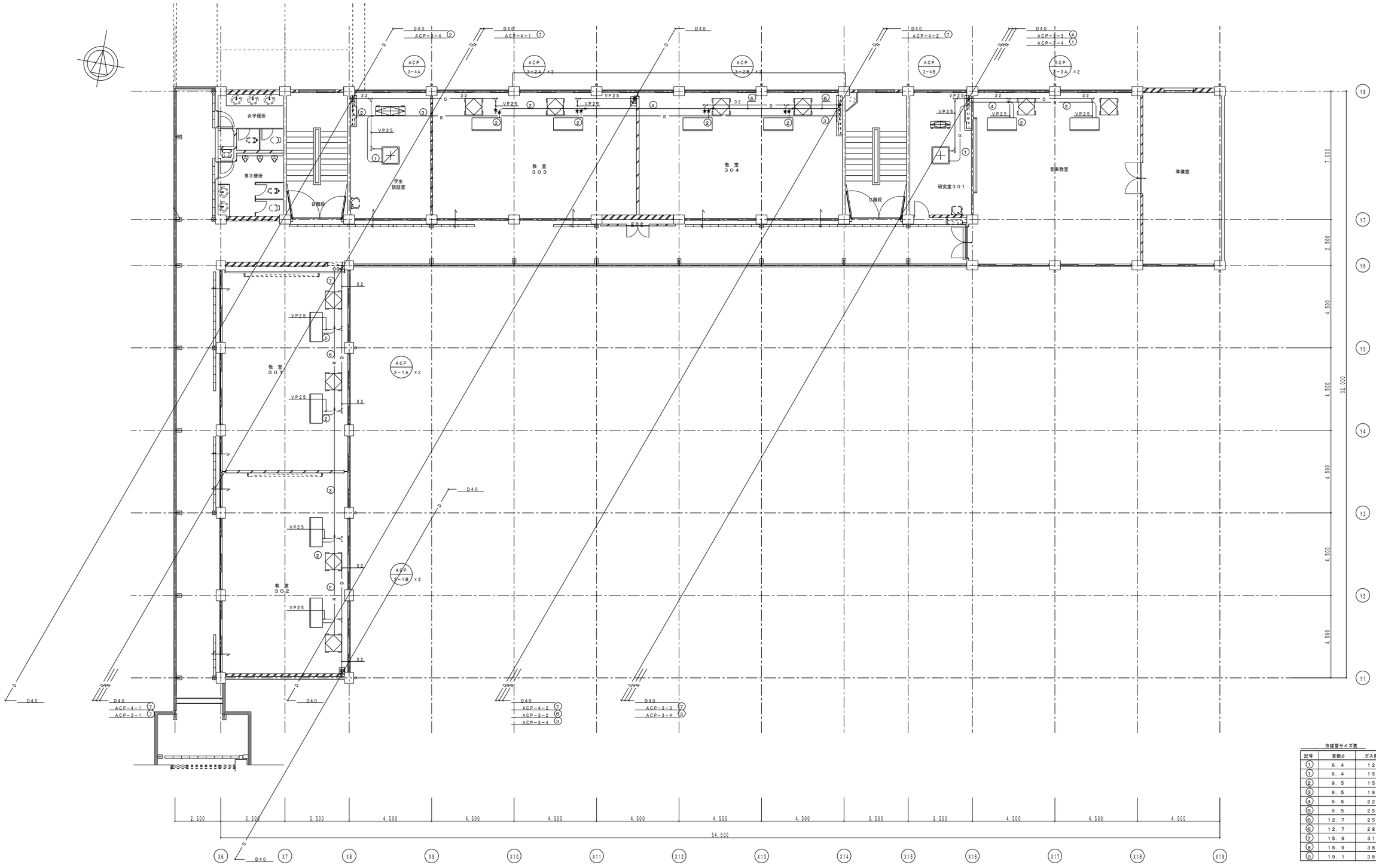
冷媒管サイズ表

記号	液側φ	ガス側φ
①	6．4	12．7
①	6．4	15．9
②	9．5	15．9
③	9．5	19．1
④	9．5	22．2
⑤	9．5	25．4
⑥	12．7	25．4
⑥	12．7	28．6
⑦	15．9	31．8
⑧	15．9	38．1
⑨	19．1	38．1

【空調配管設備】 1階平面図（改修後）S=1:100

※室外機（蓄熱槽含）搬出入にﾗﾌﾃﾚｸﾚｰﾝ5ｔを1日見込むこと。

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	【空調配管設備】1階平面図（改修後）（一般科目棟）	A1=1:100 A3=1:200	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治						M－08

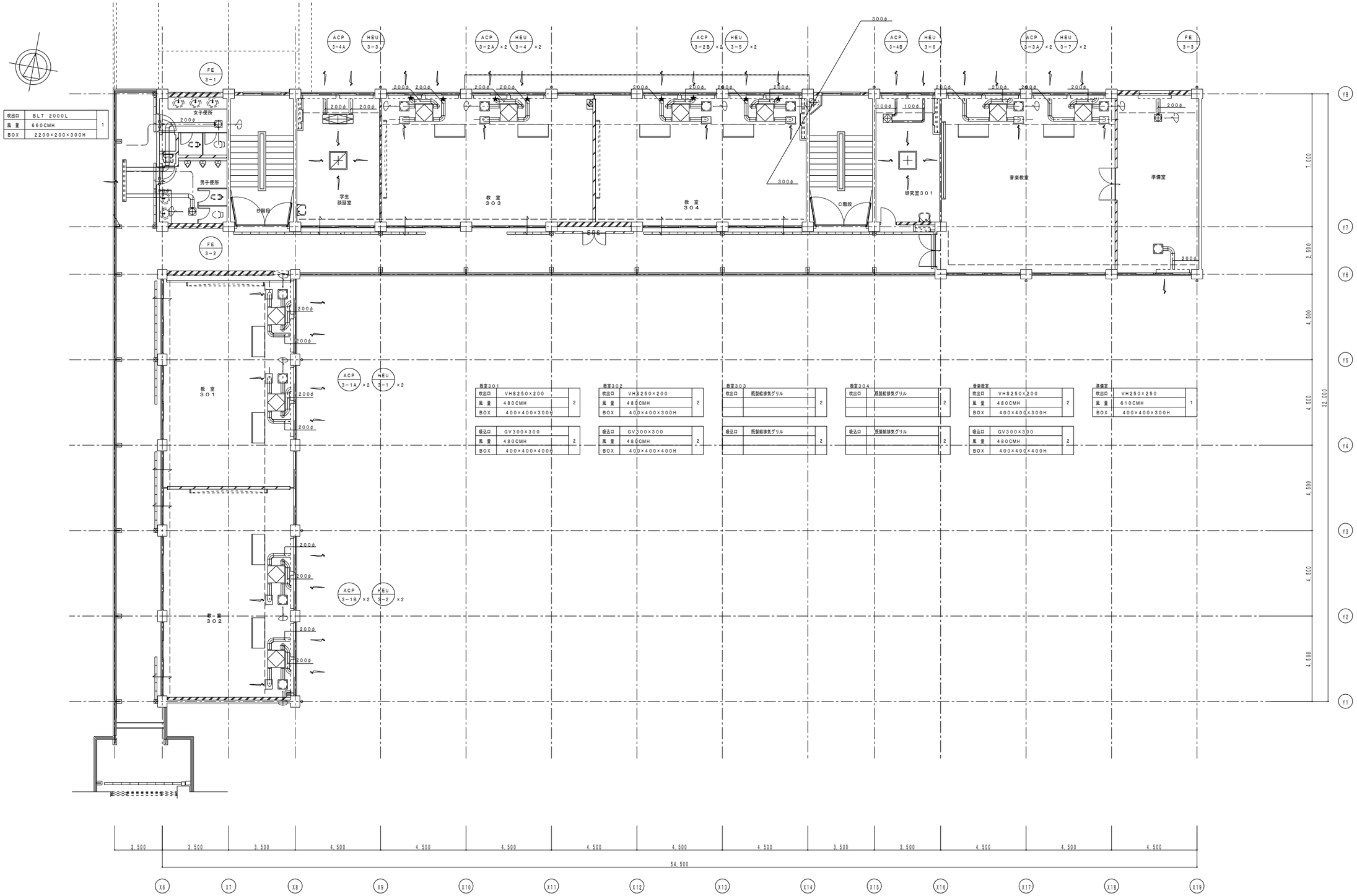


【空調配管設備】 3階平面図（改修後）S=1:100

冷媒管サイズ表

記号	液側φ	ガス側φ
①	6.4	12.7
①	6.4	15.9
②	9.5	15.9
③	9.5	19.1
④	9.5	22.2
⑤	9.5	25.4
⑥	12.7	25.4
⑥	12.7	28.6
⑦	15.9	31.8
⑧	15.9	38.1
⑨	19.1	38.1

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	【空調配管設備】3階平面図（改修後）（一般科目棟）	A1=1:100 A3=1:200	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治						M－09



吹出口	BLT 2000L	1
風量	660CMH	
BOX	2200×200×300H	

教室301

吹出口	VHS250×200	2
風量	480CMH	
BOX	400×400×300H	
吸込口	GV300×300	2
風量	480CMH	
BOX	400×400×400H	

教室302

吹出口	VHS250×200	2
風量	480CMH	
BOX	400×400×300H	
吸込口	GV300×300	2
風量	480CMH	
BOX	400×400×400H	

教室303

吹出口	既製給排気グリル	2
吸込口	既製給排気グリル	2

教室304

吹出口	既製給排気グリル	2
吸込口	既製給排気グリル	2

音楽教室

吹出口	VHS250×200	2
風量	480CMH	
BOX	400×400×300H	
吸込口	GV300×300	2
風量	480CMH	
BOX	400×400×400H	

準備室

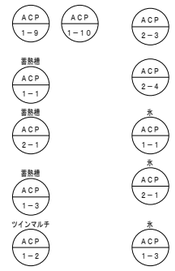
吹出口	VH250×250	1
風量	610CMH	
BOX	400×400×300H	

【換気ダクト設備】 3階平面図（改修後）S=1:100

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事（機能強化支援第2期）	【換気ダクト設備】3階平面図（改修後）（一般科目棟）	A1=1:100 A3=1:200	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治						M－10

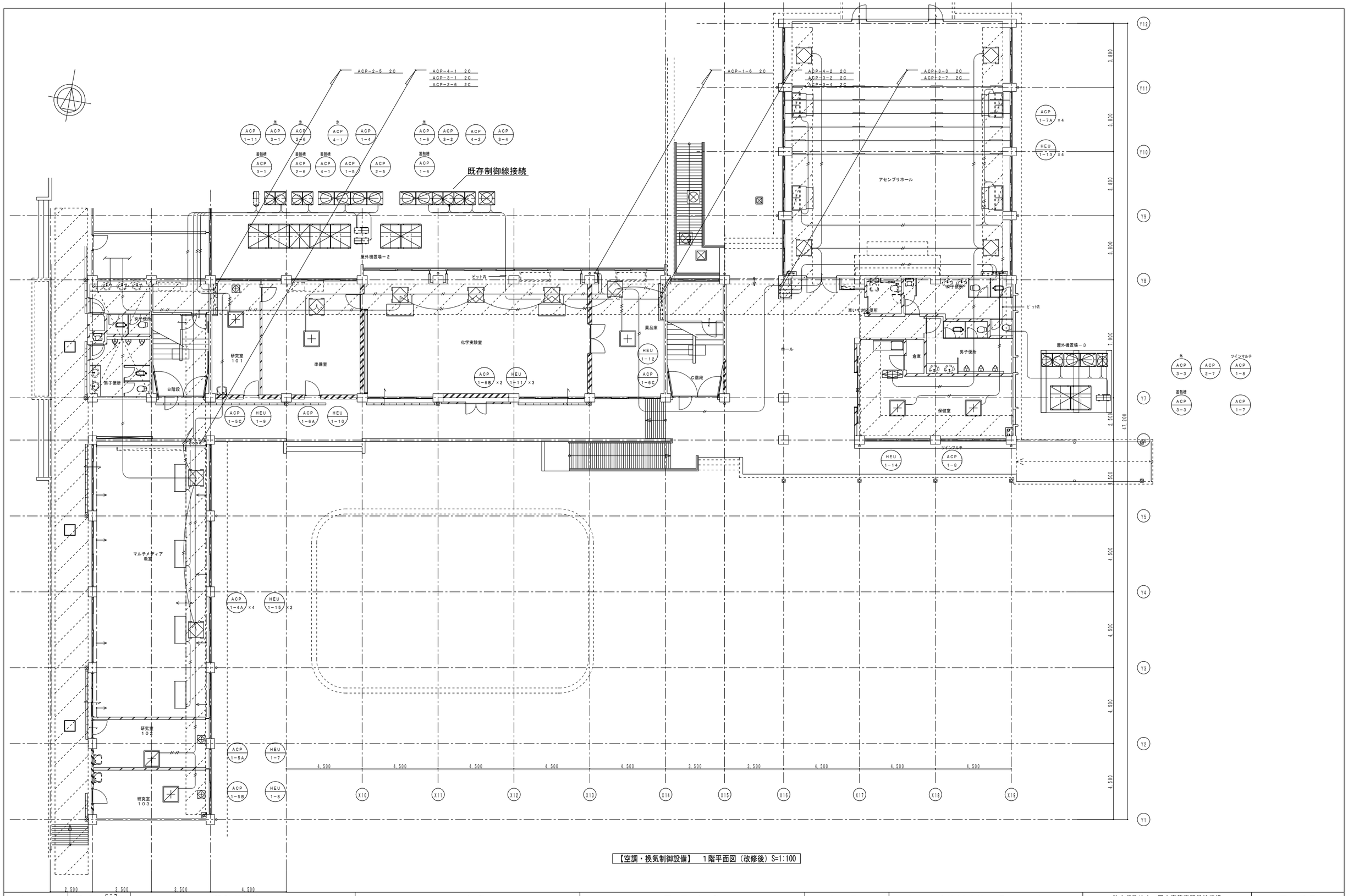
凡例

シンボル	名称	配線	備考
R	空調集中コントローラ		
R.2	全熱交換器コントローラ 撤去		
		露出配線	
		EM－CEES1．25□－2C	
		EM－CEES1．25□－2C×2	
	集中コントローラ配線	EM－CEES1．25□－2C	



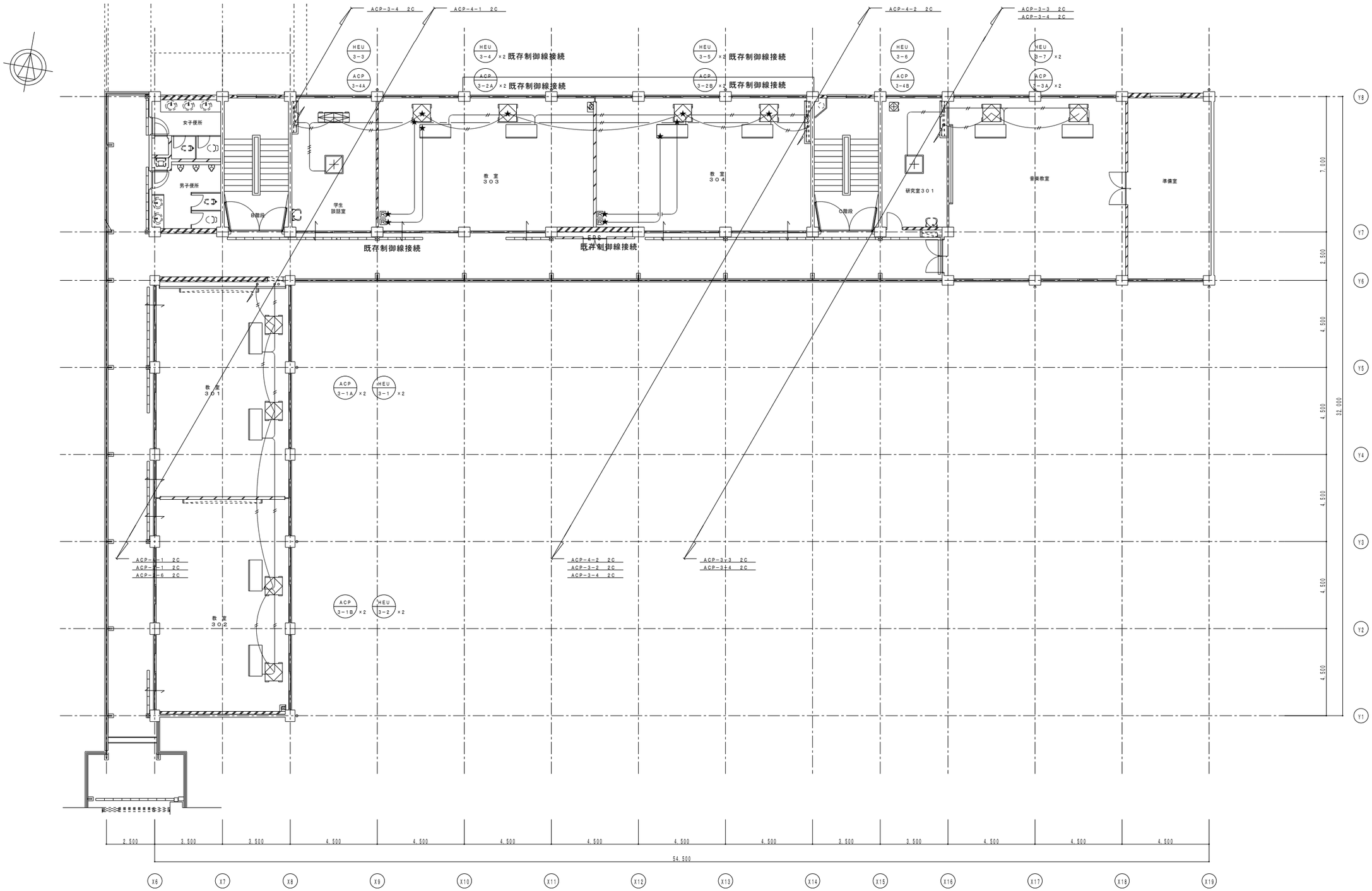
【空調・換気制御設備】　1階平面図（改修後）S=1:100

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人　国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事（機能強化支援第2期）	【空調・換気制御設備】1階平面図（改修後）（管理棟）	A1=1:100 A3=1:200	有限会社　山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10　TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士　第 182598号 山口 英治						M－11



【空調・換気制御設備】 1階平面図（改修後）S=1:100

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事（機能強化支援第2期）	【空調・換気制御設備】1階平面図（改修後）（一般科目棟）	A1=1:100 A3=1:200	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治						M－１２



【空調・換気制御設備】 3階平面図（改修後）S=1:100

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	
令和8年	令和8年7月	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修設計業務	弓削商船高専一般科目棟3階創造工学科2年教室等内部改修工事(機能強化支援第2期)	【空調・換気制御設備】3階平面図（改修後）（一般科目棟）	A1=1:100 A3=1:200	有限会社 山口英治建築設計事務所 高知市本町 5-1-10 TEL 088-821-0230 FAX 088-821-0231 一級建築士 第 182598号 山口 英治						M－13